

世田谷区における思春期世代等に対する こころとからだのアンケート調査報告書

令和3年3月

世 田 谷 区

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
(1)	回答者属性	3
(2)	健康状態や意識について	5
(3)	性感染症や妊娠等について	25
(4)	こころの健康について	54
(5)	インターネットの利用や新型コロナウイルスについて	72
III	調査結果のまとめ	86
1	思春期調査結果の総括	86
2	分野ごとのまとめ	87
3	性・年代別のまとめ	89
4	地域別のまとめ	92
IV	資料	95
	思春期世代等に対するこころとからだのアンケート調査 調査票	95

I 調査の概要

1 調査の目的

区では、「区民が生涯にわたり健やかで心豊かに暮らすことができる地域社会の実現」をめざし、『健康せたがやプラン（第二次）後期』（平成 29 年度～33 年度）のもとで、様々な健康づくり施策を展開している。本調査は、現行のせたがやプランが令和 3 年度に終了することに伴い、次期プランの策定に向けた基礎資料を得ることを目的として実施した。

2 調査対象

若年層調査：区内在住の 15 歳以上 29 以下の男女 3,000 人を無作為に抽出

3 調査期間

令和 2 年 9 月 17 日から令和 2 年 10 月 5 日

4 調査方法

若年層調査：郵送による配布・回収またはインターネットによる回答

5 回収状況

		区全体	世田谷 地域	北沢 地域	玉川 地域	砧 地域	烏山 地域
思 春 期 調 査	配布数（人）	3,000	801	733	621	467	378
	回収数（人）	944	237	221	201	163	122
	回収率（%）	31.5	29.6	30.2	32.4	34.9	32.3

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してある。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- ・調査結果を図表で表示しているが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網掛けをしている。（無回答、その他を除く）
- ・各設問ごとの調査結果を、「単純集計のグラフ」と「説明」、その内訳として「性別」「性・年代別」「地域別」のグラフあるいは表で示している。
- ・統計数値を考察するにあたっては、表現を概ね以下の通りにしている。

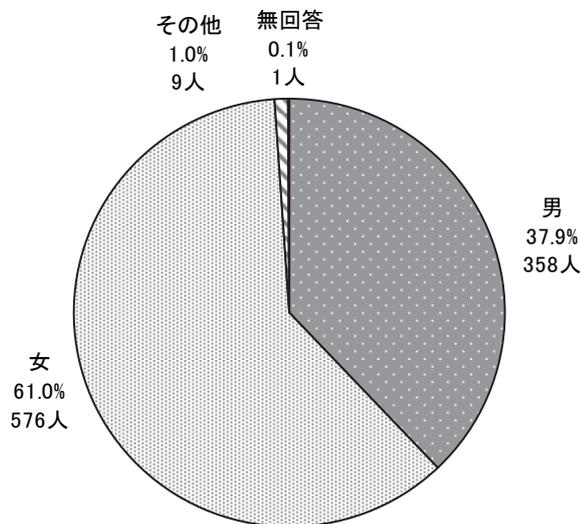
例	表現
17.0～19.9%	約2割
20.0～20.9%	2割
21.0～22.9%	2割を超える
23.0～26.9%	2割台半ば
27.0～29.9%	約3割

- ・図表中の比率の小さい項目については、省略しているところもある。
- ・クロス集計の分析の軸（＝表側）とした回答者の属性で、基数が30を下回るものについては、調査数が少ないので参考として図示するに留め、文中では述べていない。

II 調査結果

(1) 回答者属性

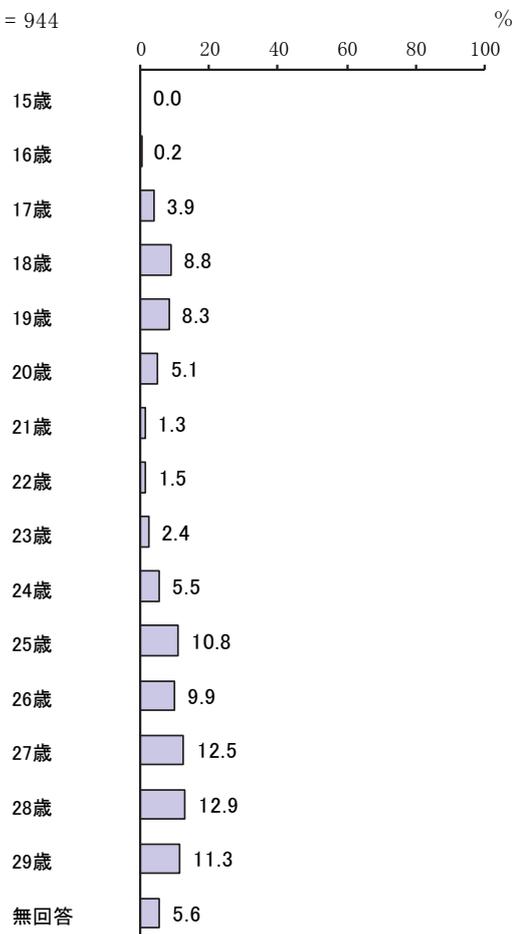
1. 性別



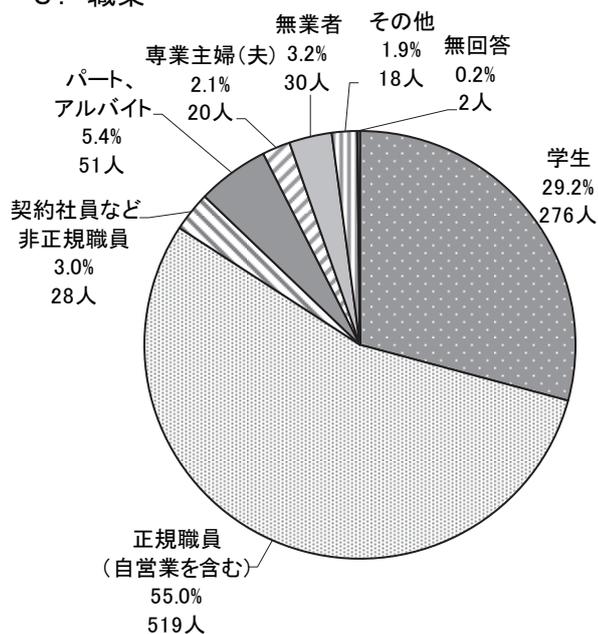
有効回答数：944件

2. 年齢

回答者数 = 944

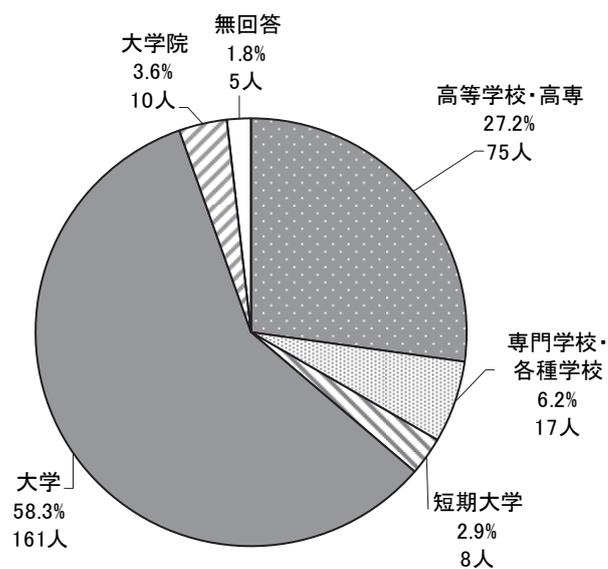


3. 職業



有効回答数：944件

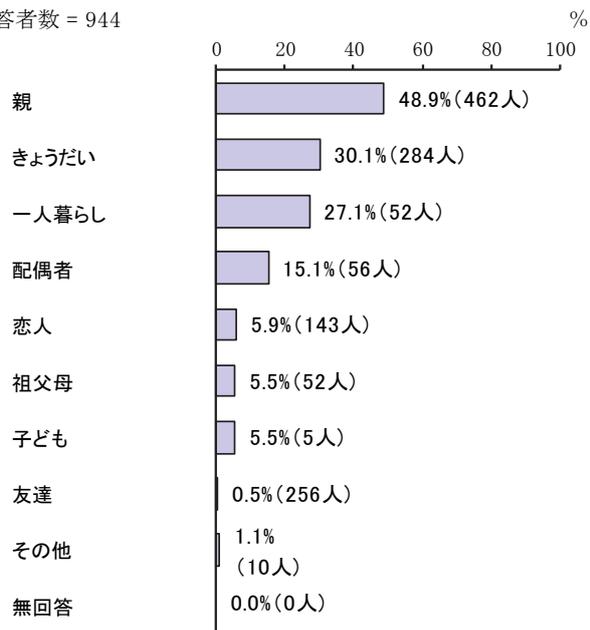
4. 在学している学校



有効回答数：276件

5. 同居者

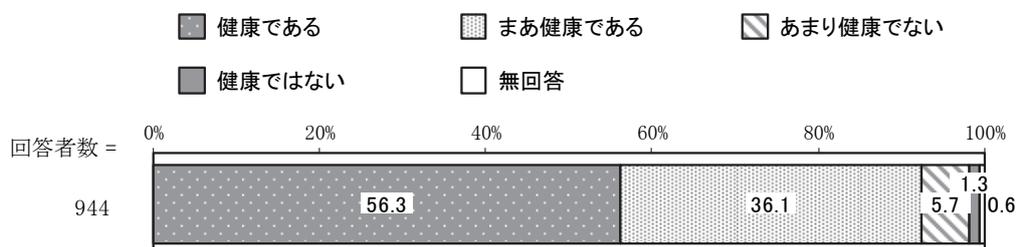
回答者数 = 944



(2) 健康状態や意識について

問5 あなたの健康状態や生活についてお聞きします。

(1) 自分のことを健康だと思えますか。(1つに○)



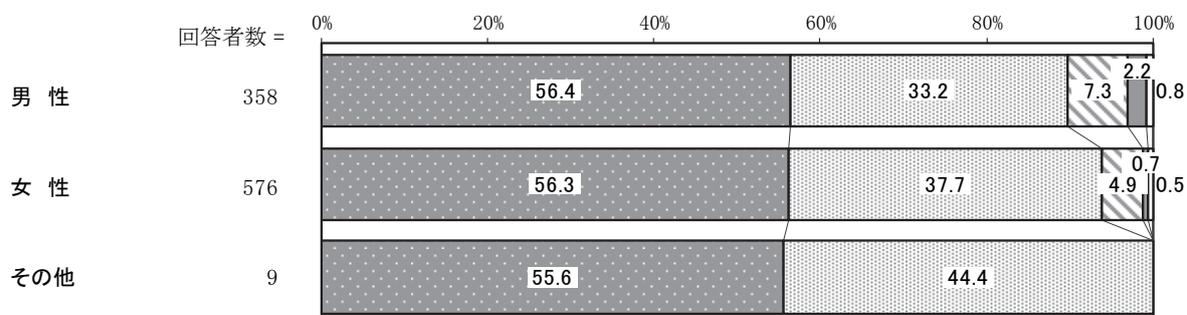
自分の健康観については、「健康である」と「まあ健康である」を合わせた「健康であると思う人」は92.4%、「あまり健康でない」と「健康ではない」を合わせた「健康でないと思う人」は7.0%となっている。

性別にみると、大きな差異はみられない。

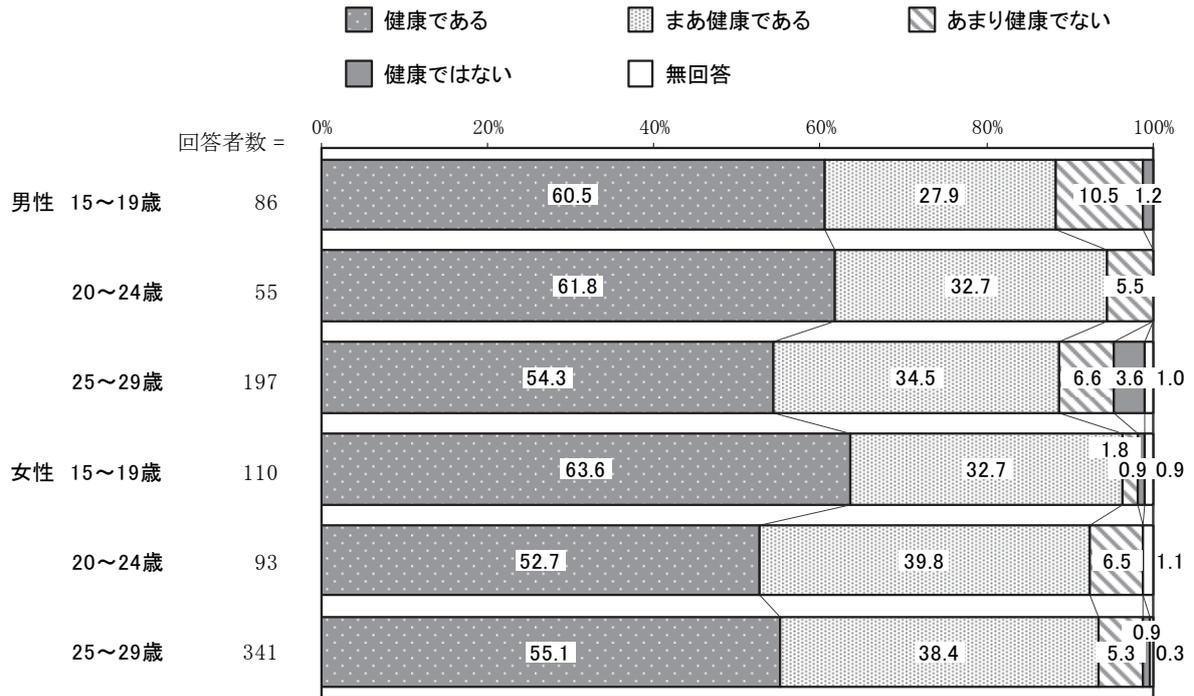
性・年代別にみると、「健康である」と「まあ健康である」を合わせた「健康であると思う人」は、概ね9割以上となっているが、男性の15～19歳、25～29歳で8割台と低くなっている。

地域別にみると、「健康である人」は、北沢地域で9割台半ばと最も高く、最も低い烏山地域地域と比べると5.6ポイントの差がある。

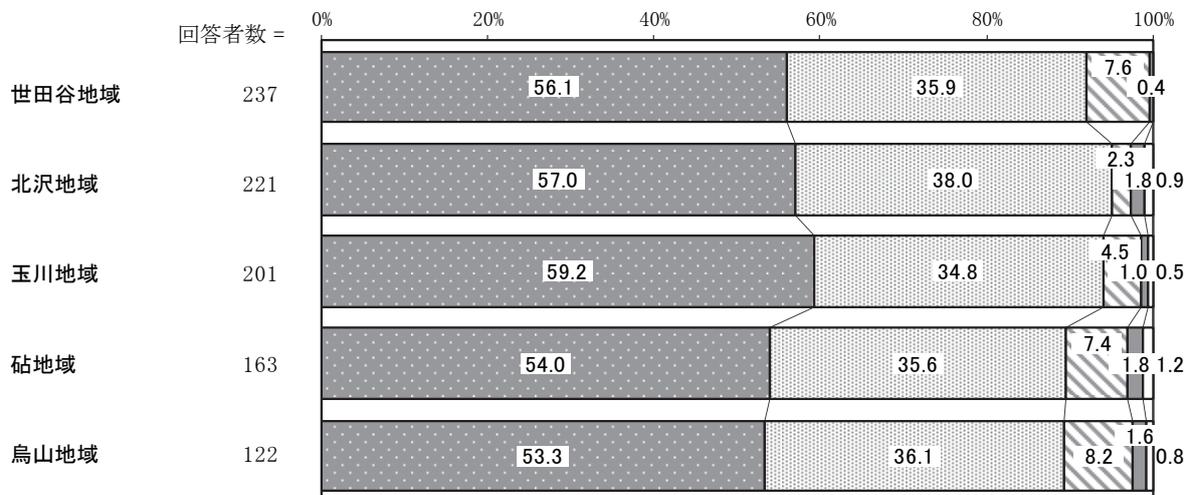
【性別】



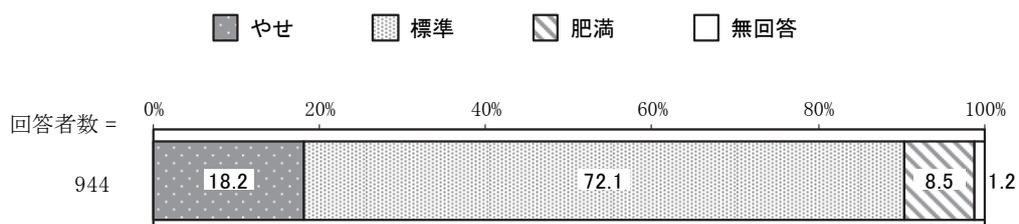
【性・年代別】



【地域別】



(2) あなたの身長と体重をお答えください。



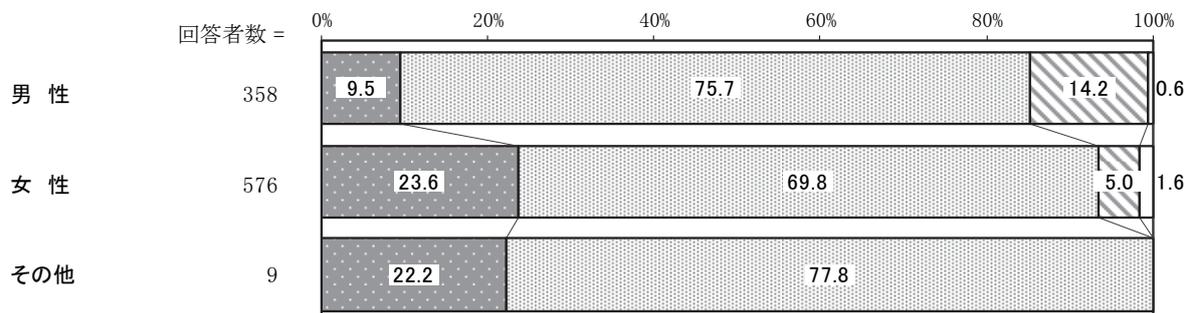
BMI の値については、「標準」72.1%が最も高く、次いで「やせ」18.2%、「肥満」8.5%となっている。

性別にみると、「標準」は、男性が女性よりも5.9ポイント、「肥満」は、男性が女性よりも9.2ポイント高くなっている。一方、「やせ」は、女性が男性よりも14.1ポイント高くなっている。

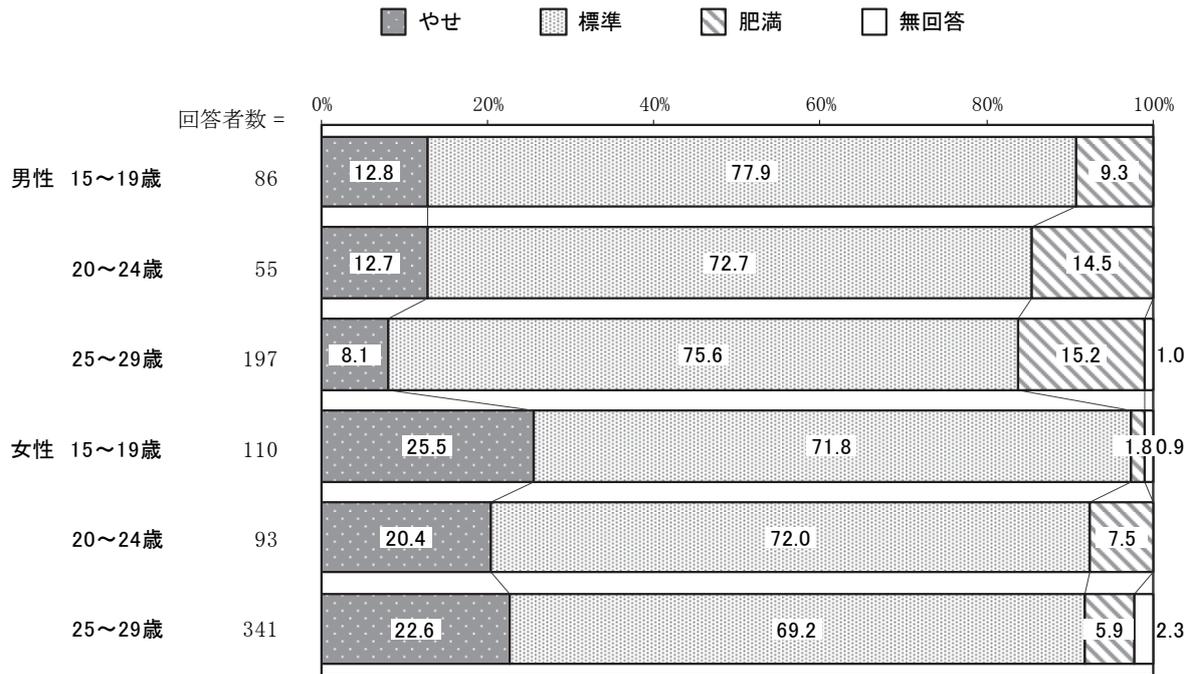
性・年代別にみると、「肥満」は、男性の20～24歳、25～29歳で1割台半ばと高くなっている。また、「やせ」は、女性の15～19歳で2割台半ばと最も高く、次いで、女性の25～29歳で2割を超えている。

地域別にみると、「やせ」は、北沢地域、烏山地域で2割を超えて最も高くなっている。

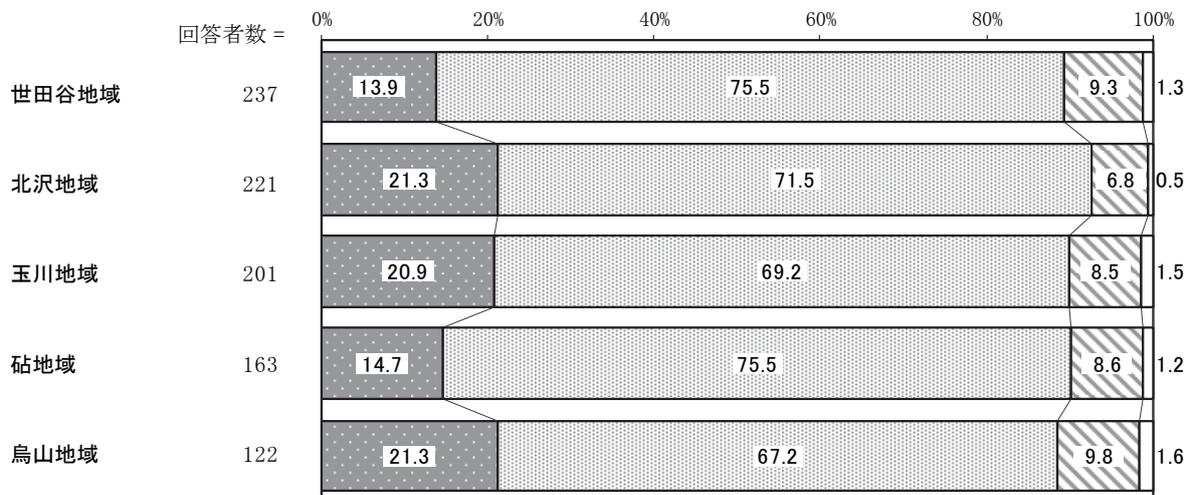
【性別】



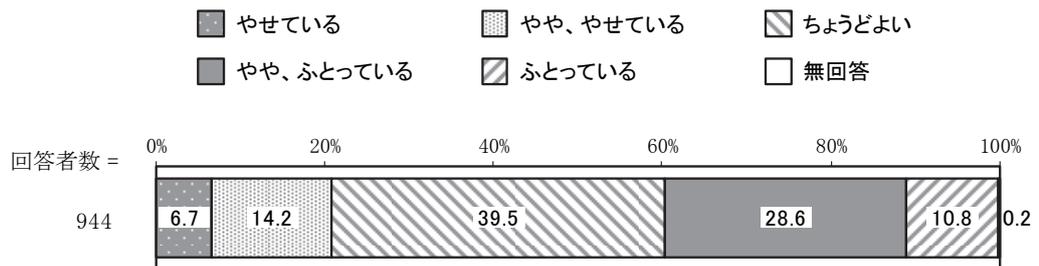
【性・年代別】



【地域別】

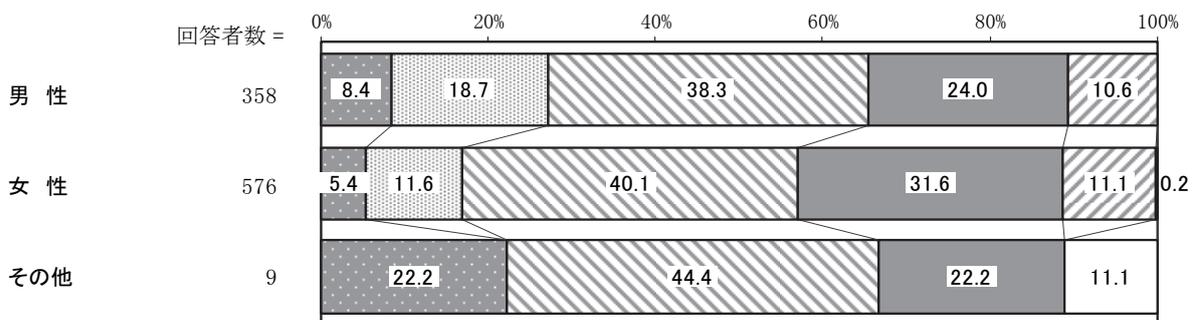


(3) あなたご自身の体型についてどのように思われますか。(1つに○)

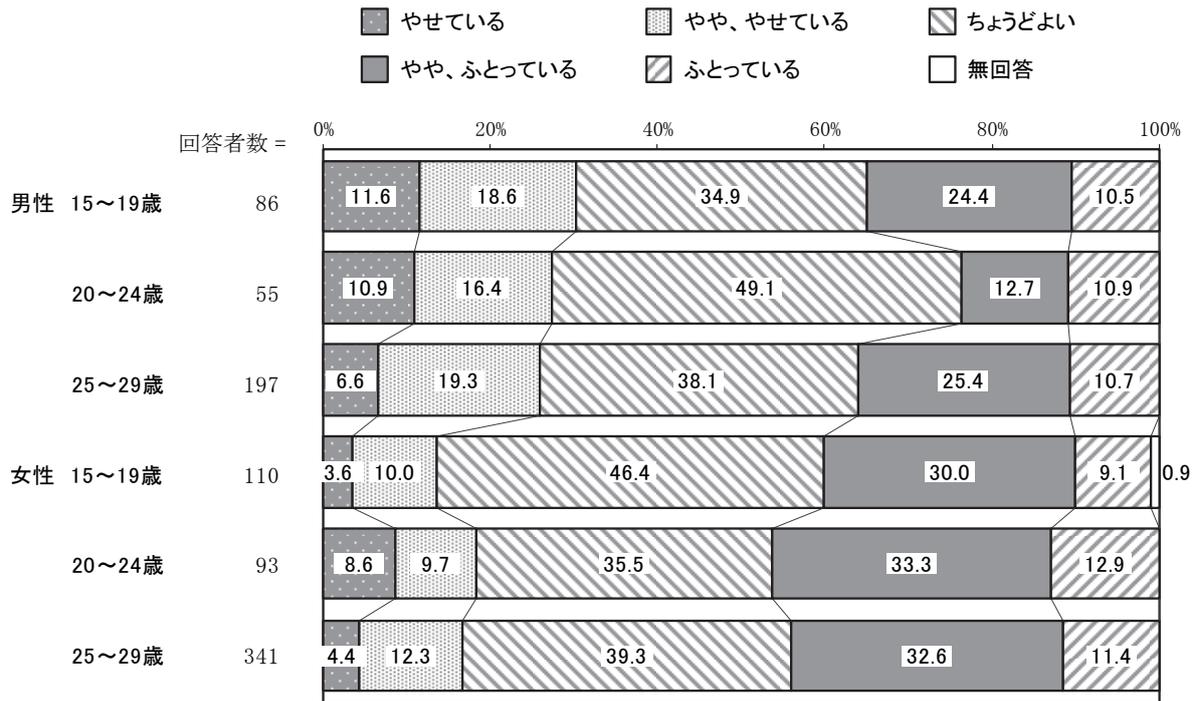


自身の体型については、「ふとっている」と「やや、ふとっている」を合わせた「ふとっていると思う人」は39.4%、「ちょうどよい」39.5%、「やや、やせている」と「やせている」を合わせた「やせていると思う人」は20.9%となっている。

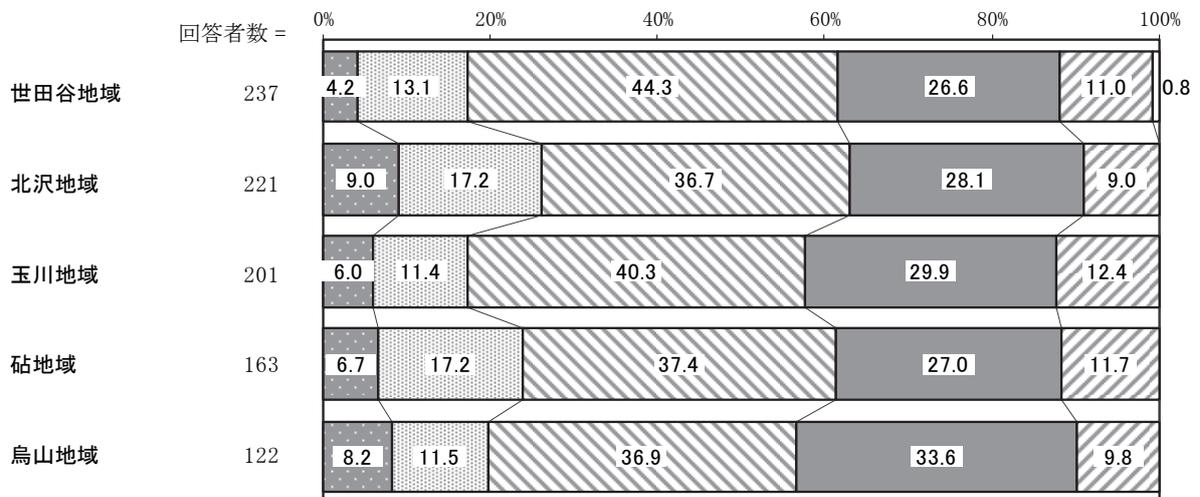
【性別】



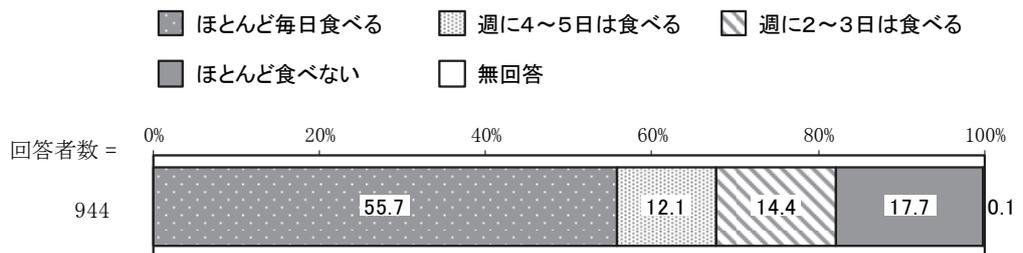
【性・年代別】



【地域別】



(4) 毎日、朝食を食べますか。(1つに○)



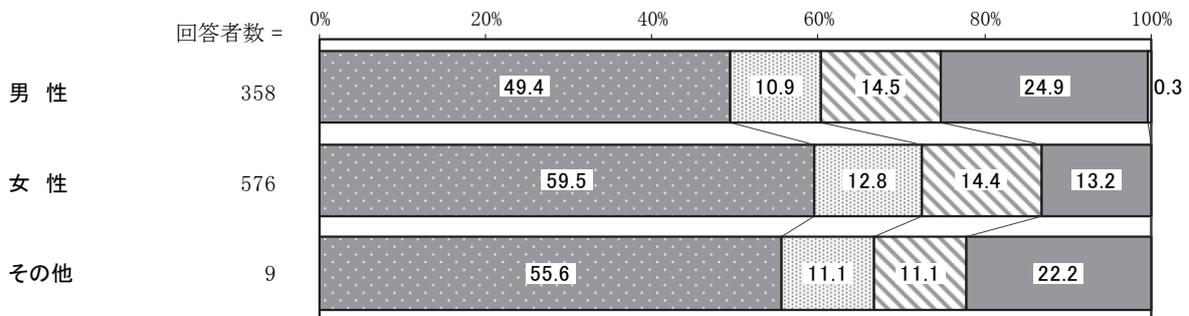
朝食の摂取状況については、「ほとんど毎日食べる」55.7%が最も高く、次いで「ほとんど食べない」17.7%、「週に2~3日は食べる」14.4%となっている。

性別にみると、「ほとんど食べない」は、男性が女性よりも11.7ポイント高くなっている。一方、「ほとんど毎日食べる」は、女性が男性よりも10.1ポイント高くなっている。

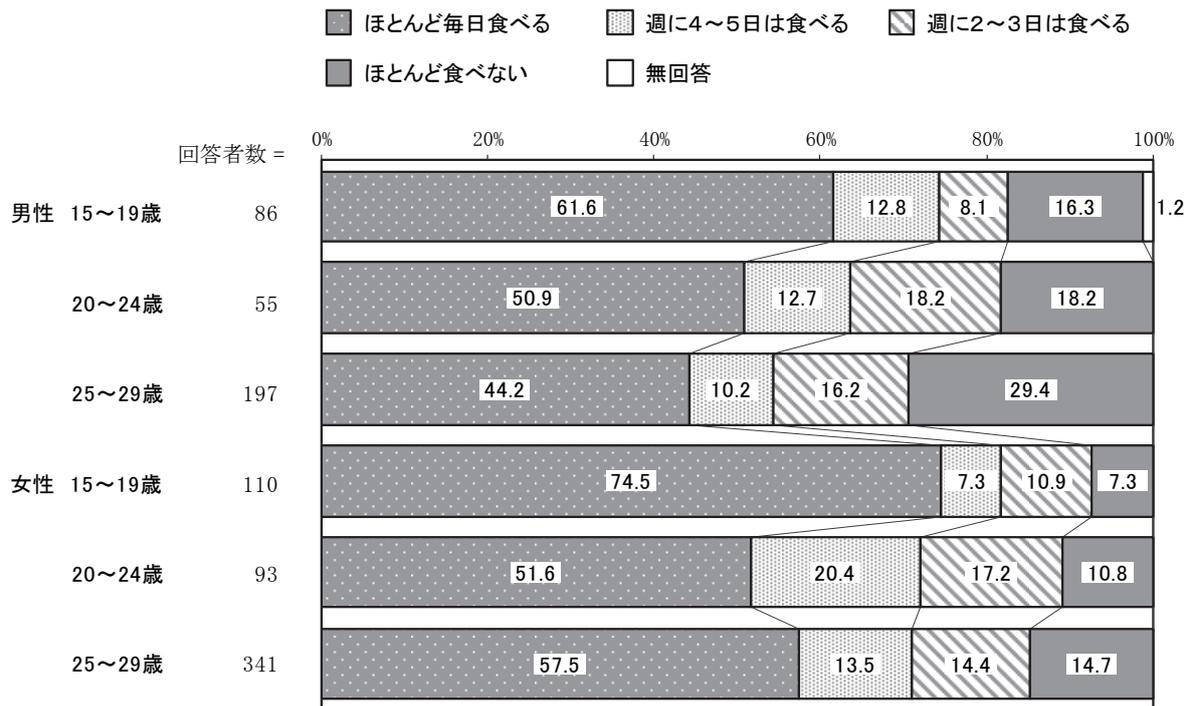
性・年代別にみると、「ほとんど毎日食べる」は、女性の15~19歳7割台半ばと最も高く、次いで、男性の15~19歳で6割を超えており、男性・女性ともに年齢が下がるほど高くなる傾向がある。一方、「ほとんど食べない」は、男性の25~29歳で約3割と最も高くなっており、男性・女性ともに年齢が上がるほど高くなる傾向がある。

地域別にみると、「ほとんど食べない」は、世田谷地域で2割台半ばと最も高く、最も低い烏山地域と比べると、10.9ポイントの差がある。

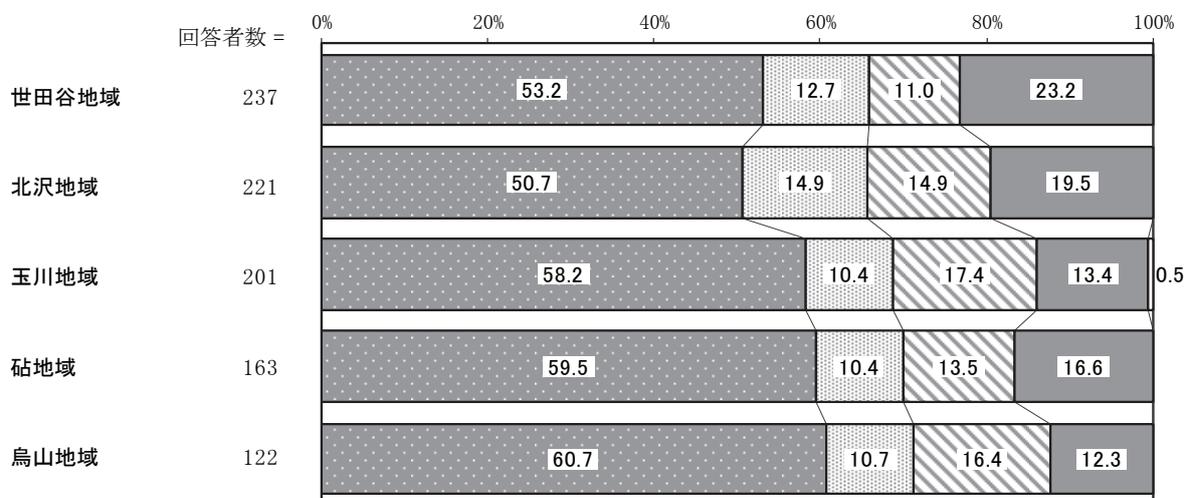
【性別】



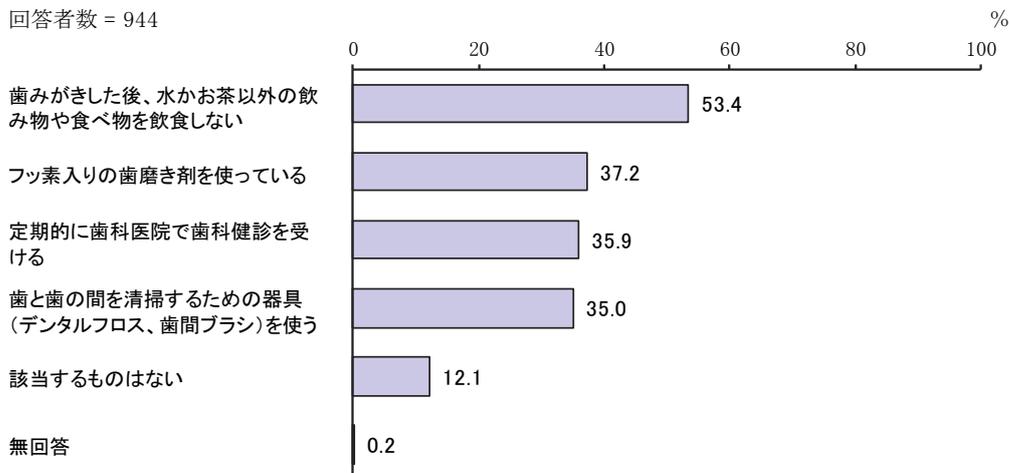
【性・年代別】



【地域別】



(5) あなたは、ふだん、歯や歯ぐきの健康のために、次のようなことをしていますか。(あてはまる全ての番号に○)



歯や歯ぐきの健康のために取り組んでいることについては、「歯みがきした後、水かお茶以外の飲み物や食べ物を飲食しない」53.4%が最も高く、次いで「フッ素入りの歯磨き剤を使っている」37.2%、「定期的に歯科医院で歯科健診を受ける」35.9%となっている。

性別にみると、「定期的に歯科医院で歯科健診を受ける」は、女性が男性よりも13.1ポイント、「歯と歯の間を清掃するための器具(デンタルフロス、歯間ブラシなど)を使うようにしている」は、女性が男性よりも14.5ポイント、「歯みがきした後、水かお茶以外の飲み物や食べ物を飲食しない」は、女性が男性よりも12.2ポイント高くなっている。一方、「該当するものはない」は、男性が女性よりも7.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「定期的に歯科医院で歯科健診を受ける」、「歯と歯の間を清掃するための器具(デンタルフロス、歯間ブラシ)を使う」は、女性の25～29歳で4割台半ばと最も高くなっている。「該当するものはない」は、男性の25～29歳で約2割と最も高くなっている。

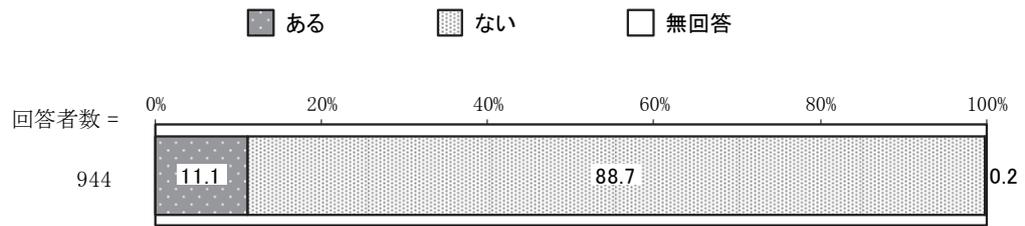
地域別にみると、「歯みがきした後、水かお茶以外の飲み物や食べ物を飲食しない」は、砧地域地域で6割と最も高く、最も低い世田谷地域と比べると、13.0ポイントの差がある。

【性別】【性・年代別】【地域別】

単位：％

区分		定期的に歯科医院で歯科 健診を受ける	歯と歯の間を清掃するた めの器具（デンタルフロ ス、歯間ブラシ）を使う	フッ素入りの歯磨き剤を 使っている	歯みがきした後、水かお茶 以外の飲み物や食べ物を 飲食しない	該当するものはない	無回答	回答者数 (件)
男性		27.9	26.0	39.1	45.8	16.5	—	358
女性		41.0	40.5	36.3	58.0	9.4	0.3	576
その他		33.3	33.3	11.1	55.6	11.1	—	9
男性	15～19歳	36.0	23.3	38.4	46.5	11.6	—	86
	20～24歳	25.5	30.9	40.0	50.9	16.4	—	55
	25～29歳	23.4	23.9	40.6	44.7	19.3	—	197
女性	15～19歳	30.0	24.5	42.7	59.1	6.4	0.9	110
	20～24歳	38.7	44.1	34.4	55.9	11.8	—	93
	25～29歳	43.1	43.4	35.5	58.4	9.7	0.3	341
世田谷地域		36.3	39.7	36.3	47.7	11.8	—	237
北沢地域		33.9	31.2	35.7	49.8	12.7	0.5	221
玉川地域		40.3	35.3	35.3	59.7	11.9	—	201
砧地域		35.6	36.2	42.3	60.7	10.4	—	163
烏山地域		32.0	30.3	37.7	50.8	13.9	0.8	122

(6) タバコを吸ったことがありますか (未成年の時に)。(1つに○)



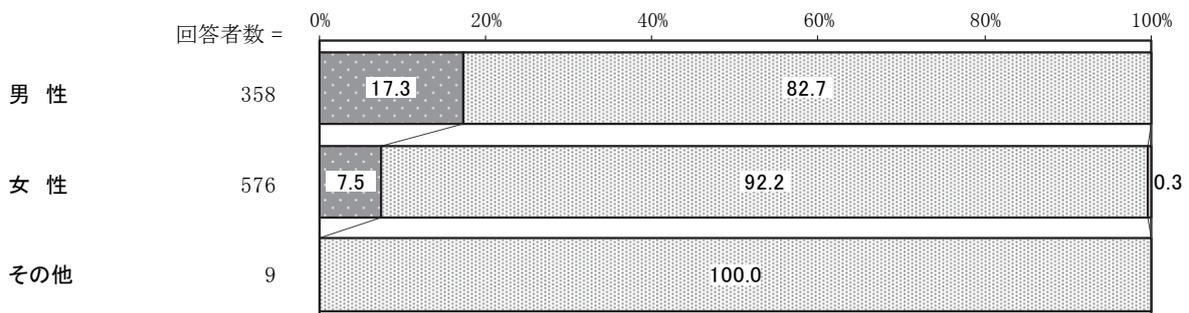
喫煙の経験については、「ある」が11.1%、「ない」が88.7%となっている。

性別にみると、「ある」は、男性が女性よりも9.8ポイント高くなっている。また、「ない」が、女性が男性よりも9.5ポイント高くなっている。

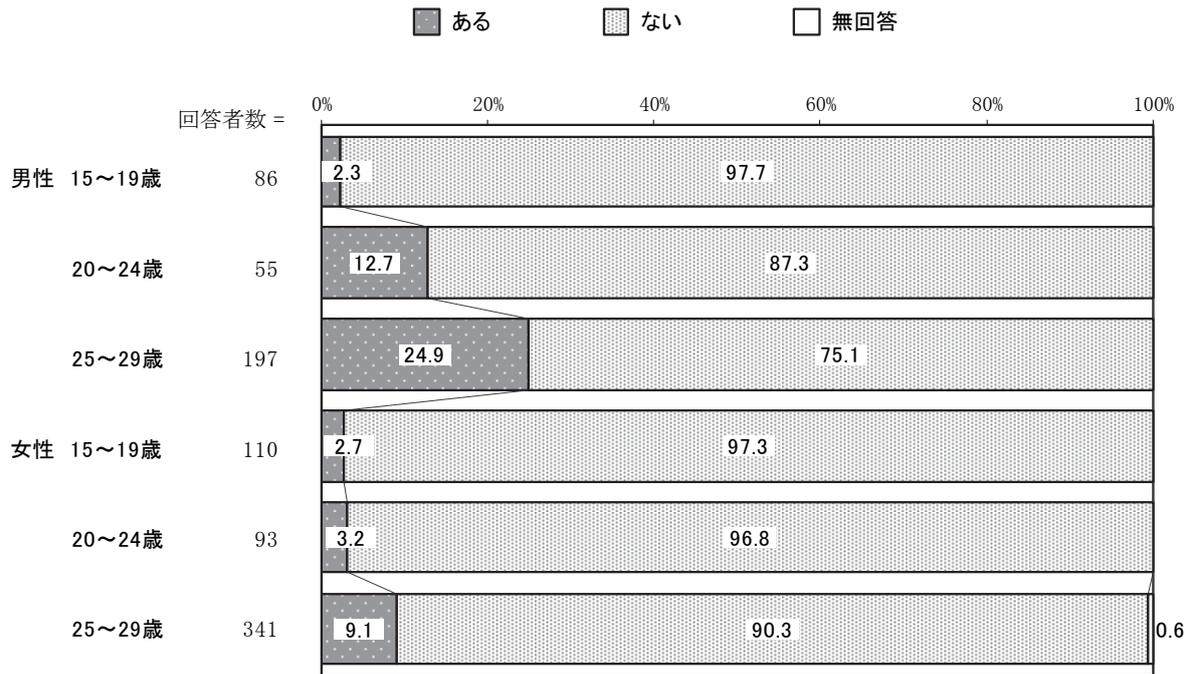
性・年代別にみると、「ある」は、男性の25～29歳で2割台半ばと最も高く、次いで男性の20～24歳で1割を超えており、男性・女性ともに年齢が上がるとともに「ある」が高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「ある」は、烏山地域で1割台半ばと最も高く、最も低い砧地域と比べると、6.2ポイントの差がある。

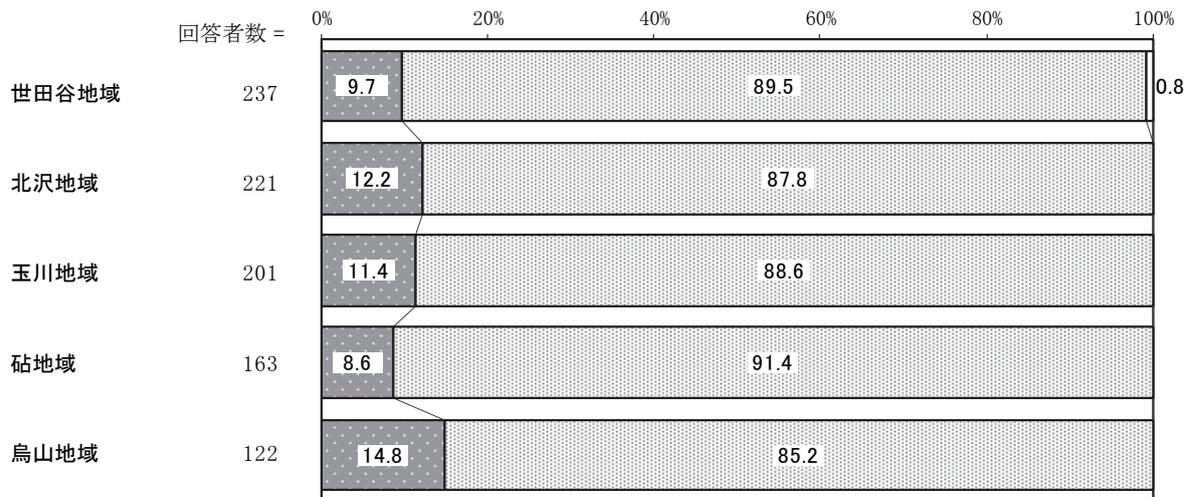
【性別】



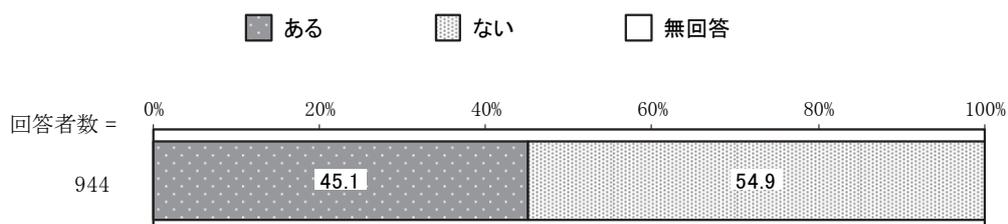
【性・年代別】



【地域別】



(7) お酒を飲んだことがありますか(未成年の時に)。(1つに○)



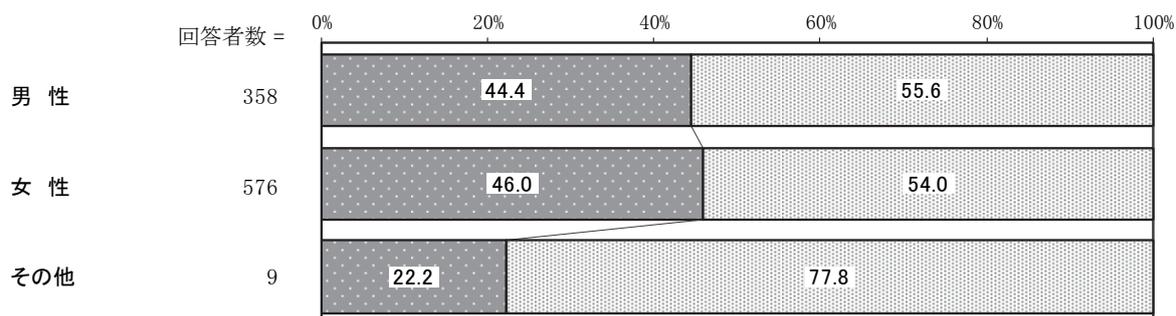
飲酒の経験については、「ある」が45.1%、「ない」が54.9%となっている。

性別にみると、大きな差異はみられない。

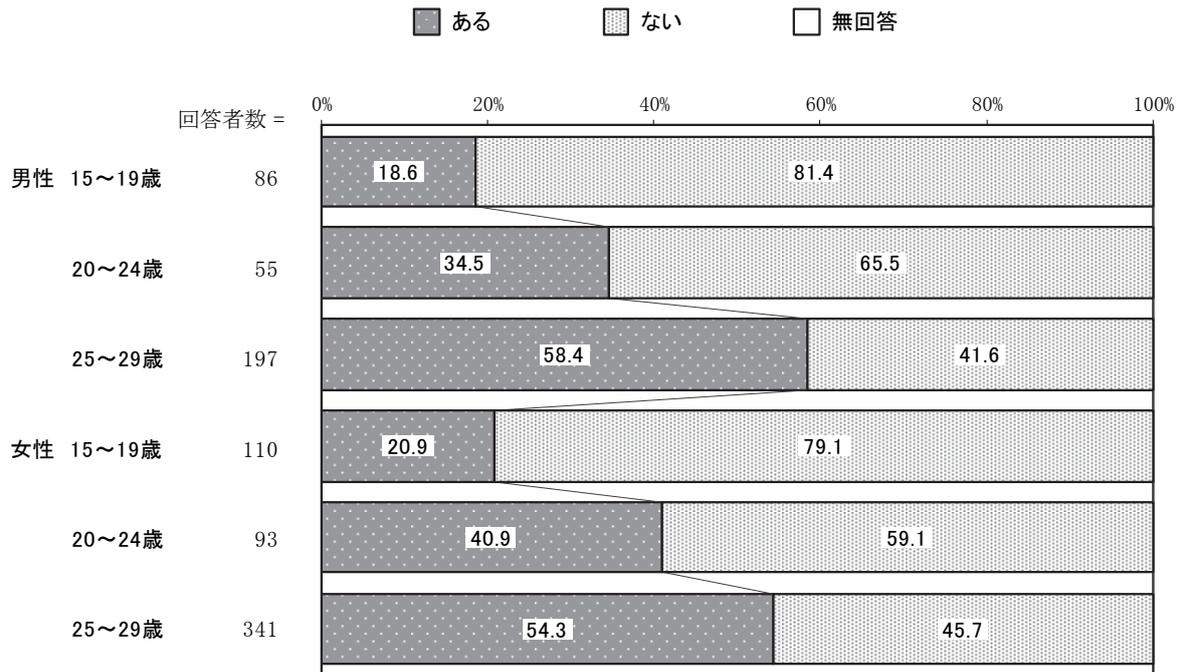
性・年代別にみると、「ある」は、男性の25～29歳で約6割と最も高く、次いで女性の25～29歳で5割台半ばと高く、男性・女性ともに年齢が上がるとともに「ある」が高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、「ある」は、世田谷地域、北沢地域で約5割と高く、最も高い北沢地域と最も低い玉川地域を比べると、10.1ポイントの差がある。

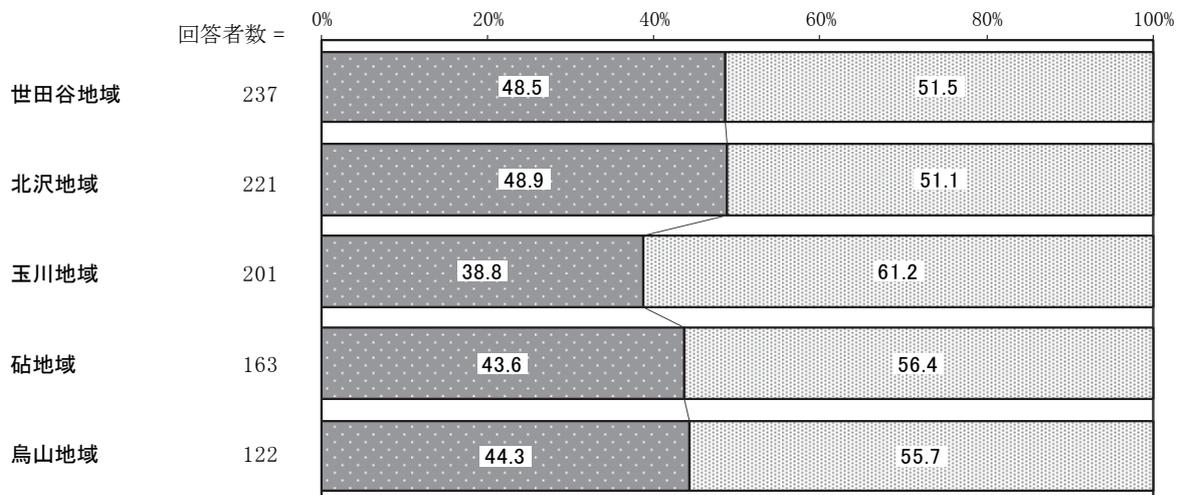
【性別】



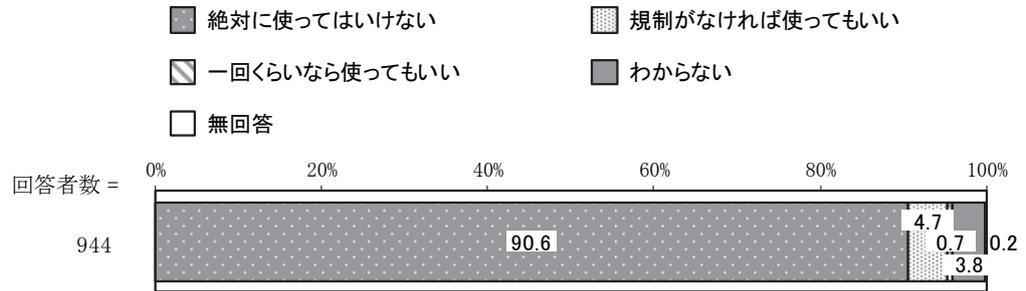
【性・年代別】



【地域別】



(8) シンナーや覚せい剤・危険ドラッグなどの薬物について、どう思いますか。
(1つに○)



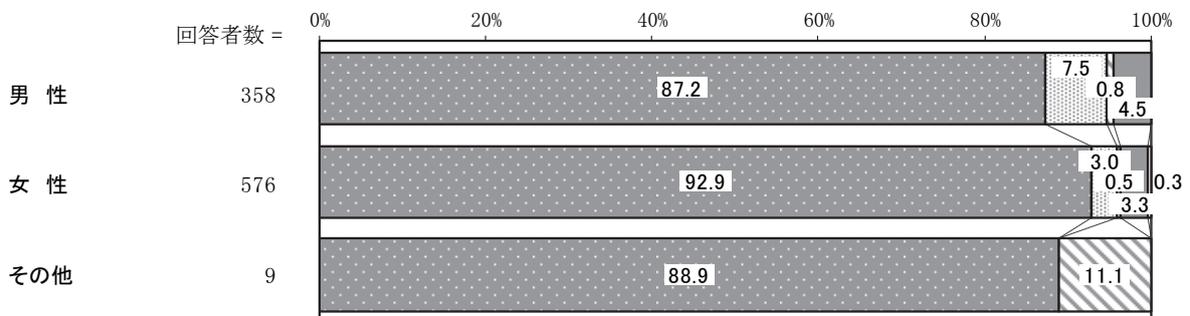
薬物使用への意識については、「絶対に使ってはいけない」90.6%が最も高く、次いで「規制がなければ使ってもいい」4.7%、「わからない」3.8%となっている。

性別にみると、「絶対に使ってはいけない」は、女性が男性よりも5.7ポイント高くなっている。

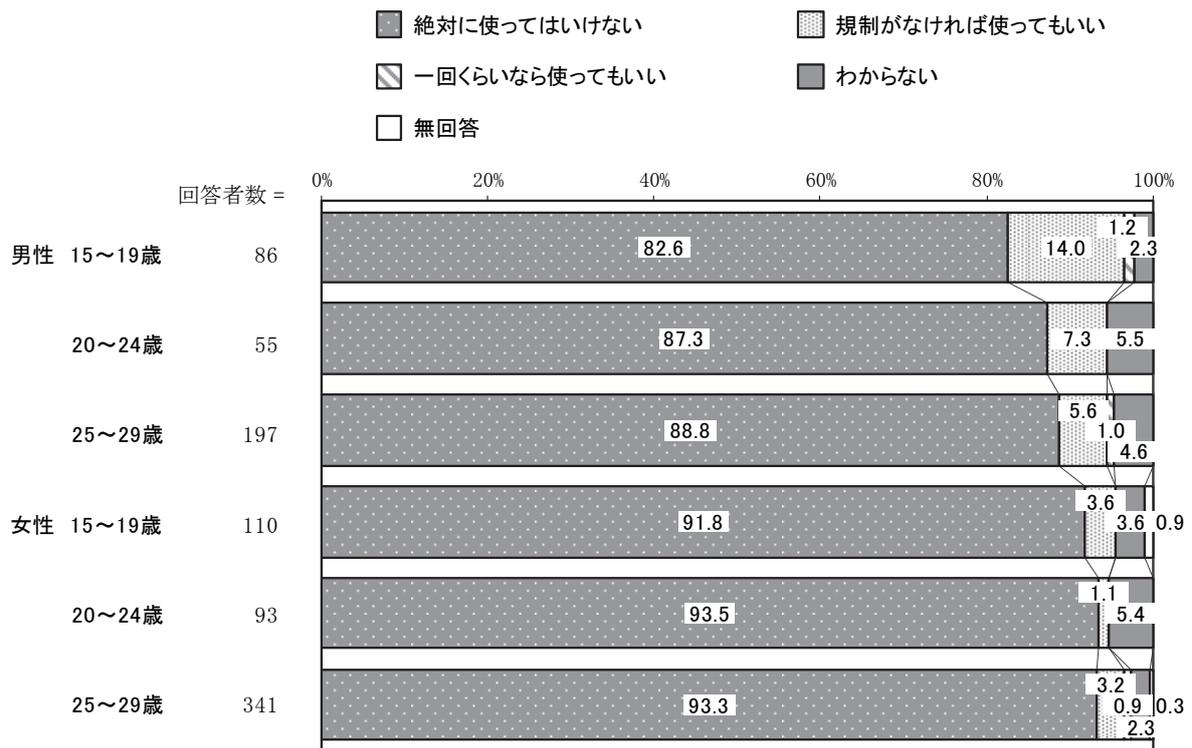
性・年代別にみると、「絶対に使ってはいけない」は、女性がすべての年代で9割台である一方、男性はすべての年代で8割台と低くなっている。「規制がなければ使ってもいい」は、男性の15～19歳で1割台半ばと最も高くなっている。

地域別にみると、大きな差異はみられない。

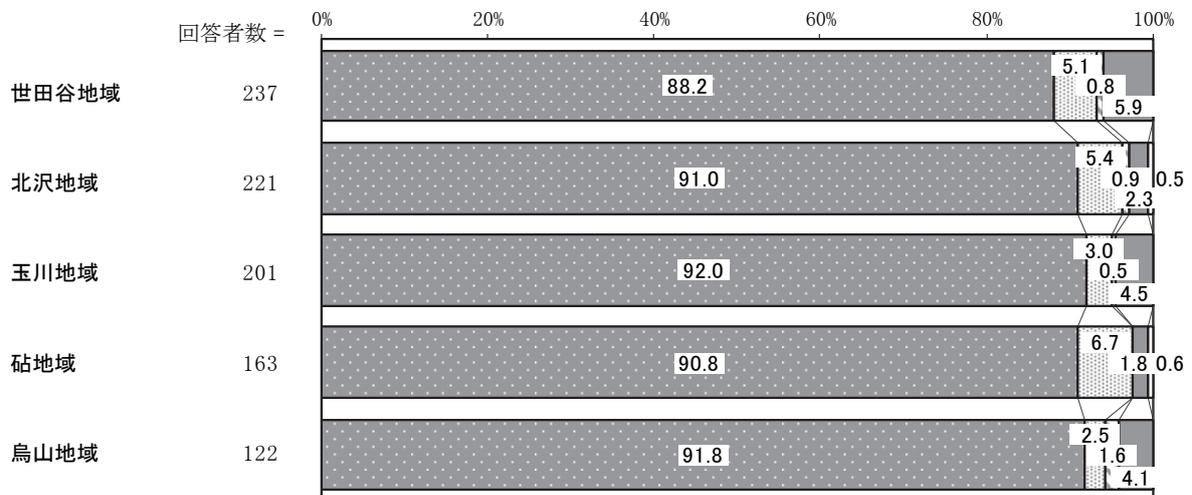
【性別】



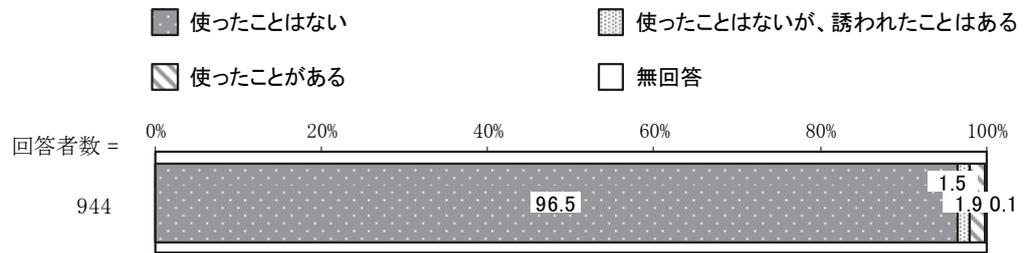
【性・年代別】



【地域別】



(9) シンナーや覚せい剤・危険ドラッグなどの薬物を使ったり、使用を誘われたりしたことはありますか。(1つに○)



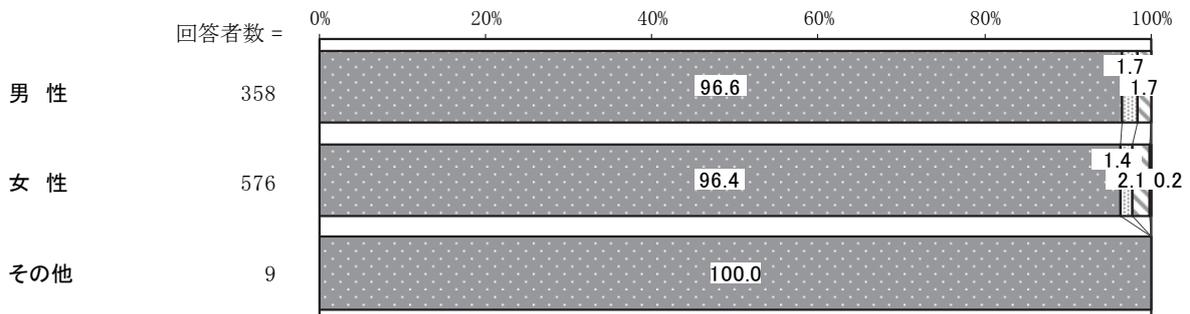
薬物使用の経験や使用を誘われた経験については、「使ったことはない」96.5%が最も高く、次いで「使ったことがある」1.9%、「使ったことはないが、誘われたことはある」1.5%となっている。

性別にみると、大きな差異はみられない。

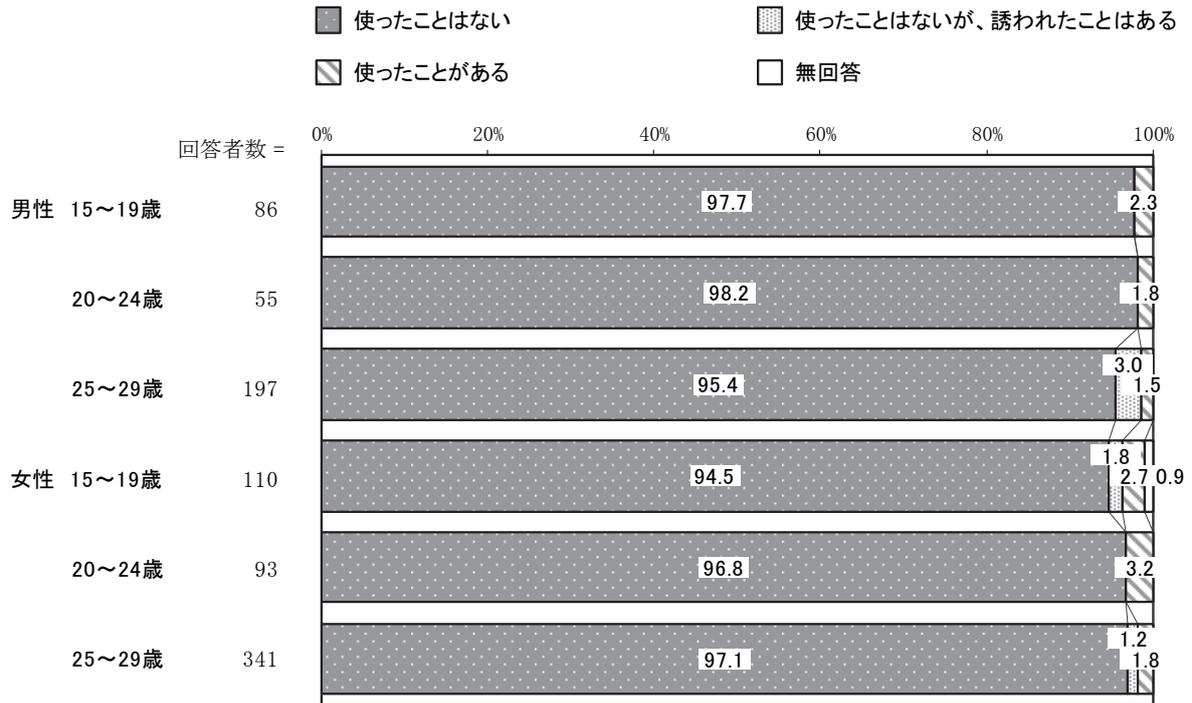
性・年代別にみると、大きな差異はみられない。

地域別にみると、大きな差異はみられない。

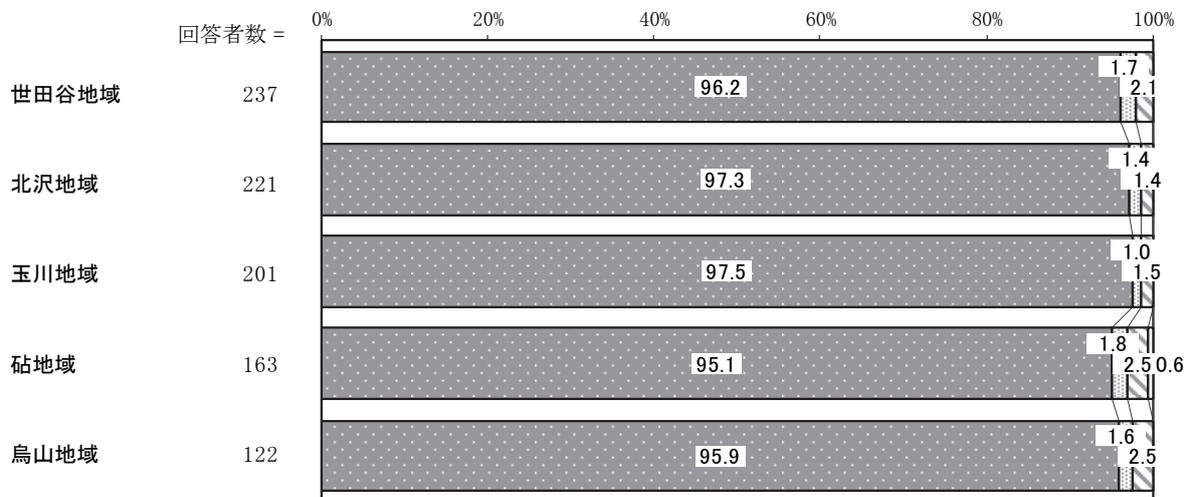
【性別】



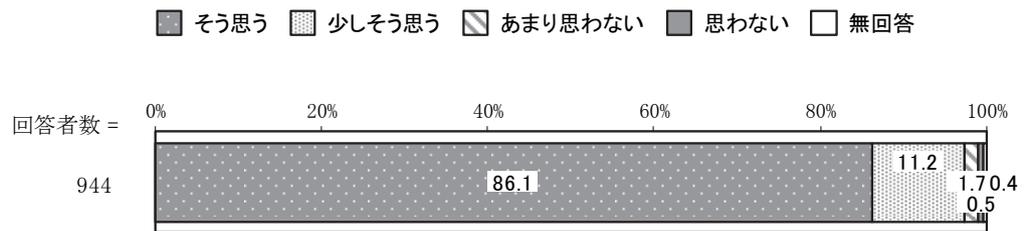
【性・年代別】



【地域別】



問6 あなたは、自分の体や健康を大切にしたいと思いますか。(1つに○)



自分の体や健康を大切にしたい意識については、「そう思う」と「少しそう思う」を合わせた「大切にしたいと思う人」が97.3%、「あまり思わない」と「思わない」をあわせた「大切にしたいと思わない人」が2.2%となっている。

性別にみると、「そう思う」は、女性が男性よりも6.1ポイント高くなっている。

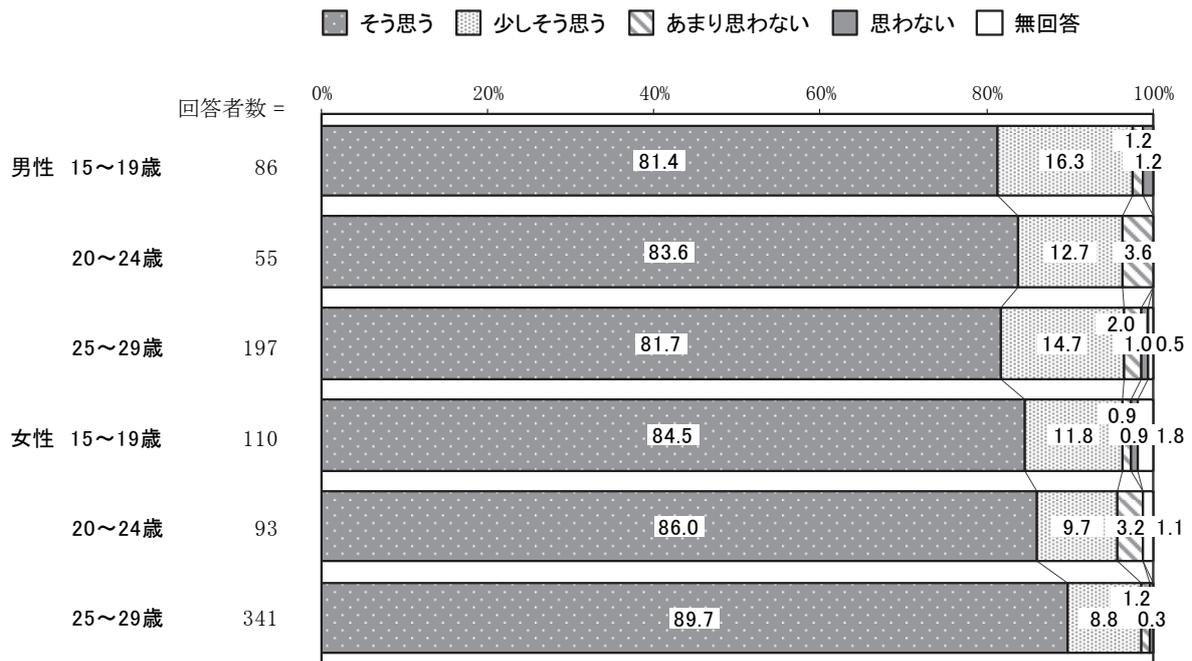
性・年代別にみると、「大切にしたいと思う人」は大きな差異はみられない。

地域別にみると、大きな差異はみられない。

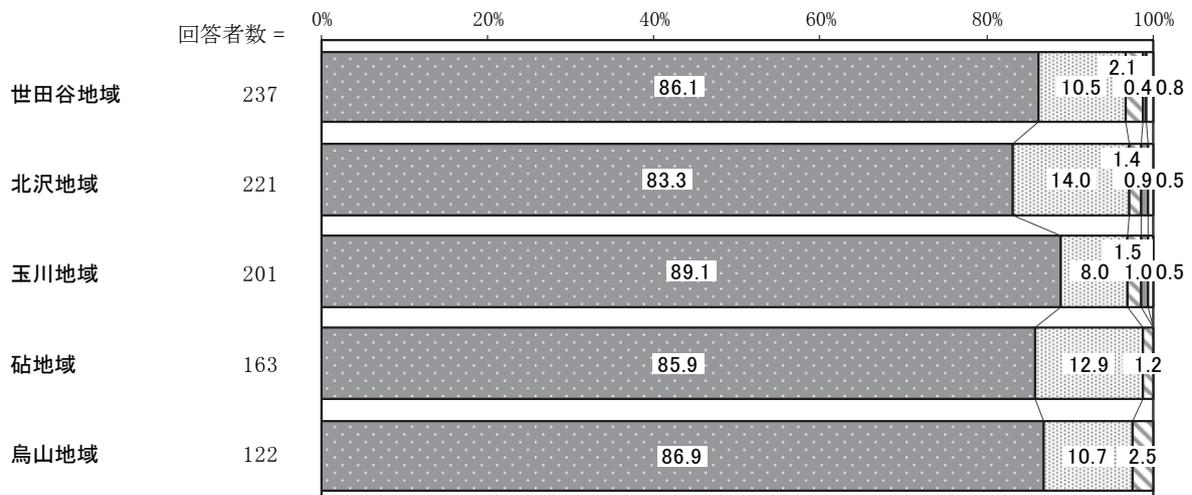
【性別】



【性・年代別】

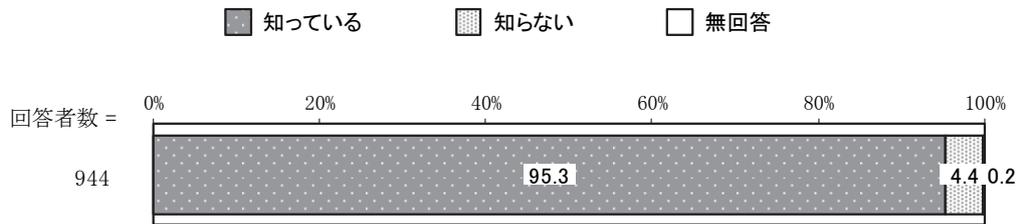


【地域別】



(3) 性感染症や妊娠等について

問7 あなたは、性行為で感染する病気（性感染症）を知っていますか。（1つに○）

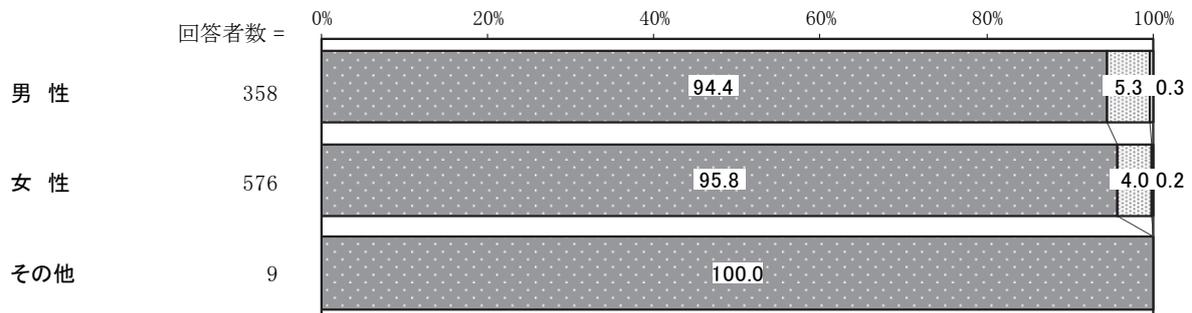


性感染症の認知度については、「知っている」が95.3%、「知らない」が4.4%となっている。性別にみると、大きな差異はみられない。

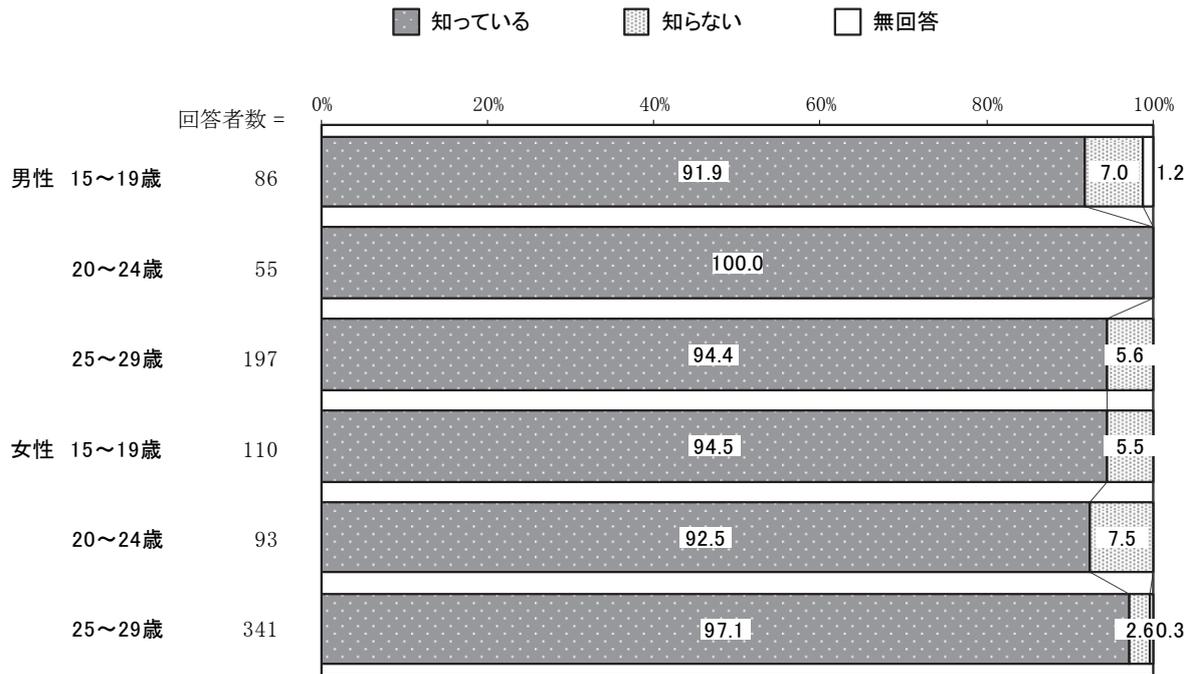
性・年代別にみると、男性の20～24歳の100%を除き、男性・女性ともにすべての年代で9割台となっている。

地域別にみると、大きな差異はみられない。

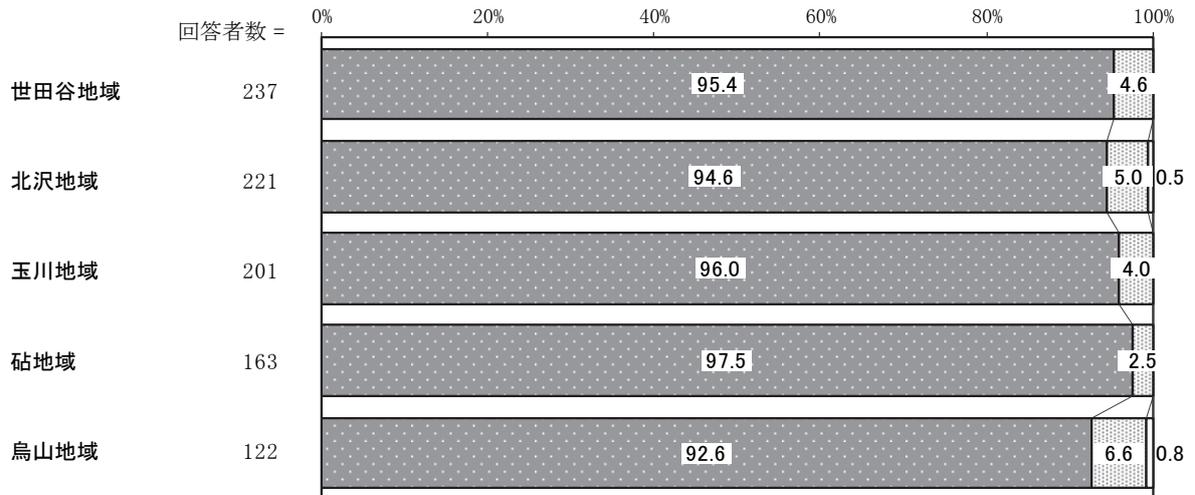
【性別】



【性・年代別】

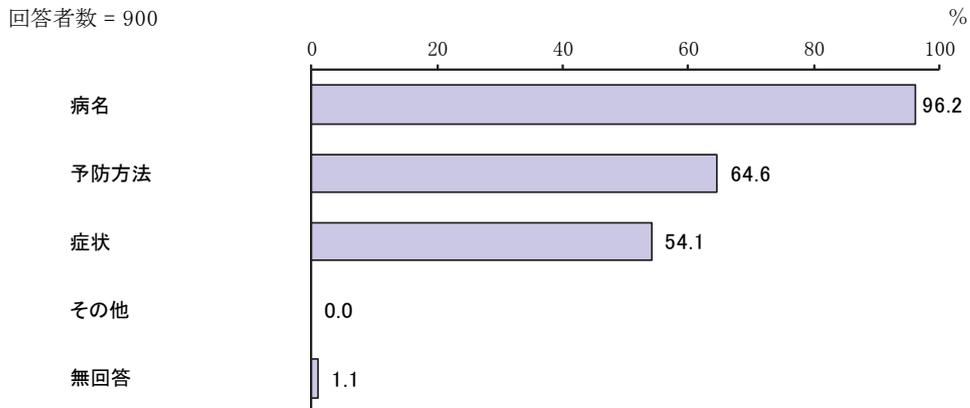


【地域別】



問7で「1. 知っている」を選ばれた方にうかがいます。

問7-1 あなたは、性感染症のどんなことを知っていますか。
(あてはまる全ての番号に○)



性感染症の知識については、「病名」96.2%が最も高く、次いで「予防方法」64.6%、「症状」54.1%となっている。

性別にみると、「症状」は、男性が女性よりも5.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「病名」は、女性の15～19歳で10割と最も高くなっている。「症状」は、男性の15～19歳で7割、「予防方法」は、男性の15～19歳で7割台半ばと最も高くなっている。

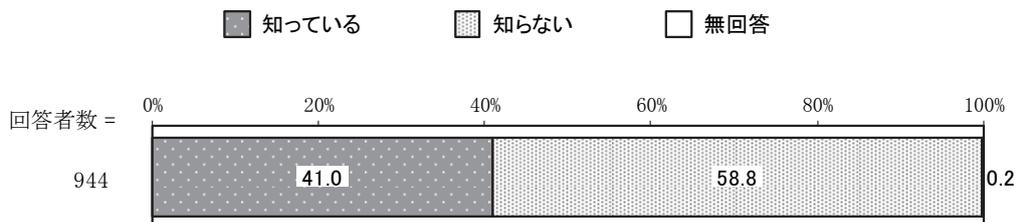
地域別にみると、「症状」は、砧地域で6割を超えて最も高く、最も低い世田谷地域、烏山地域と比べると、12.7ポイントの差がある。「予防方法」は、砧地域で7割台半ばと最も高く、最も低い烏山地域と比べると、15.5ポイントの差がある。

【性別】【性・年代別】【地域別】

単位：％

区分		病名	症状	予防方法	その他	無回答	回答者数 (件)
男性		94.4	57.7	67.5	—	1.5	338
女性		97.5	52.2	63.0	—	0.9	552
その他		88.9	44.4	55.6	—	—	9
男性	15～19歳	96.2	70.9	75.9	—	—	79
	20～24歳	94.5	63.6	63.6	—	1.8	55
	25～29歳	93.5	50.5	64.0	—	2.2	186
女性	15～19歳	100.0	51.0	56.7	—	—	104
	20～24歳	97.7	52.3	62.8	—	—	86
	25～29歳	97.6	52.6	65.6	—	0.6	331
世田谷地域		97.3	49.6	64.2	—	1.8	226
北沢地域		96.2	55.0	61.7	—	0.5	209
玉川地域		96.9	54.4	62.7	—	—	193
砧地域		96.2	62.3	74.8	—	1.9	159
烏山地域		92.9	49.6	59.3	—	1.8	113

問8 保健所では、エイズなどの性感染症の検査を、無料・匿名で受けられることを知っていますか。



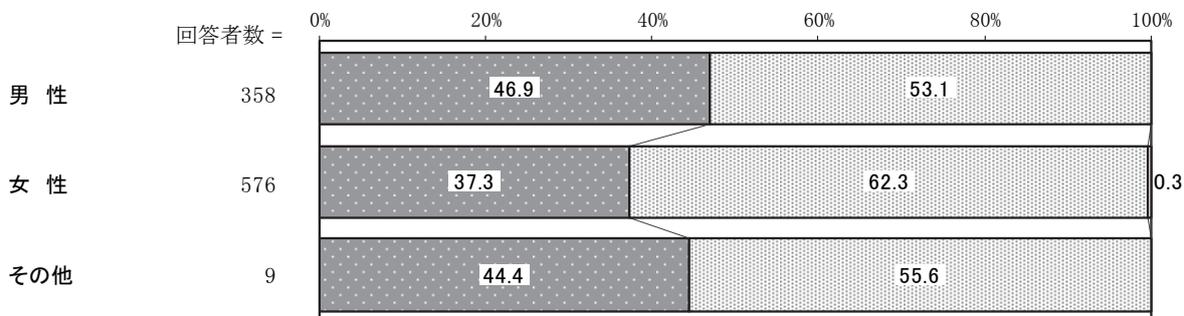
保健所での無料・匿名検査の認知度については、「知っている」が41.0%、「知らない」が58.8%となっている。

性別にみると、「知っている」は、男性が女性よりも9.6ポイント高くなっている。一方、「知らない」は、女性が男性よりも9.2ポイント高くなっている。

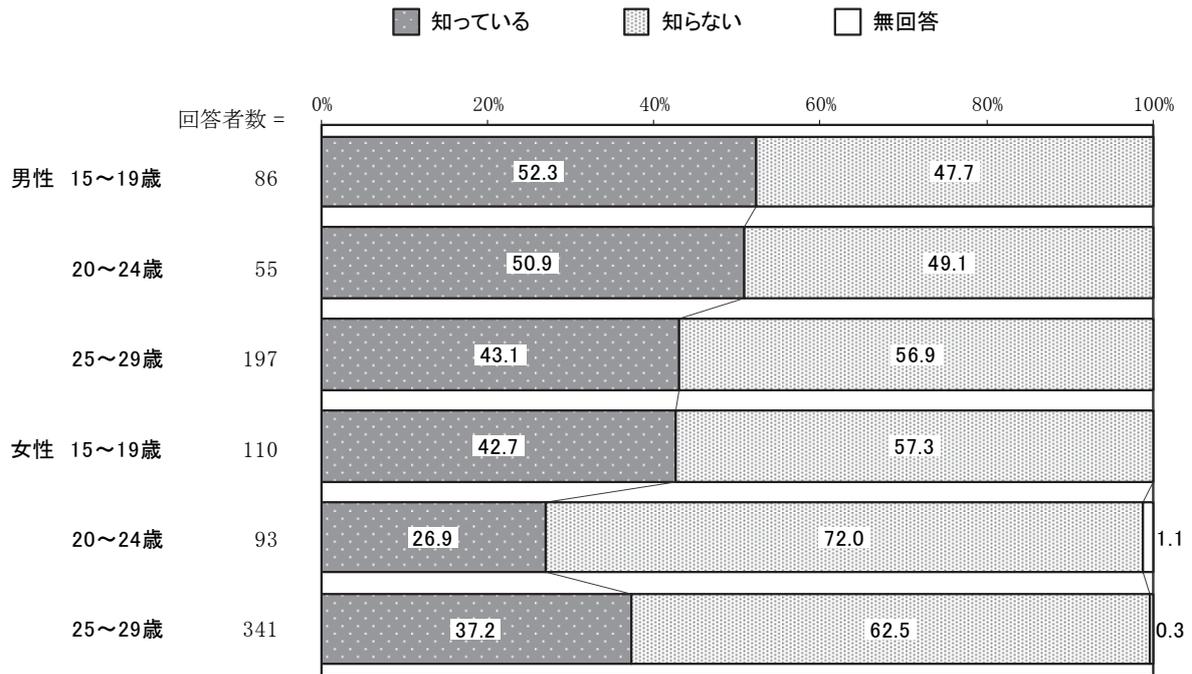
性・年代別にみると、「知っている」は、男性の15～19歳で5割を超えて最も高く、次いで男性の20～24歳で5割となっている。一方、「知らない」は、女性の20～24歳で7割を超えて最も高く、次いで女性の25～29歳で6割を超えている。

地域別にみると、「知っている」は、砧地域、烏山地域で4割台半ばと高くなっている。

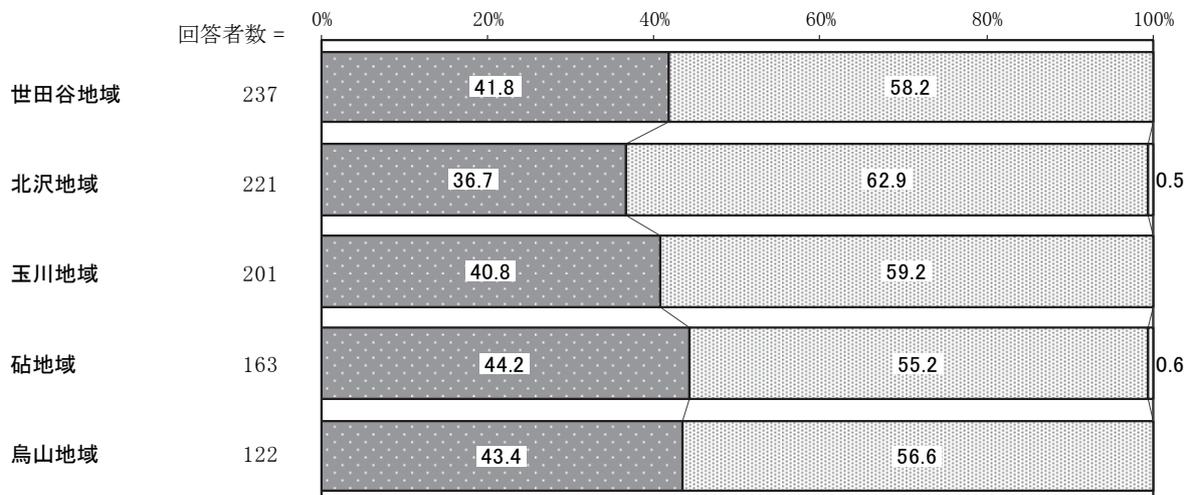
【性別】



【性・年代別】

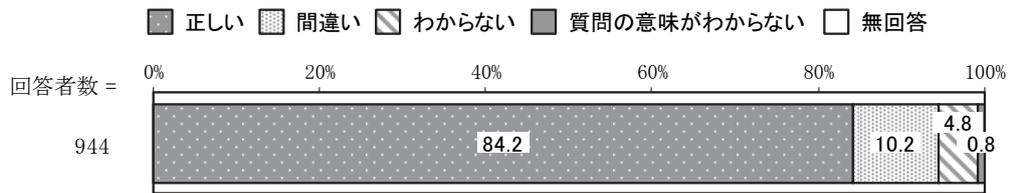


【地域別】

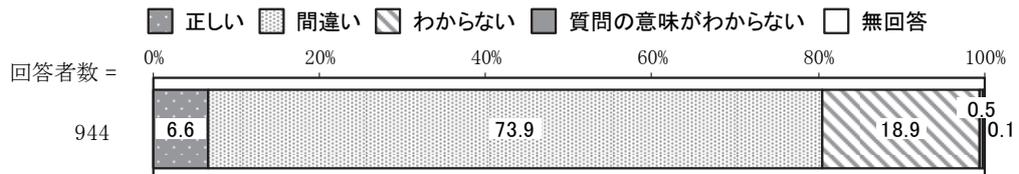


問9 性・妊娠に関する知識をお聞きします。(1つに○)

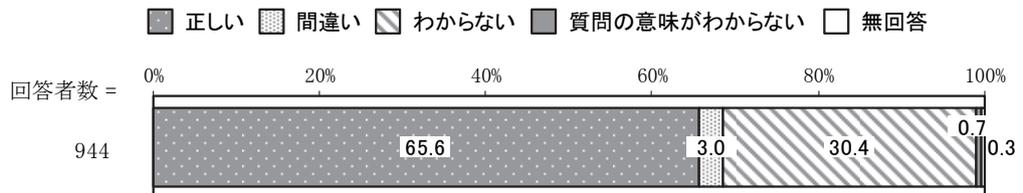
1. 性感染症は、性交のときコンドームを正しく使用することで、予防できる。



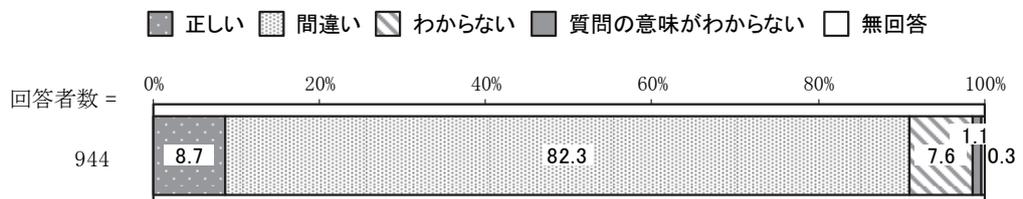
2. 性感染症にかかると、必ず自覚症状がある。



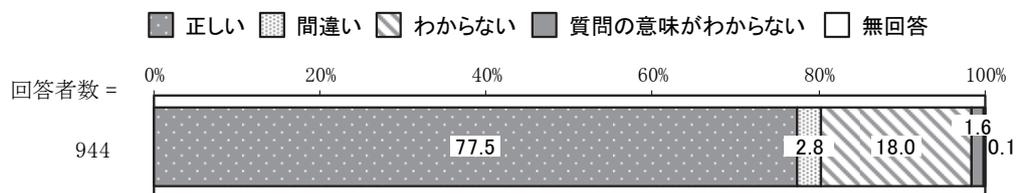
3. 性感染症を治療しないと、不妊症になることがある。



4. 避妊しなければ確実に妊娠する。



5. 卵子や精子も老化していく。



【全 体】

性・妊娠に関する知識として、「性感染症は、性交のときコンドームを正しく使用することで、予防できる。」（設問1）で「正しい」が84.2%と最も高くなっている。「避妊しなければ確実に妊娠する。」（設問4）で「間違い」が82.3%と最も高くなっている。「性感染症を治療しないと、不妊症になることがある。」（設問3）で、「わからない」が30.4%となっている。

【性 別】

性別にみると、いずれの設問でも大きな差異はみられない。

【性・年代別】

性・年代別にみると、「性感染症は、性交のときコンドームを正しく使用することで、予防できる。」（設問1）で、「正しい」が、男性の20～24歳で9割を超えて最も高くなっている。「性感染症にかかると、必ず自覚症状がある。」（設問2）で、「間違い」が、男性の20～24歳、女性の25～29歳で7割台半ばと最も高くなっている。「性感染症を治療しないと、不妊症になることがある。」（設問3）で、「正しい」が、男性の20～24歳で7割台半ばと最も高くなっている。「卵子や精子も老化していく。」（設問5）で、「わからない」が、女性の20～24歳で約3割と最も高くなっている。

【地 域 別】

地域別にみると、「性感染症にかかると、必ず自覚症状がある。」（設問2）で、「間違い」が、砧地域で約8割と最も高く、次いで北沢地域で7割台半ばとなっている。「性感染症を治療しないと、不妊症になることがある。」（設問3）で、「正しい」が、玉川地域、砧地域で約7割と最も高くなっている。「卵子や精子も老化していく。」（設問5）で、「正しい」が、玉川地域で8割台半ばと最も高く、次いで砧地域で8割を超えている。

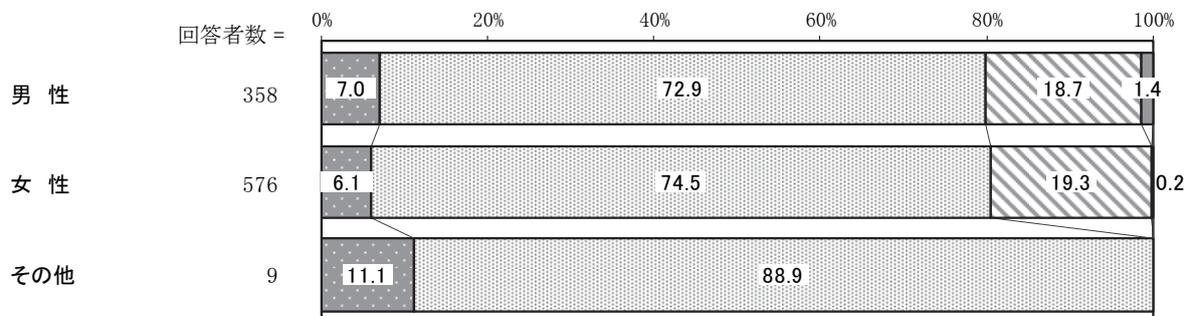
【性別】

■ 正しい ■ 間違い ▨ わからない ■ 質問の意味がわからない □ 無回答

1. 性感染症は、性交のときコンドームを正しく使用することで、予防できる。



2. 性感染症にかかると、必ず自覚症状がある。

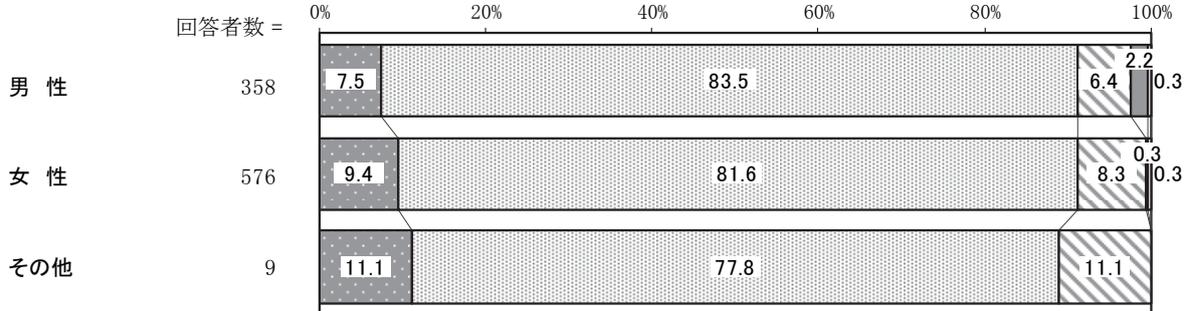


3. 性感染症を治療しないと、不妊症になることがある。

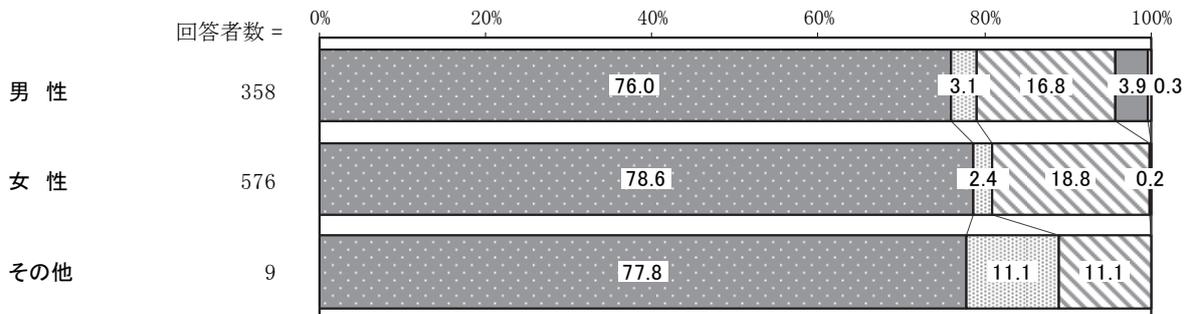


■ 正しい ■ 間違い ■ わからない ■ 質問の意味がわからない □ 無回答

4. 避妊しなければ確実に妊娠する。



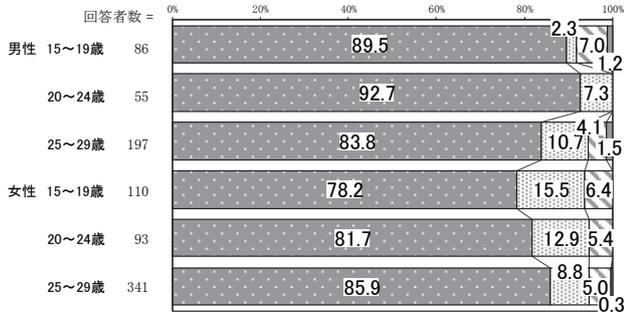
5. 卵子や精子も老化していく。



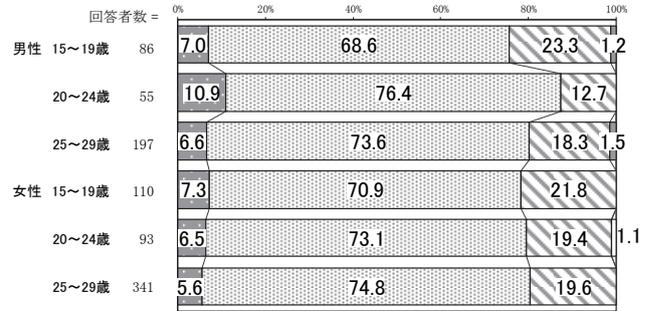
【性・年代別】

■ 正しい □ 間違い ▨ わからない ■ 質問の意味がわからない □ 無回答

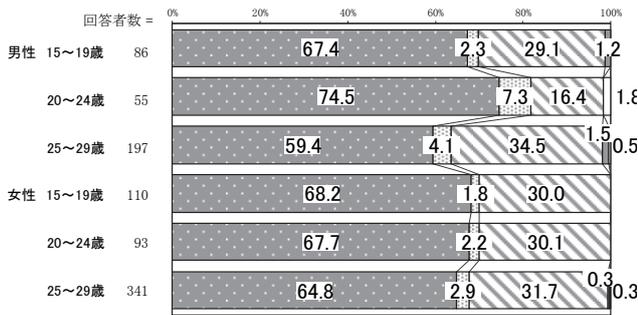
1. 性感染症は、性交のときコンドームを正しく使用することで、予防できる。



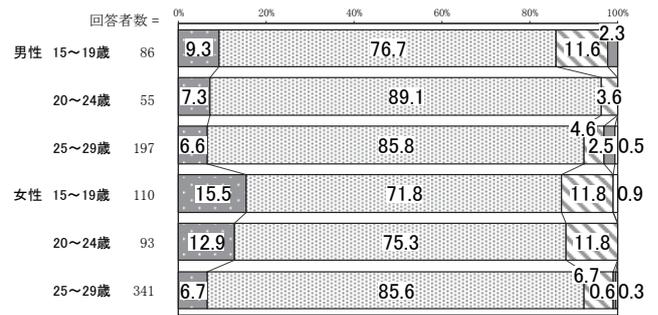
2. 性感染症にかかると、必ず自覚症状がある。



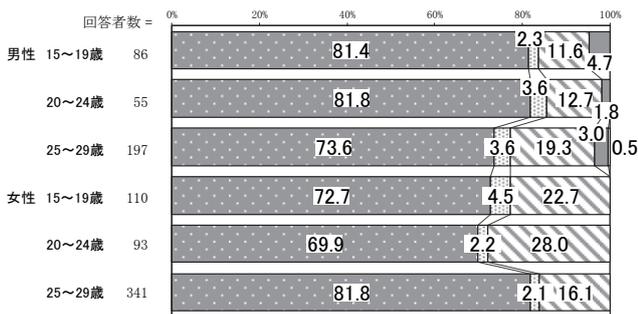
3. 性感染症を治療しないと、不妊症になることがある。



4. 避妊しなければ確実に妊娠する。



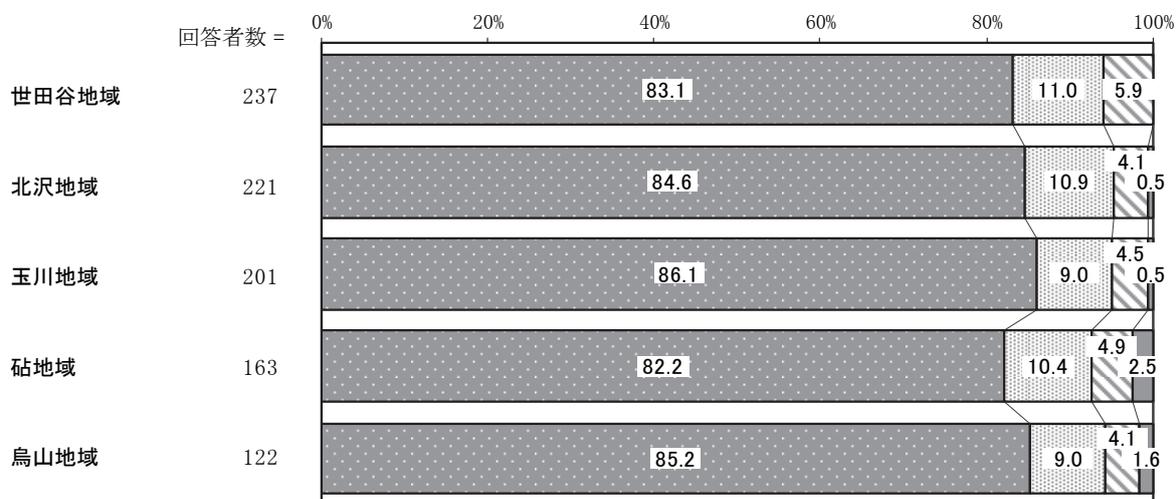
5. 卵子や精子も老化していく。



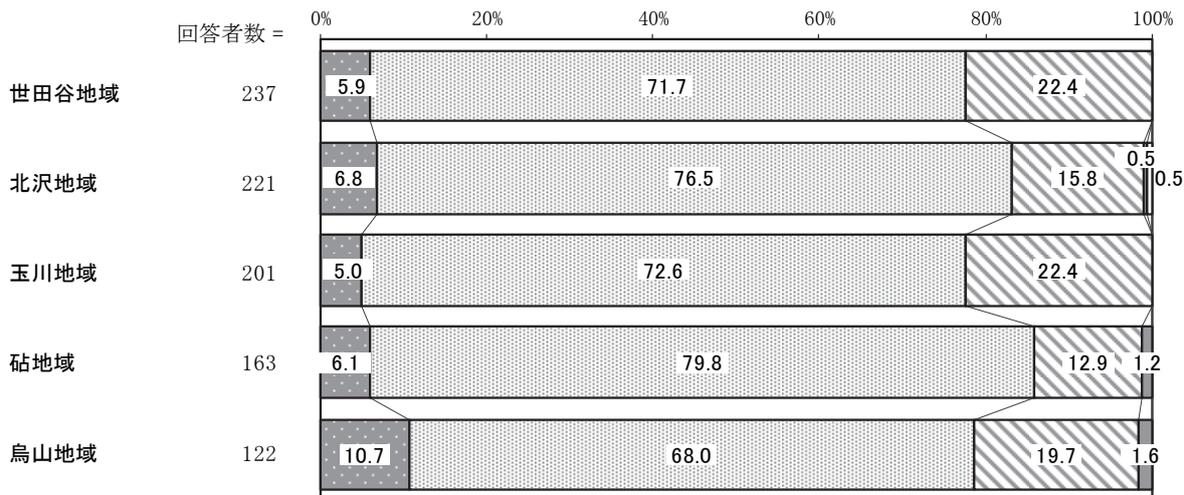
【地域別】

■ 正しい ■ 間違い ■ わからない ■ 質問の意味がわからない □ 無回答

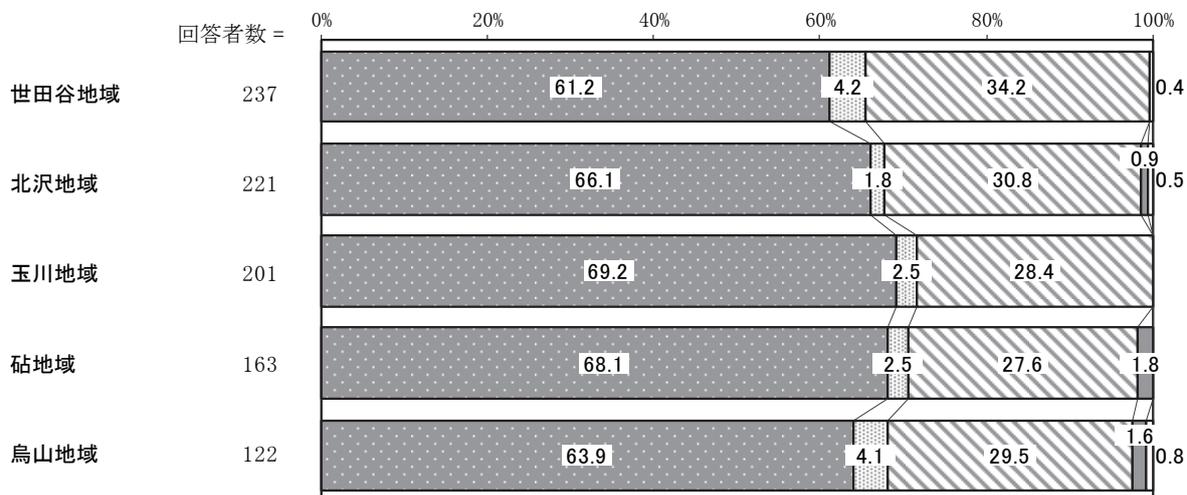
1. 性感染症は、性交のときコンドームを正しく使用することで、予防できる。



2. 性感染症にかかると、必ず自覚症状がある。

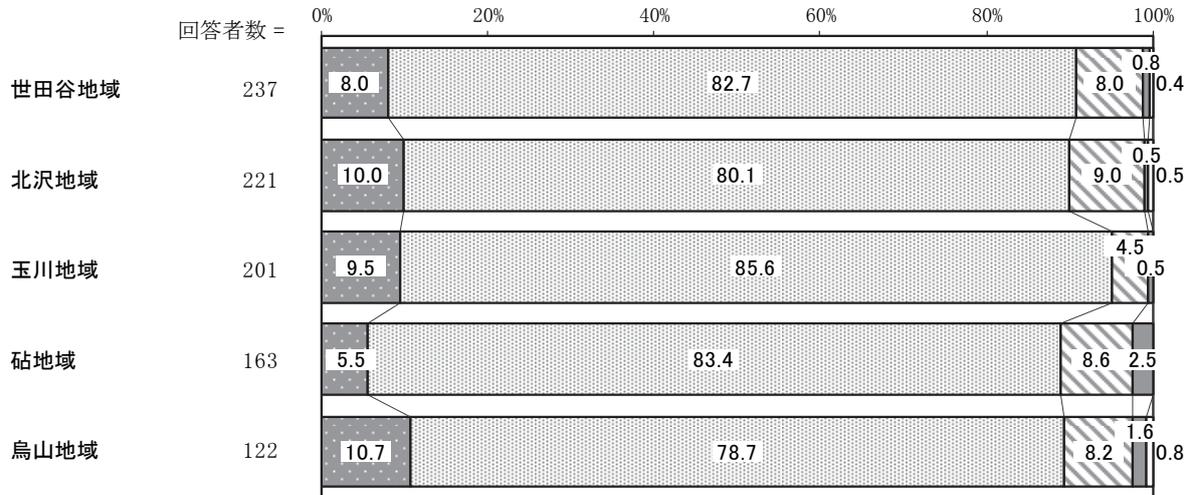


3. 性感染症を治療しないと、不妊症になることがある。

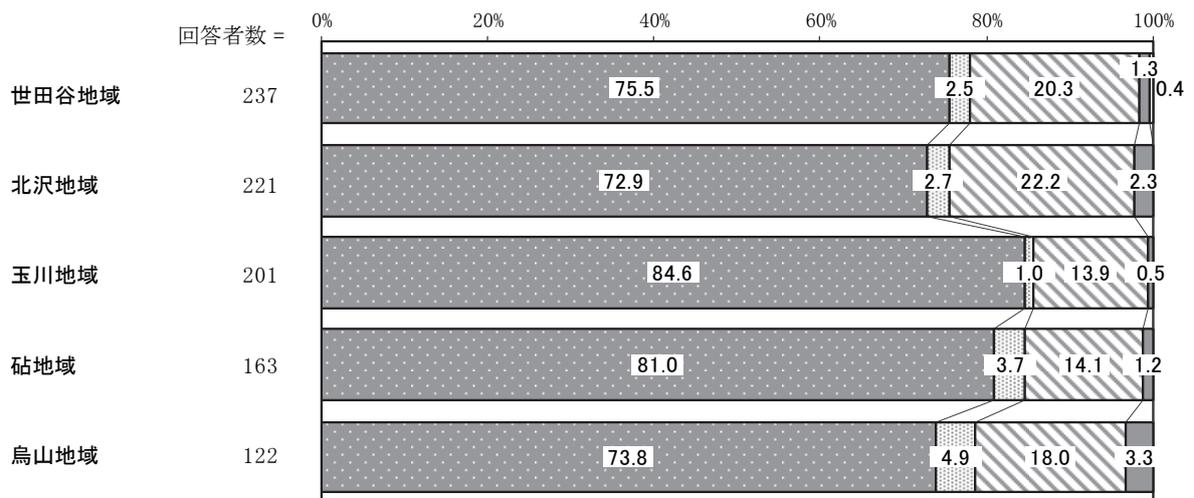


■ 正しい ■ 間違い ■ わからない ■ 質問の意味がわからない □ 無回答

4. 避妊しなければ確実に妊娠する。

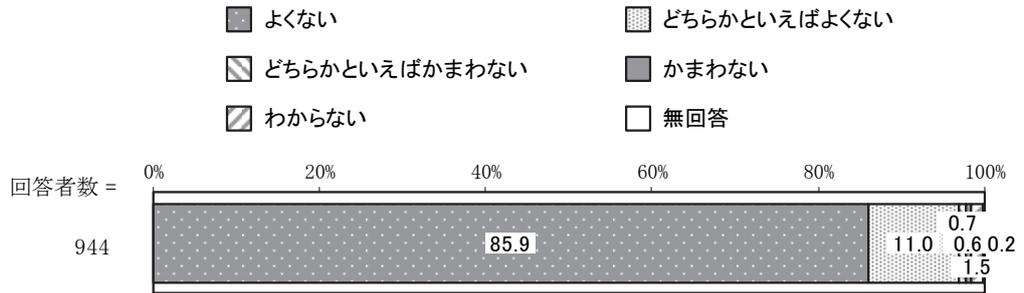


5. 卵子や精子も老化していく。

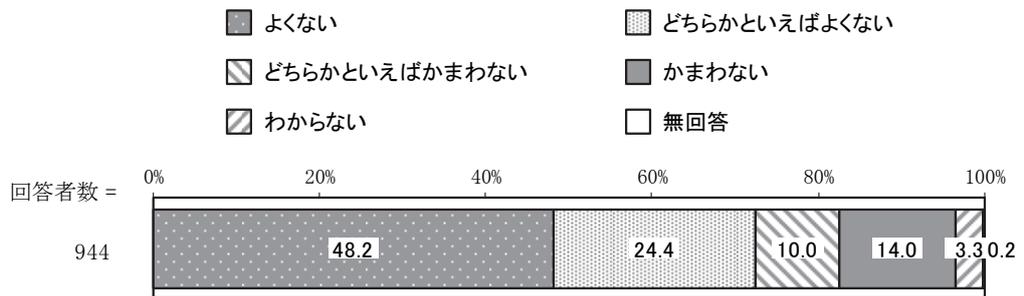


問10 あなたは、次のようなことについてどう思いますか。(1つに○)

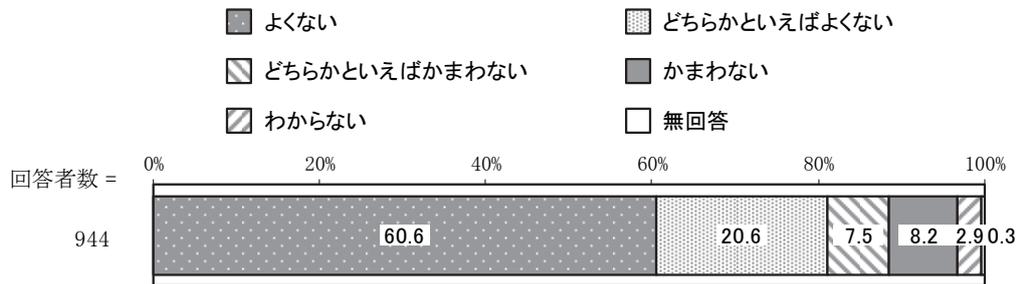
1. 感染症予防に注意せずに、性交する。



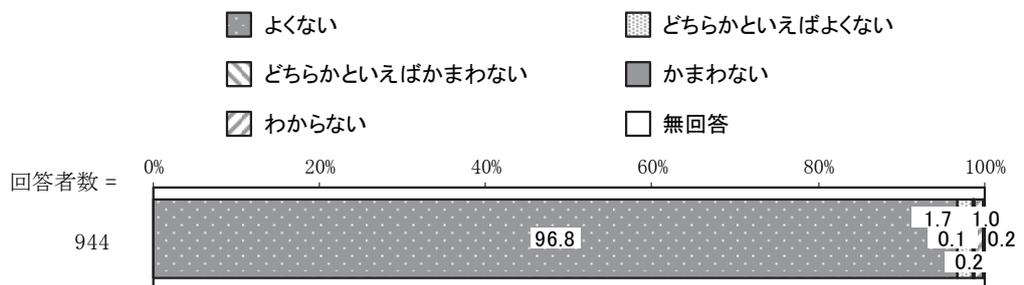
2. 愛情がなくても、性交する。



3. お金やものもらって(あげて)性交する。



4. 相手の意思を無視して性交する。



【全 体】

性・妊娠に関する知識として、「相手の意思を無視して性交する。」(設問4)で「よくない」と「どちらかといえばよくない」を合わせた「よくないと思う人」が98.5%となっている。「感染症予防に注意せずに、性交する。」(設問1)で「よくないと思う人」が96.9%となっている。

【性 別】

性別にみると、「感染症予防に注意せずに、性交する」(設問1)、「愛情がなくても、性交する」(設問2)、「お金やものをもらって(あげて)性交する」(設問3)で、「よくない」は、女性が男性よりも高くなっている。また、「愛情がなくても、性交する」(設問2)、「お金やものをもらって(あげて)性交する」(設問3)で、「どちらかといえばかまわない」と「かまわない」を合わせた「かまわないと思う人」は、男性が女性よりも高くなっている。

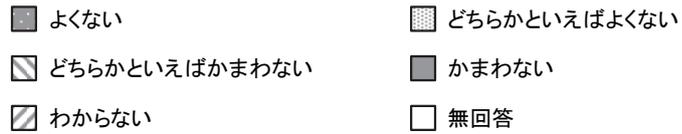
【性・年代別】

性・年代別にみると、「愛情がなくても、性交する」(設問2)で、「よくないと思う人」は女性の15～19歳で8割台半ばと最も高くなっている一方、「かまわないと思う人」は、男性の25～29歳で3割台半ばと最も高くなっている。「お金やものをもらって(あげて)性交する。」(設問3)で、「よくないと思う人」は、女性の20～24歳で9割を超えて最も高くなっている一方、「かまわないと思う人」は、男性の15～19歳、25～29歳で2割台半ばと最も高くなっている。

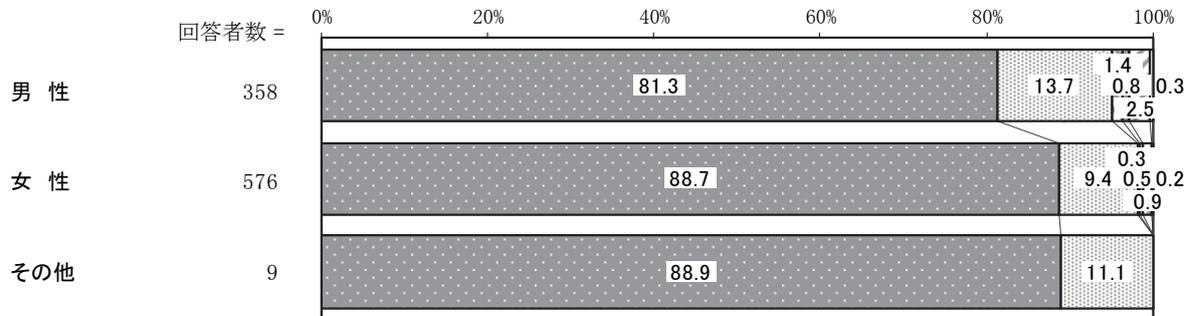
【地 域 別】

地域別にみると、「愛情がなくても、性交する。」(設問2)で、「かまわないと思う人」は、砧地域で約3割と最も高く、最も低い烏山地域と比べると、8.7ポイントの差がある。

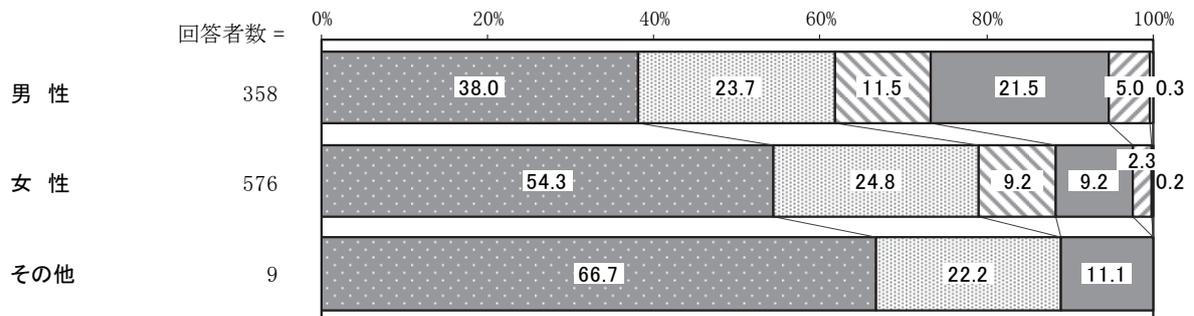
【性別】



1. 感染症予防に注意せずに、性交する。



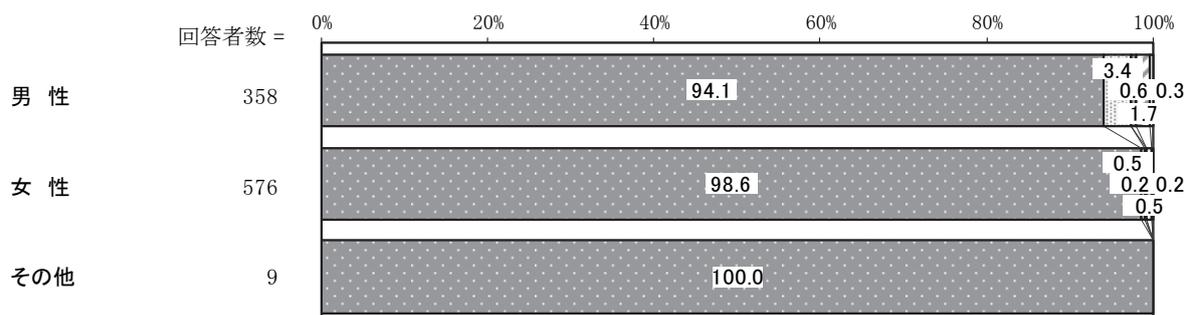
2. 愛情がなくても、性交する。



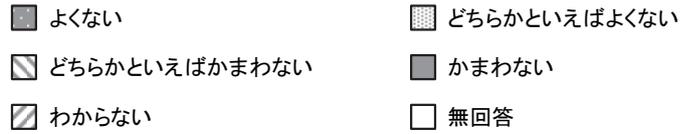
3. お金やものもらって（あげて）性交する。



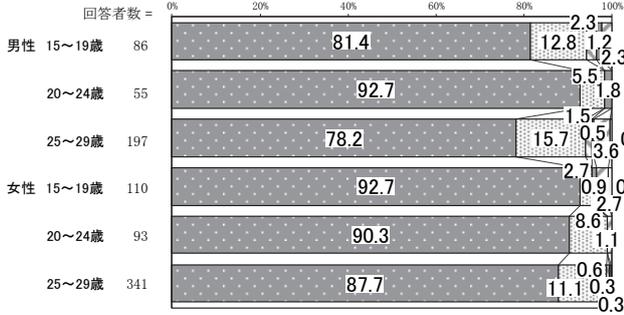
4. 相手の意思を無視して性交する。



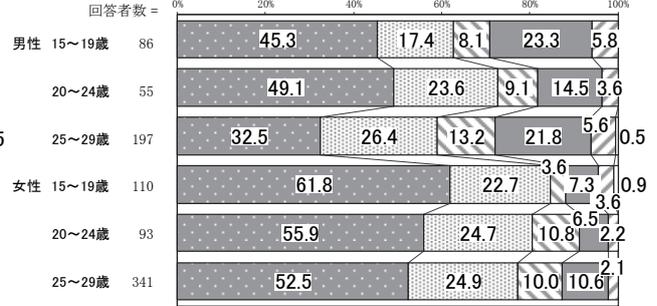
【性・年代別】



1. 感染症予防に注意せずに、性交する。



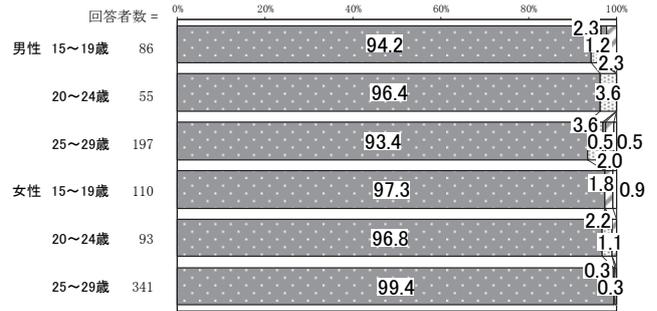
2. 愛情がなくても、性交する。



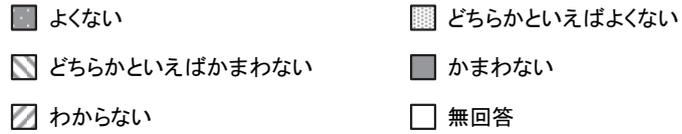
3. お金やものをもらって（あげて）性交する。



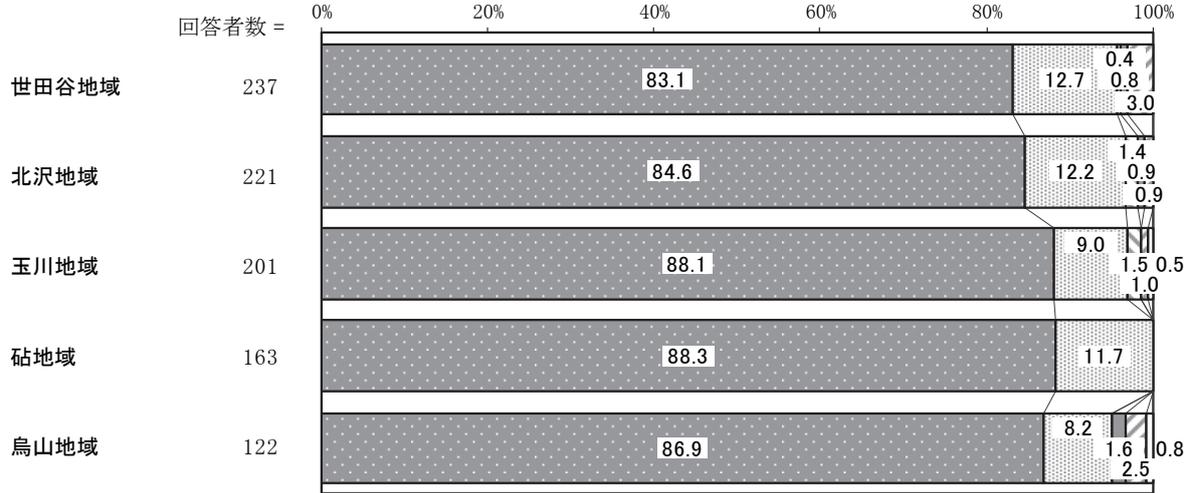
4. 相手の意思を無視して性交する。



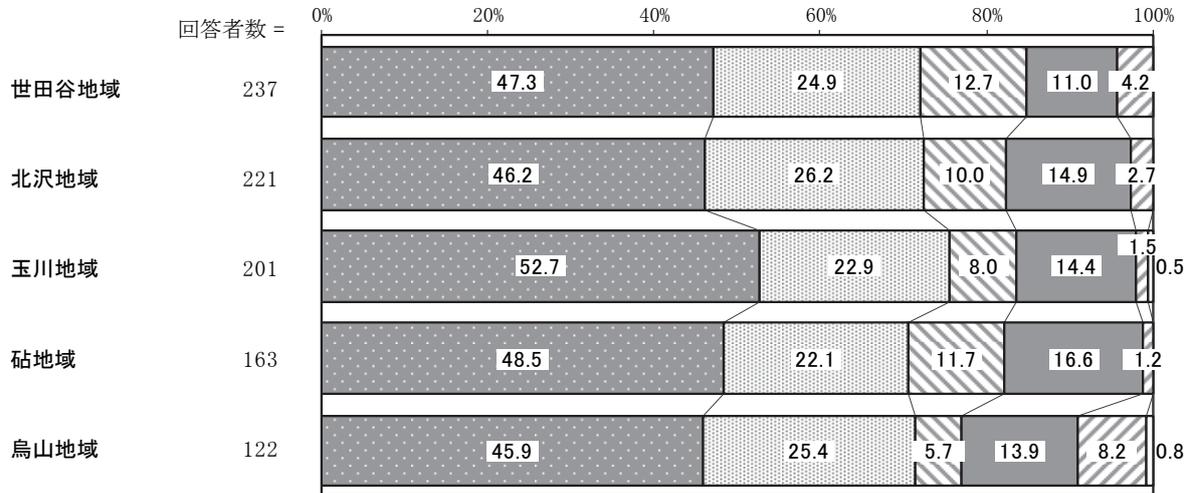
【地域別】



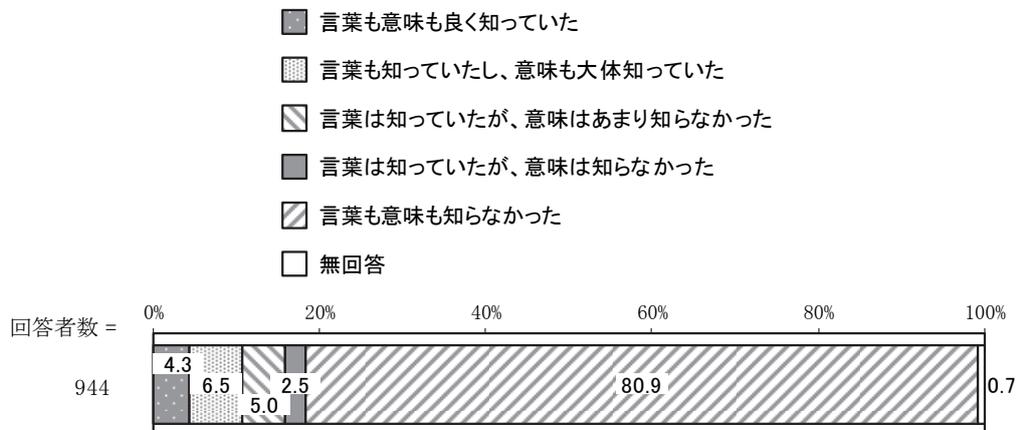
1. 感染症予防に注意せずに、性交する。



2. 愛情がなくても、性交する。



問11 あなたは、「リプロダクティブヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康／権利）」を知っていますか。（1つに○）



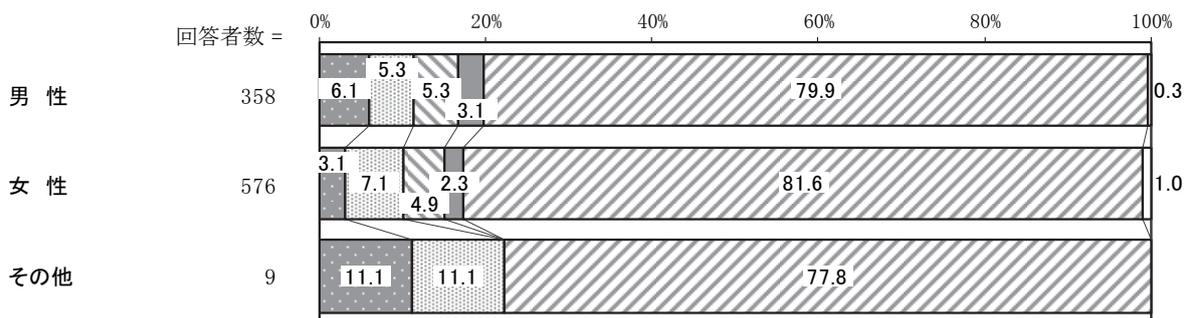
「リプロダクティブヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康／権利）」の認知度については、「言葉も意味も良く知っていた」、「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」、「言葉は知っていたが、意味はあまり知らなかった」、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」を合わせた「知っていた人」が18.3%、「言葉も意味も知らなかった」が80.9%となっている。

性別にみると、大きな差異はみられない。

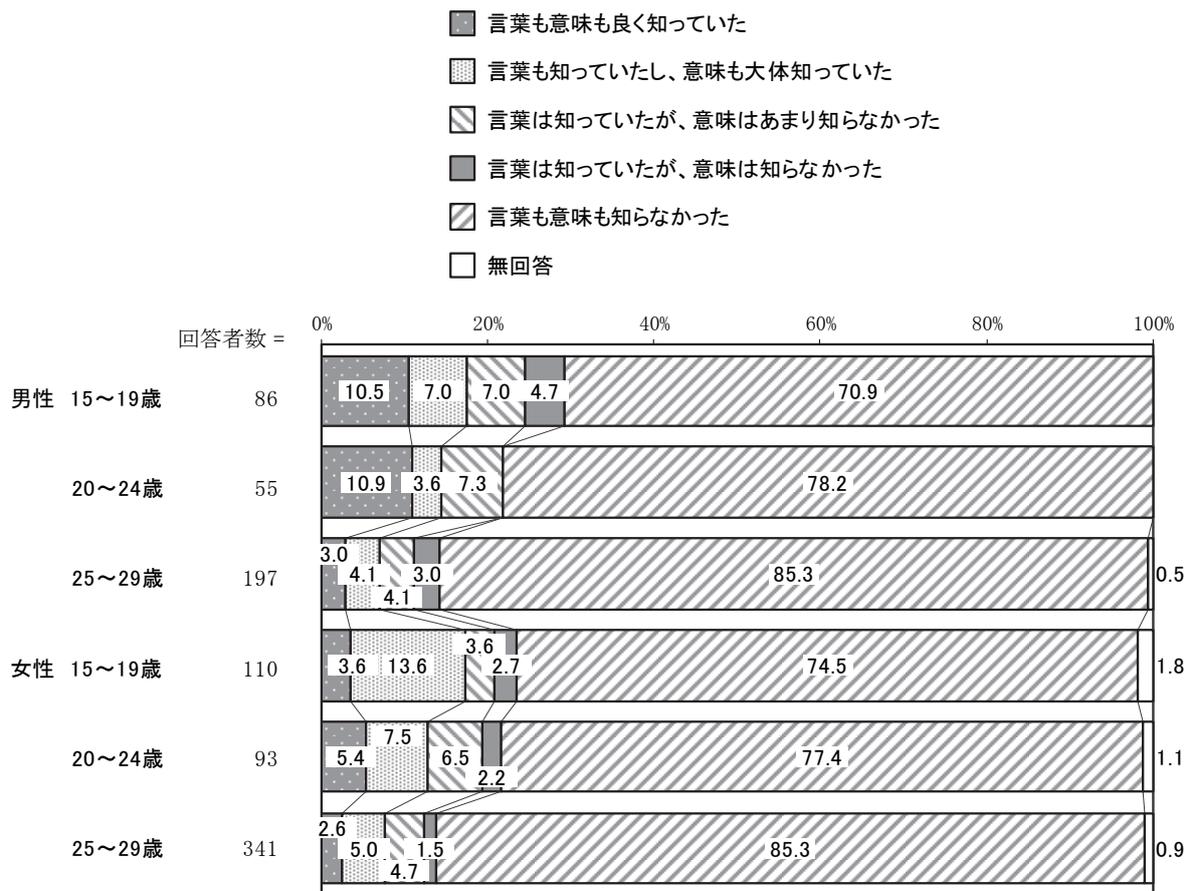
性・年代別にみると、「知っていた人」は、男性の15～19歳で約3割と最も高く、男性・女性ともに、年齢が上がるほど低くなる傾向がある。

地域別にみると、大きな差異はみられない。

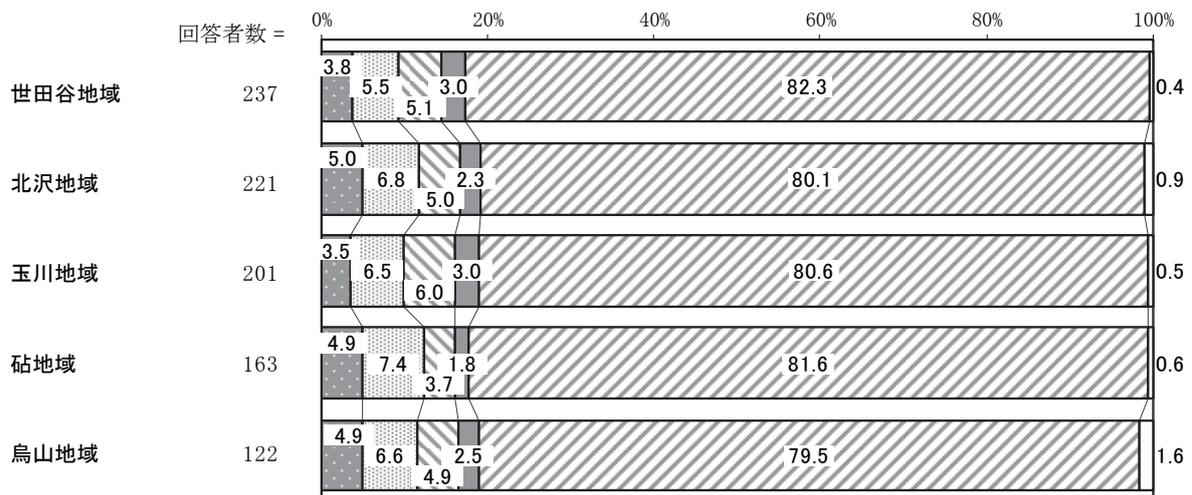
【性別】



【性・年代別】

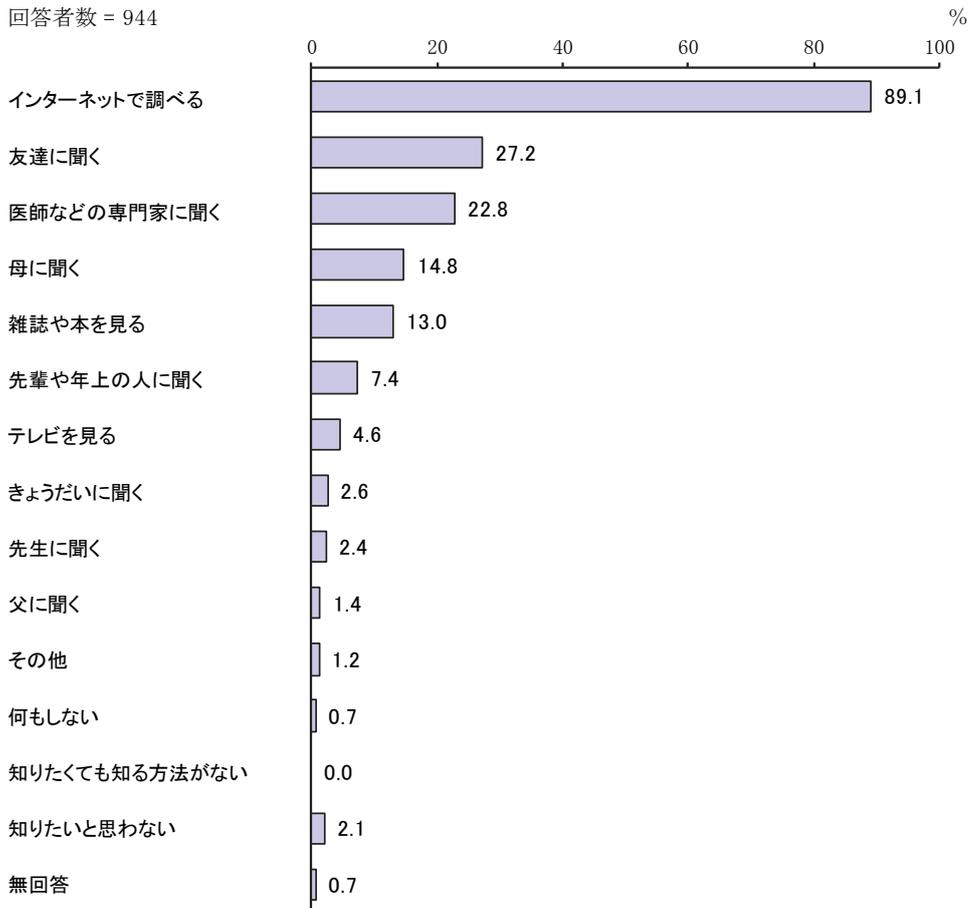


【地域別】



問 12 あなたは、性感染症や妊娠等について知りたいと思ったとき、どうしますか。
(あてはまる全ての番号に○)

回答者数 = 944



性感染症や妊娠等について知る方法については、「インターネットで調べる」89.1%が最も高く、次いで「友達に聞く」27.2%、「医師などの専門家に聞く」22.8%となっている。

性別にみると、「友達に聞く」は、女性が男性よりも8.1ポイント高くなっている。また、「母に聞く」は、女性が男性よりも14.0ポイント、「医師などの専門家に聞く」は、女性が男性よりも9.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「母に聞く」は、女性の15～19歳で約3割と最も高く、女性で年齢が上がるほど低くなる傾向がある。「医師などの専門家に聞く」は、女性の25～29歳で3割と最も高く、男性・女性ともに年齢が上がるほど高くなる傾向がある。

地域別にみると、「友達に聞く」は、砧地域で3割を超えて最も高く、最も低い玉川地域と比べると、7.6ポイントの差がある。

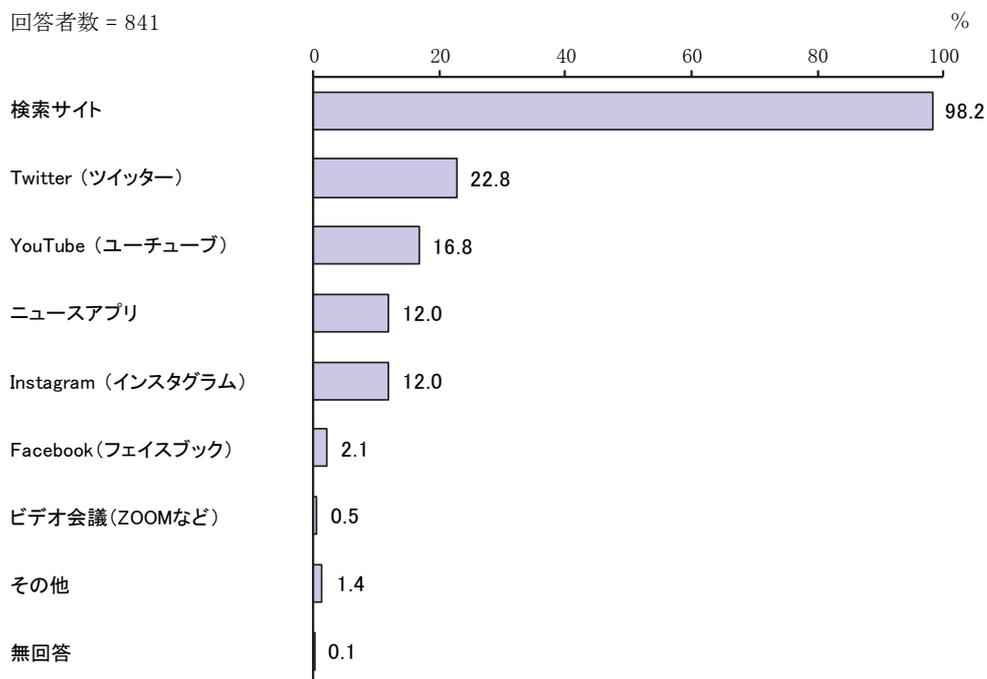
【性別】【性・年代別】【地域別】

単位：％

区分		友達に聞く	母に聞く	父に聞く	きょうだいに聞く	先輩や年上の人に聞く	先生に聞く	医師などの専門家に聞く	テレビを見る	雑誌や本を見る	インターネットで調べる	その他	何もしない	知りたくても知る方法がない	知りたいと思わない	無回答	回答者数(件)
男性		22.3	6.1	3.6	1.7	8.1	2.2	16.8	3.9	11.7	88.0	1.4	1.4	—	1.7	0.6	358
女性		30.4	20.1	—	3.3	6.9	2.3	26.6	4.9	13.7	89.8	0.9	0.3	—	2.4	0.9	576
その他		11.1	22.2	—	—	—	11.1	11.1	—	11.1	88.9	11.1	—	—	—	—	9
男性	15～19歳	29.1	7.0	3.5	2.3	9.3	7.0	5.8	4.7	15.1	81.4	1.2	2.3	—	3.5	1.2	86
	20～24歳	29.1	3.6	1.8	1.8	9.1	—	18.2	7.3	14.5	87.3	—	1.8	—	1.8	—	55
	25～29歳	17.3	6.1	4.6	1.0	6.6	1.0	20.8	3.0	9.1	90.9	2.0	1.0	—	0.5	0.5	197
女性	15～19歳	28.2	29.1	—	2.7	7.3	5.5	13.6	5.5	11.8	79.1	1.8	1.8	—	8.2	1.8	110
	20～24歳	30.1	23.7	—	1.1	4.3	2.2	25.8	4.3	12.9	87.1	—	—	—	2.2	1.1	93
	25～29歳	31.1	17.0	—	4.4	6.5	1.5	30.5	5.3	14.1	93.3	0.9	—	—	0.9	0.6	341
世田谷地域		27.0	14.3	0.8	3.4	8.4	2.1	22.8	4.6	15.2	89.9	—	1.3	—	1.3	—	237
北沢地域		25.8	14.9	0.5	1.8	6.3	0.9	20.8	3.6	11.3	90.5	1.8	1.4	—	0.9	0.9	221
玉川地域		24.9	15.9	2.5	1.0	6.0	2.5	23.4	4.0	10.0	88.6	0.5	0.5	—	3.0	0.5	201
砧地域		32.5	16.6	1.8	4.9	9.2	4.3	24.5	6.1	16.6	87.1	2.5	—	—	3.7	1.2	163
烏山地域		27.0	11.5	1.6	2.5	7.4	3.3	23.0	4.9	12.3	88.5	1.6	—	—	2.5	1.6	122

問 12 で「10. インターネットで調べる」を選ばれた方にうかがいます。

問 12-1 インターネットでの情報を収集する際に、どのようなツールを使用しますか。
(あてはまる全ての番号に○)



インターネットでの情報収集ツールについては、「検索サイト」98.2%が最も高く、次いで「Twitter (ツイッター)」22.8%、「YouTube (ユーチューブ)」16.8%となっている。

性別にみると、「YouTube (ユーチューブ)」は、男性が女性よりも8.4ポイント高くなっている。また、「Instagram (インスタグラム)」は、女性が男性よりも6.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「Instagram (インスタグラム)」は女性の15～19歳、25～29歳で1割台半ば、「YouTube (ユーチューブ)」は男性の15～19歳、25～29歳で2割台半ばと高くなっている。また、「Twitter (ツイッター)」は概ね2割以上となっているが、男性の20～24歳では約1割台半ばと低くなっている。

地域別にみると、「Twitter (ツイッター)」は、世田谷地域、北沢地域、烏山地域で2割台半ばと高くなっている。「YouTube (ユーチューブ)」は、世田谷地域、砧地域、烏山地域で約2割と高くなっている。

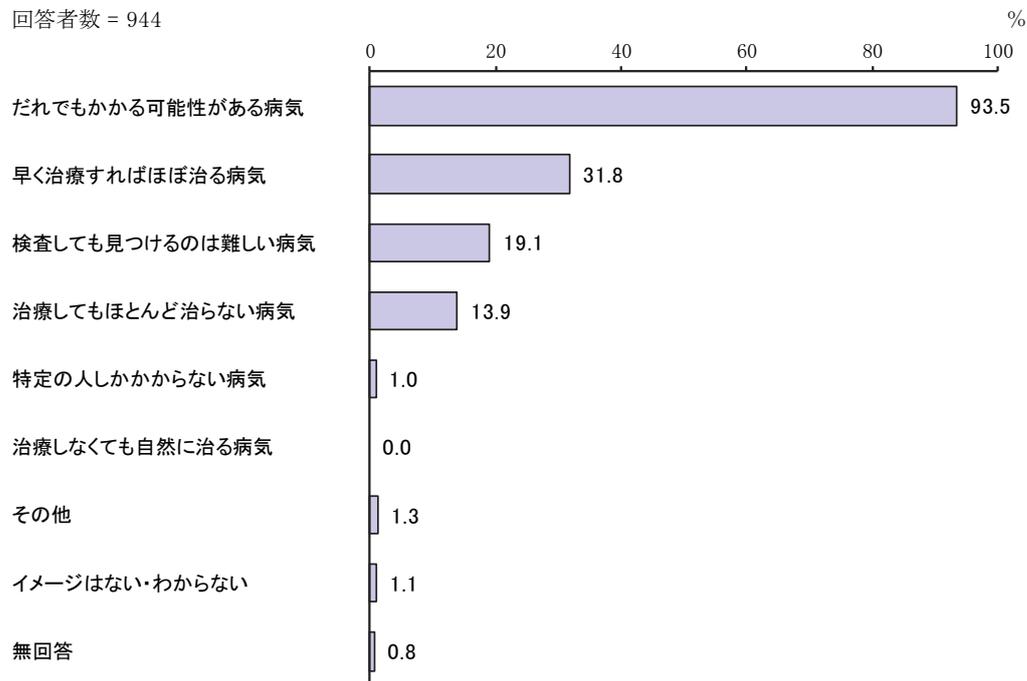
【性別】【性・年代別】【地域別】

単位：％

区分		検索サイト	ニュースアプリ	Twitter (ツイッター)	Facebook (フェイスブック)	Instagram (インスタグラム)	YouTube (ユーチューブ)	ビデオ会議 (ZOOMなど)	その他	無回答	回答者数 (件)
男性		97.8	12.7	22.9	2.9	7.6	21.9	0.6	1.0	0.3	315
女性		98.6	11.4	22.6	1.5	14.5	13.5	0.4	1.5	—	517
その他		87.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	—	12.5	—	8
男性	15～19歳	98.6	15.7	24.3	1.4	10.0	24.3	1.4	—	—	70
	20～24歳	100.0	8.3	16.7	—	2.1	10.4	—	—	—	48
	25～29歳	96.6	12.8	24.0	4.5	8.9	24.6	0.6	1.7	0.6	179
女性	15～19歳	97.7	10.3	27.6	1.1	16.1	20.7	—	1.1	—	87
	20～24歳	98.8	11.1	22.2	—	9.9	13.6	—	—	—	81
	25～29歳	99.1	11.6	22.3	2.2	16.0	12.6	0.6	2.2	—	318
世田谷地域		97.2	14.1	25.4	2.8	13.6	19.7	—	1.9	—	213
北沢地域		99.5	7.0	25.0	1.5	9.5	16.0	—	0.5	—	200
玉川地域		100.0	12.4	18.5	1.1	11.2	11.2	—	1.7	—	178
砧地域		95.8	13.4	18.3	2.1	12.0	19.7	1.4	2.1	—	142
烏山地域		98.1	14.8	26.9	3.7	14.8	17.6	1.9	0.9	0.9	108

問 13 あなたは、がんについてどのようなイメージを持っていますか。
(あてはまる全ての番号に○)

回答者数 = 944



がんのイメージについては、「だれでもかかる可能性がある病気」93.5%が最も高く、次いで「早く治療すればほぼ治る病気」31.8%、「検査しても見つけるのは難しい病気」19.1%となっている。

性別にみると、大きな差異はみられない。

性・年代別にみると、「早く治療すればほぼ治る病気」は、女性の15～19歳で4割と最も高く、次いで男性の15～19歳で約4割となっている。

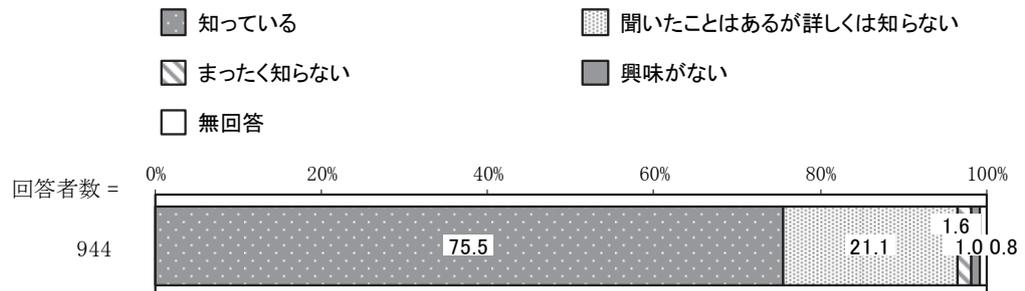
地域別にみると、「早く治療すればほぼ治る病気」は、砧地域で4割と最も高く、最も低い北沢地域と比べると、12.0ポイントの差がある。

【性別】【性・年代別】【地域別】

単位：％

区分		だれでもかかる 可能性がある病気	特定の人しか かからない病気	早く治療すればほぼ 治る病気	治療してもほとんど 治らない病気	治療しなくても自然に 治る病気	検査しても見つけるのは 難しい病気	その他	イメージはない・ わからない	無回答	回答者数 (件)
男性		93.0	1.4	31.3	12.0	—	19.0	1.4	1.7	0.8	358
女性		93.9	0.7	32.3	15.1	—	19.3	1.2	0.7	0.9	576
その他		88.9	—	22.2	11.1	—	11.1	—	—	—	9
男性	15～19歳	93.0	—	38.4	14.0	—	18.6	1.2	2.3	—	86
	20～24歳	96.4	1.8	32.7	20.0	—	16.4	—	—	—	55
	25～29歳	92.9	1.0	28.4	9.1	—	19.8	2.0	1.5	1.5	197
女性	15～19歳	92.7	0.9	40.0	18.2	—	21.8	0.9	1.8	1.8	110
	20～24歳	91.4	—	24.7	19.4	—	21.5	1.1	—	1.1	93
	25～29歳	94.7	0.9	32.0	13.2	—	17.6	1.5	0.6	0.6	341
世田谷地域		93.7	0.8	30.8	15.6	—	19.8	1.3	0.8	—	237
北沢地域		92.8	0.9	28.5	13.1	—	19.5	1.8	1.4	0.9	221
玉川地域		94.5	1.0	31.3	12.4	—	15.9	1.5	1.5	0.5	201
砧地域		95.1	0.6	40.5	12.3	—	18.4	1.2	0.6	1.2	163
烏山地域		91.0	1.6	28.7	16.4	—	23.0	—	0.8	2.5	122

問 14 あなたは、がんは定期的に健診を受けて早期に発見すれば、生存率が高まる病気だということを知っていますか。(1つに○)



がんは定期的に健診を受けて早期に発見すれば、生存率が高まる病気だということの認知度については、「知っている」75.5%が最も高く、次いで「聞いたことはあるが詳しくは知らない」21.1%、「まったく知らない」1.6%となっている。

性別にみると、大きな差異はみられない。

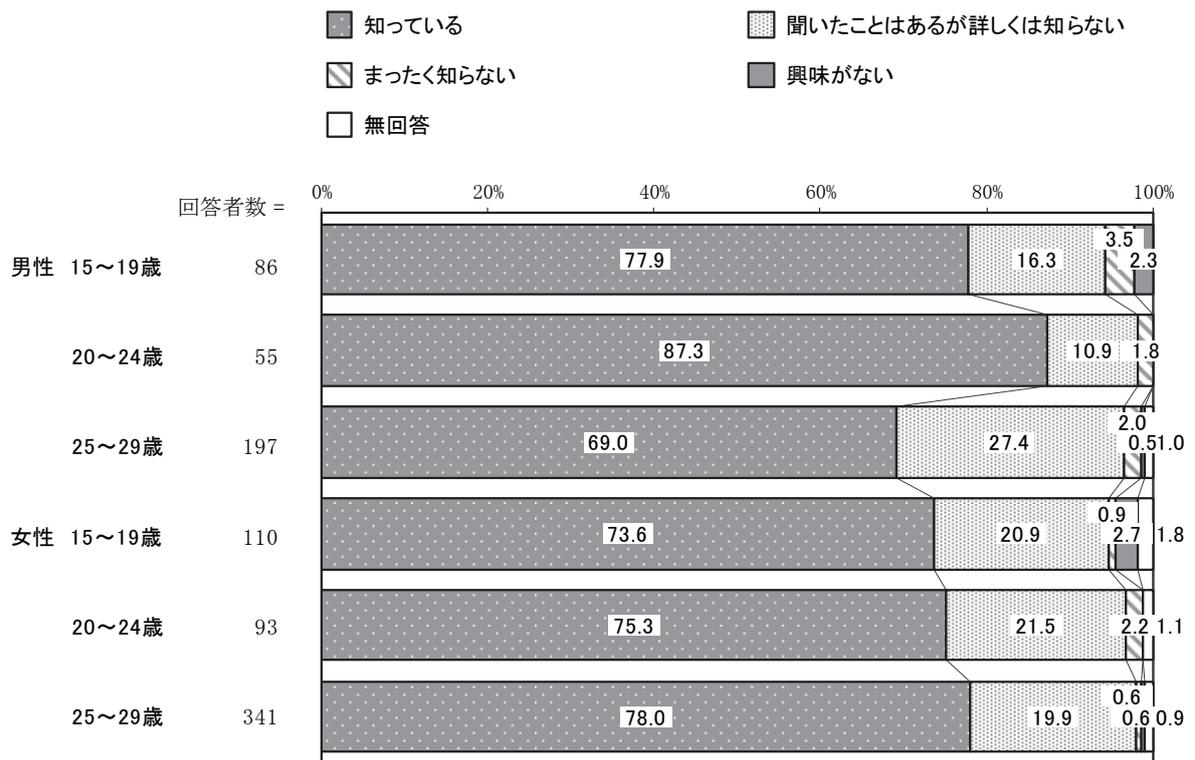
性・年代別にみると、「知っている」は、男性の20～24歳で約9割と最も高く、男性の15～19歳、女性の25～29歳で約8割と高くなっている。

地域別にみると、「知っている」は、砧地域で8割と最も高く、最も低い北沢地域と比べると、8.9ポイントの差がある。

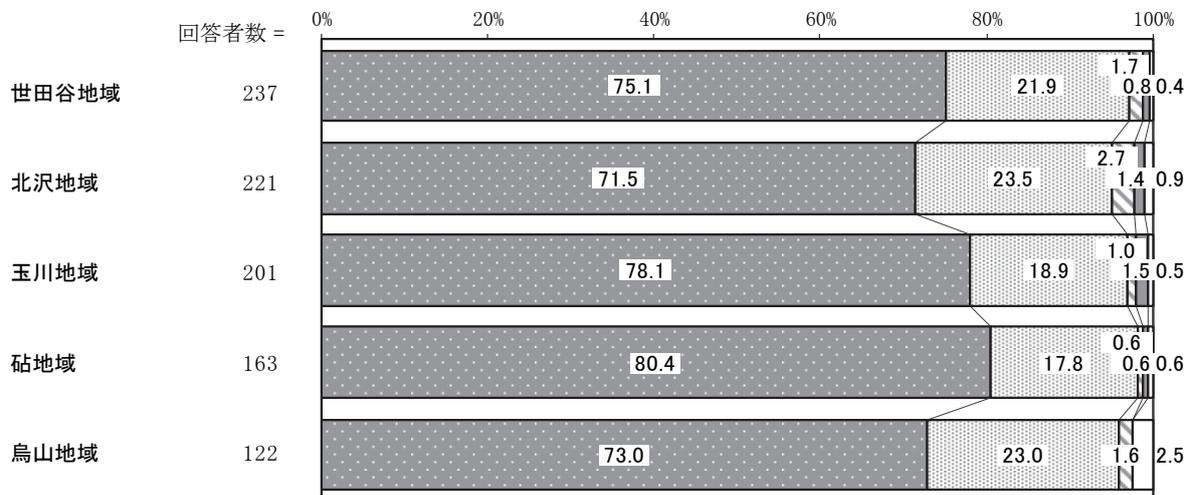
【性別】



【性・年代別】

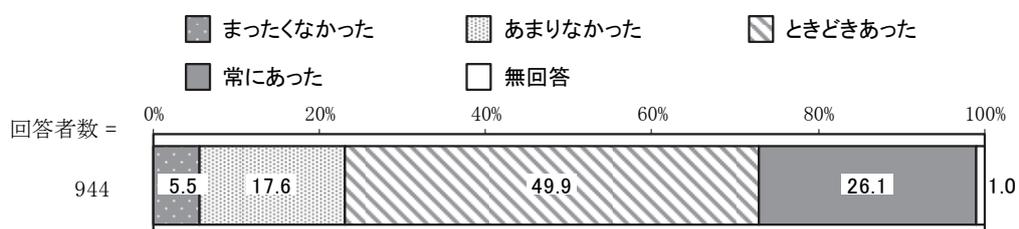


【地域別】



(4) こころの健康について

問 15 最近1か月間に、悩みや不安、ストレス等を感じたことはありますか。
(1つに○)



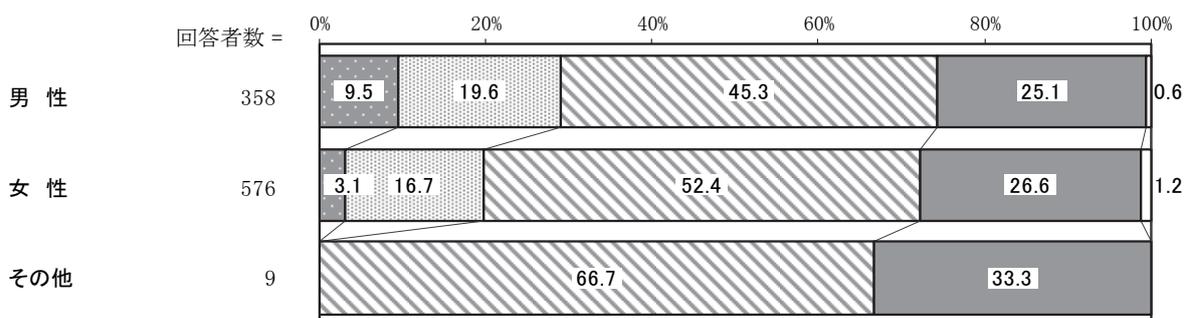
悩みや不安、ストレスの有無については、「まったくなかった」と「あまりなかった」を合わせた「なかった人」は23.1%、「ときどきあった」と「常にあった」を合わせた「あった人」は76.0%となっている。

性別にみると、「なかった人」は、男性が女性よりも9.3ポイント高くなっている。一方、「あった人」は、女性が男性よりも8.6ポイント高くなっている。

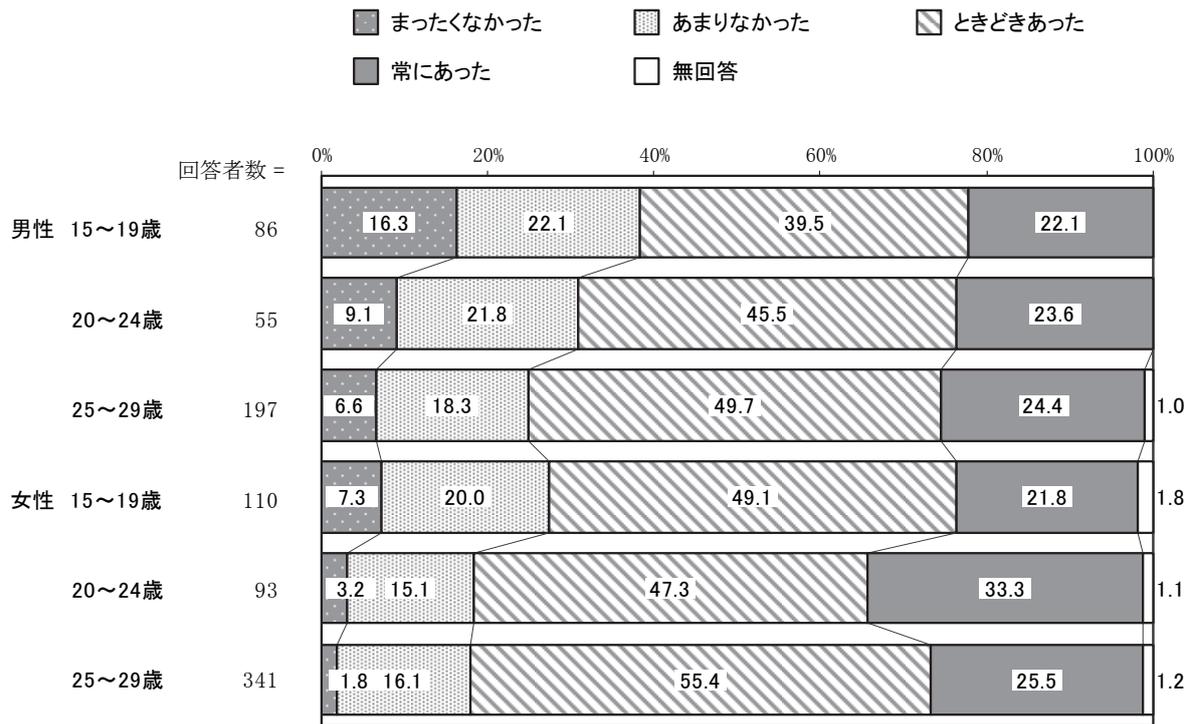
性・年代別にみると、「なかった人」は、男性の15～19歳で約4割と最も高く、次いで男性の20～24歳で3割となっている。「あった人」は、女性の20～24歳、25～29歳で8割と最も高く、次いで男性の25～29歳で7割台半ばとなっている。

地域別にみると、「あった人」は、世田谷地域で8割と最も高く、最も低い玉川地域、砧地域と比べると、6.5ポイントの差がある。

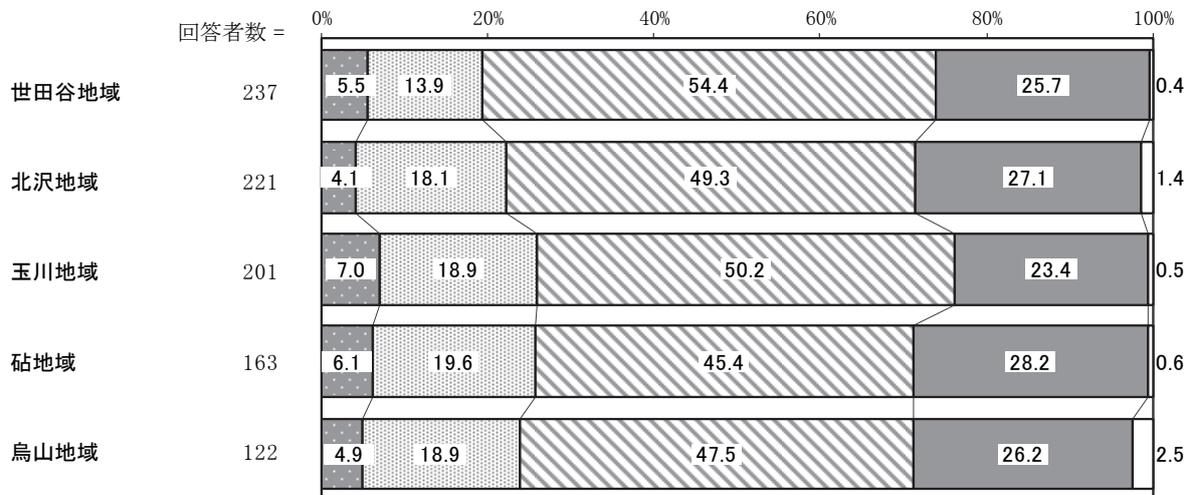
【性別】



【性・年代別】

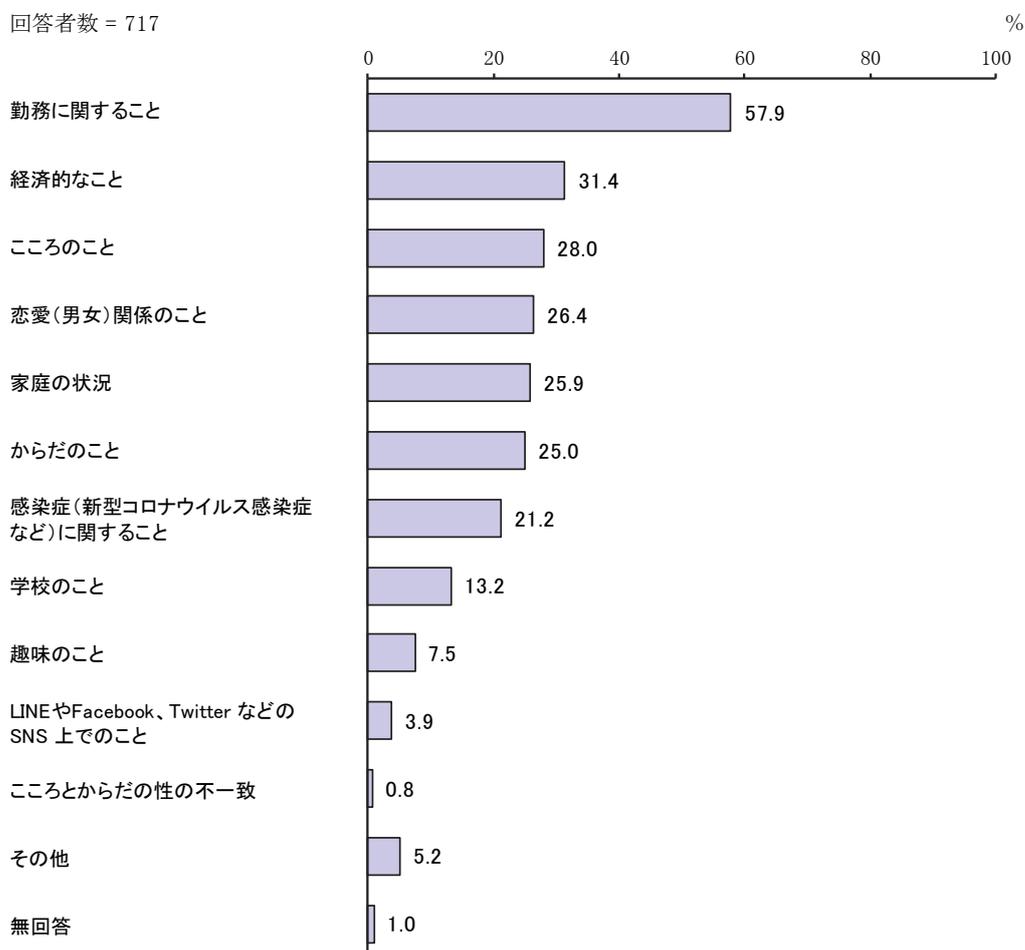


【地域別】



問 15 で「3. ときどきあった」「4. 常にあった」を選ばれた方にうかがいます。

問 15-1 それは、どのような事柄が原因ですか。(あてはまる全ての番号に○)



悩みや不安、ストレスの原因については、「勤務に関すること」57.9%が最も高く、次いで「経済的なこと」31.4%、「こころのこと」28.0%となっている。

性別にみると、「経済的なこと」は、男性が女性よりも 7.3 ポイント高くなっている。また、「家庭の状況」は、女性が男性よりも 5.9 ポイント、「からだのこと」は、女性が男性よりも 10.1 ポイント、「恋愛(男女)関係のこと」は、女性が男性よりも 8.5 ポイント、「感染症(新型コロナウイルス感染症など)に関すること」は、女性が男性よりも 7.2 ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「勤務に関すること」は、男性の 25～29 歳で約 8 割と最も高く、次いで女性の 25～29 歳で約 7 割と、男性・女性ともに年齢が上がるほど高くなる傾向がある。「感染症(新型コロナウイルス感染症など)に関すること」は、概ね 2 割以上となっているが、男性の 25～29 歳で 1 割台と低くなっている。

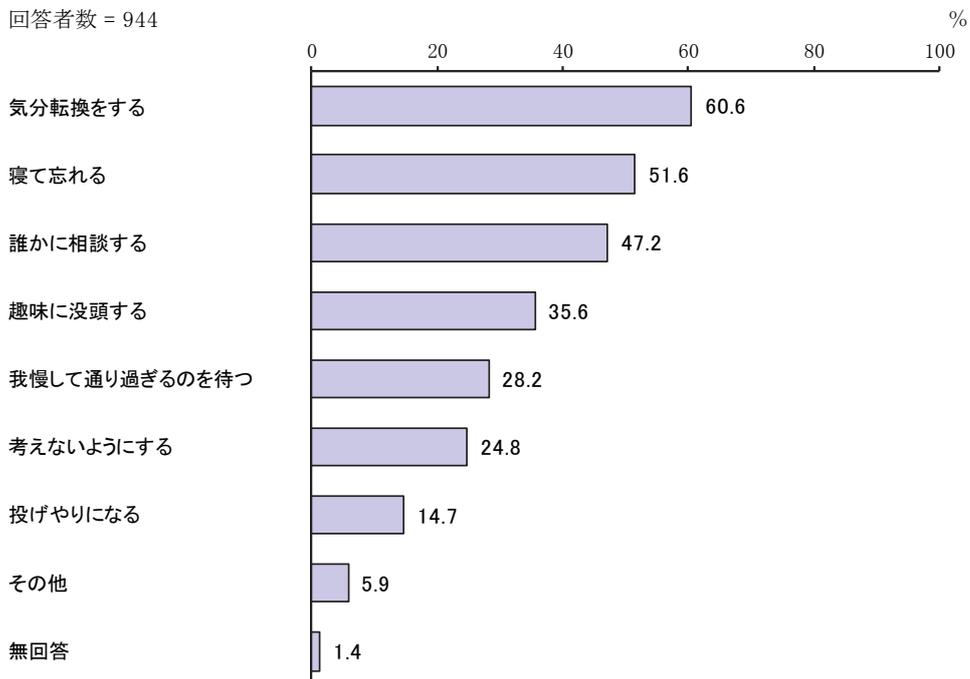
地域別にみると、「家庭の状況」は、砧地域で 3 割台半ばと最も高く、最も低い烏山地域と比べると、14.5 ポイントの差がある。「勤務に関すること」は、烏山地域で 6 割台半ばと最も高くなっている。

【性別】【性・年代別】【地域別】

単位：％

区分	家庭の状況	からだのこと	こころのこと	経済的なこと	勤務に関すること	恋愛（男女）関係のこと	学校のこと	趣味のこと	こころとからだの性の不一致	感染症（新型コロナウイルス感染症など）に関すること	LINEやFacebook、TwitterなどのSNSでの利用	その他	無回答	回答者数（件）	
男性	22.2	18.3	25.0	36.1	59.9	21.0	12.3	10.3	0.4	16.3	4.4	6.3	0.8	252	
女性	28.1	28.4	29.0	28.8	56.9	29.5	13.4	5.9	—	23.5	3.7	4.6	0.9	455	
その他	22.2	44.4	66.7	33.3	55.6	22.2	33.3	11.1	55.6	44.4	—	—	—	9	
男性	15～19歳	24.5	9.4	28.3	24.5	11.3	11.3	43.4	15.1	—	28.3	5.7	13.2	3.8	53
	20～24歳	13.2	18.4	21.1	39.5	47.4	21.1	15.8	10.5	—	21.1	2.6	5.3	—	38
	25～29歳	24.0	20.5	24.0	36.3	79.5	22.6	1.4	8.9	—	11.0	4.8	4.1	—	146
女性	15～19歳	34.6	29.5	35.9	21.8	14.1	19.2	55.1	11.5	—	26.9	3.8	7.7	3.8	78
	20～24歳	22.7	21.3	26.7	25.3	58.7	24.0	20.0	1.3	—	28.0	5.3	4.0	1.3	75
	25～29歳	26.8	29.0	27.9	30.4	68.5	33.3	0.7	5.8	—	21.0	3.6	4.0	—	276
世田谷地域	23.2	24.2	23.2	28.9	57.4	29.5	10.5	8.4	0.5	17.4	2.6	6.8	1.6	190	
北沢地域	26.0	27.8	30.8	34.3	61.5	26.0	11.2	4.1	1.8	22.5	3.6	5.9	1.2	169	
玉川地域	23.0	22.3	24.3	34.5	52.0	25.0	14.9	10.1	0.7	22.3	3.4	4.1	—	148	
砧地域	36.7	26.7	32.5	29.2	55.8	27.5	20.0	8.3	—	22.5	5.0	3.3	1.7	120	
烏山地域	22.2	23.3	33.3	28.9	64.4	21.1	11.1	6.7	1.1	23.3	6.7	4.4	—	90	

問 16 あなたがストレスを感じる時にとる行動について教えてください。
(あてはまる全ての番号に○)



悩みや不安、ストレスを感じた時にとる行動については、「気分転換をする」60.6%が最も高く、次いで「寝て忘れる」51.6%、「誰かに相談する」47.2%となっている。

性別にみると、「誰かに相談する」は、女性が男性よりも22.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「誰かに相談する」は、女性の25～29歳で約6割と最も高く、次いで女性の20～24歳で5割台半ばと高くなっている。「我慢して通り過ぎるのを待つ」は、女性の15～19歳で3割台半ばとなっている。

地域別にみると、「気分転換をする」は、玉川地域、世田谷地域で6割台半ばと最も高くなっている。「我慢して通り過ぎるのを待つ」は、世田谷地域で3割台半ばと最も高く、最も低い北沢地域と比べると、10.3ポイントの差がある。

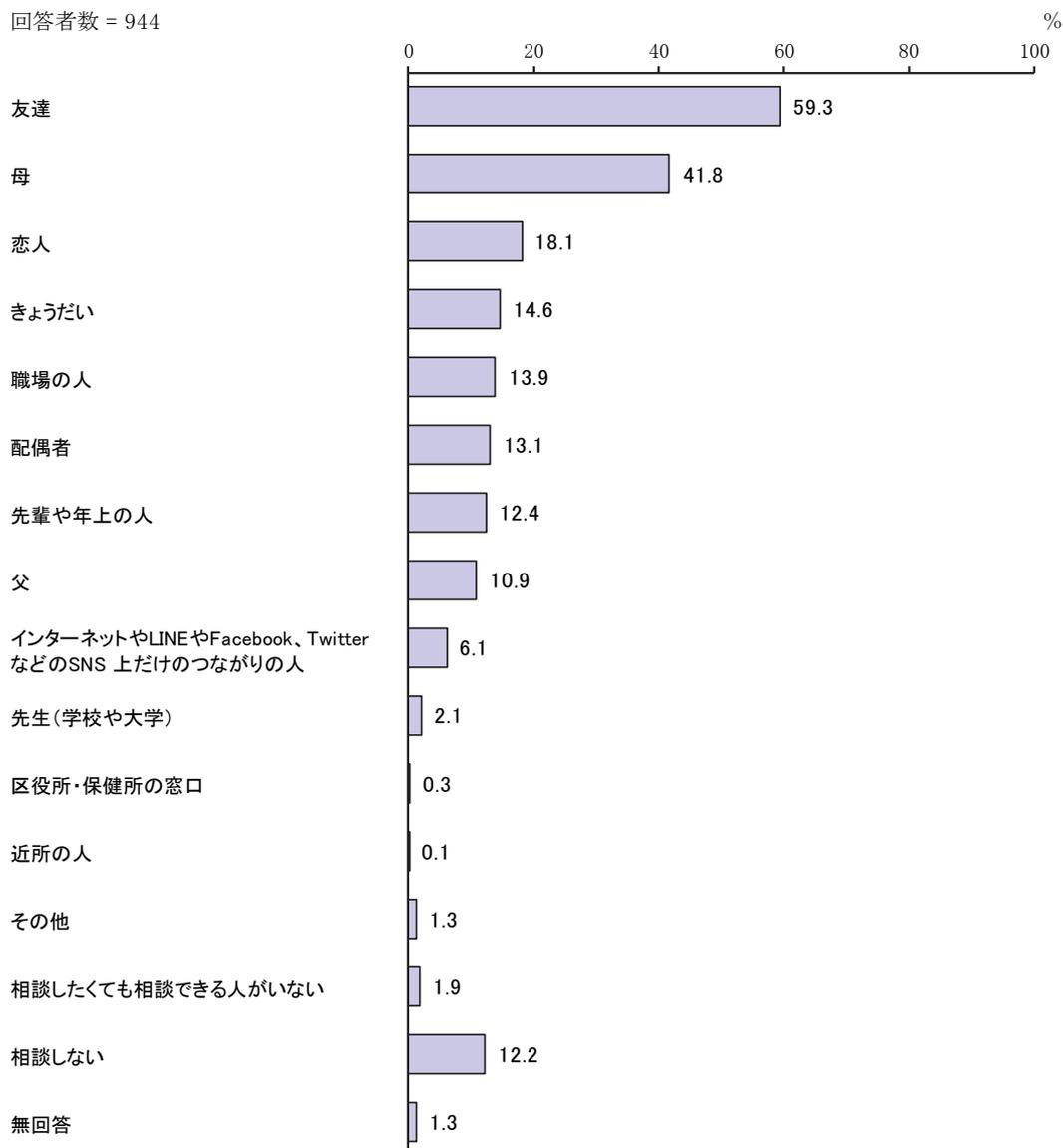
【性別】【性・年代別】【地域別】

単位：％

区分		誰かに相談する	気分転換をする	考えないようにする	寝て忘れる	趣味に没頭する	投げやりになる	我慢して通り過ぎるのを待つ	その他	無回答	回答者数(件)
男性		33.5	58.7	23.2	50.8	37.4	12.8	25.1	5.9	1.4	358
女性		55.6	62.0	25.9	51.9	34.5	16.0	29.5	6.1	1.4	576
その他		55.6	44.4	11.1	55.6	22.2	—	55.6	—	—	9
男性	15～19歳	24.4	54.7	20.9	43.0	39.5	14.0	22.1	5.8	2.3	86
	20～24歳	29.1	49.1	23.6	54.5	38.2	12.7	23.6	1.8	—	55
	25～29歳	38.1	62.9	24.9	54.3	36.0	12.2	26.4	6.6	1.5	197
女性	15～19歳	44.5	50.9	27.3	51.8	32.7	19.1	33.6	11.8	1.8	110
	20～24歳	54.8	63.4	23.7	54.8	33.3	19.4	24.7	7.5	1.1	93
	25～29歳	59.2	65.4	27.0	50.7	35.8	13.2	29.3	3.8	1.2	341
世田谷地域		48.9	63.3	27.8	48.1	39.2	14.8	33.8	5.5	0.4	237
北沢地域		50.2	57.9	25.3	50.7	31.7	14.5	23.5	5.4	1.4	221
玉川地域		46.3	66.2	24.4	51.2	35.8	13.4	26.4	6.0	1.0	201
砧地域		46.6	58.3	17.8	55.8	34.4	16.0	27.6	8.6	1.8	163
烏山地域		41.0	54.1	27.9	54.9	36.9	15.6	29.5	4.1	3.3	122

問17 あなたは、悩みやストレスを抱えたとき、だれに相談しますか。
(あてはまる全ての番号に○)

回答者数 = 944



相談相手については、「友達」59.3%が最も高く、次いで「母」41.8%、「恋人」18.1%となっている。

性別にみると、「父」は、男性が女性よりも5.6ポイント、「相談しない」は、男性が女性よりも9.7ポイント高くなっている。一方、「母」は、女性が男性よりも23.2ポイント、「きょうだい」は、女性が男性よりも7.9ポイント、「友達」は、女性が男性よりも11.9ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「母」は、女性の15～19歳、20～24歳で5割台半ばと最も高く、次いで女性の25～29歳で約5割となっている。「友達」は、概ね6割台であるが、男性の20～24歳、25～29歳では5割から約5割と低くなっている。

地域別にみると、「母」は、玉川地域で約5割と最も高く、次いで世田谷地域で4割台半ばとなっている。「相談しない」は、北沢地域で1割台半ばと最も高く、最も低い玉川地域と比べると5.0ポイントの差がある。

【性別】【性・年代別】【地域別】

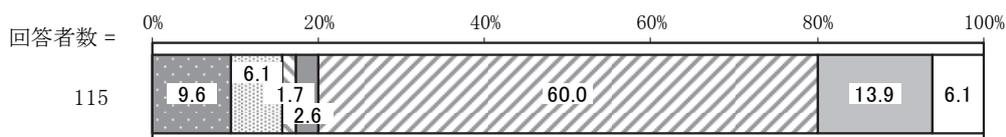
単位：％

区分		配偶者	母	父	きょうだい	友達	恋人	先輩や年上の人	先生(学校や大学)	職場の人	近所の人	区役所・保健所の窓口	インターネットやLINEやFacebook、TwitterなどのSNS上だけのつながりの人	その他	相談したくても相談できる人がいない	相談しない	無回答	回答者数(件)
男性		10.6	27.7	14.5	9.8	52.2	15.4	14.0	1.7	13.1	—	0.3	4.5	1.4	3.1	17.9	1.4	358
女性		14.8	50.9	8.9	17.7	64.1	19.6	11.6	2.4	14.6	0.2	0.3	6.9	1.2	1.2	8.2	1.2	576
その他		11.1	33.3	—	11.1	33.3	33.3	—	—	—	—	—	11.1	—	—	44.4	—	9
男性	15～19歳	2.3	34.9	18.6	10.5	61.6	7.0	8.1	7.0	1.2	—	—	3.5	1.2	2.3	18.6	2.3	86
	20～24歳	—	34.5	14.5	14.5	50.9	14.5	12.7	—	7.3	—	—	3.6	3.6	7.3	18.2	—	55
	25～29歳	16.8	23.4	13.2	7.6	48.2	18.8	16.2	—	20.3	—	0.5	5.6	1.0	2.5	17.3	1.5	197
女性	15～19歳	0.9	55.5	8.2	12.7	63.6	8.2	9.1	10.9	1.8	—	—	7.3	0.9	1.8	14.5	1.8	110
	20～24歳	2.2	53.8	10.8	18.3	64.5	18.3	8.6	1.1	11.8	—	—	9.7	1.1	—	11.8	1.1	93
	25～29歳	19.9	49.6	8.5	19.9	63.9	24.0	13.2	0.3	19.6	0.3	0.3	6.2	1.5	1.2	5.9	0.9	341
世田谷地域		13.1	44.3	10.5	13.9	56.5	20.3	11.4	0.8	13.9	0.4	—	6.8	2.5	0.8	13.1	—	237
北沢地域		12.7	35.3	6.8	13.1	58.8	19.9	10.9	0.9	14.0	—	0.5	4.5	1.4	1.4	14.5	0.9	221
玉川地域		11.9	47.8	13.4	15.9	59.7	16.4	11.4	3.0	10.0	—	—	3.5	—	3.0	9.5	1.5	201
砧地域		16.6	40.5	12.3	14.7	63.2	17.2	14.7	3.7	15.3	—	1.2	10.4	0.6	3.1	10.4	1.8	163
烏山地域		11.5	41.0	13.1	16.4	59.8	14.8	15.6	3.3	18.0	—	—	6.6	1.6	1.6	13.1	3.3	122

問 17 で「15. 相談しない」を選ばれた方にうかがいます。

問 17-1 「相談しない」主な理由で最も当てはまるものを選んでください。
(1つに○)

- 相談したいが、遠慮してできないから
- 相談したいが、恥ずかしくてできないから
- 相談したいが、相談先がわからないから
- かつて相談したときに不快な思いをしたから
- 相談しても何も変わらないと思うから
- その他
- 無回答



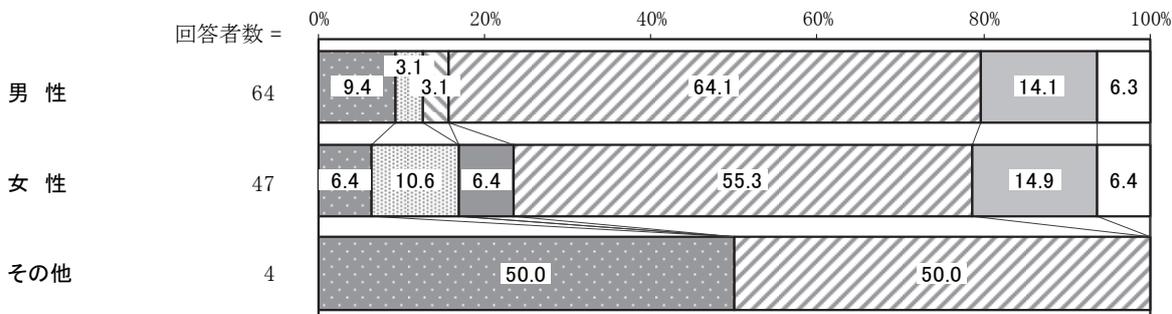
誰にも相談しない理由については、「相談しても何も変わらないと思うから」60%が最も高く、次いで「相談したいが、遠慮してできないから」9.6%、「相談したいが、恥ずかしくてできないから」6.1%となっている。

性別にみると、「相談しても何も変わらないと思うから」は、男性が女性よりも 8.8 ポイント高くなっている。一方、「相談したいが、恥ずかしくてできないから」は、女性が男性よりも 7.5 ポイント、「かつて相談したときに不快な思いをしたから」は、女性が男性よりも 6.4 ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「相談したいが、恥ずかしくてできないから」は、女性の 20～24 歳で約 3 割と最も高くなっている。「相談しても何も変わらないと思うから」は、男性の 15～19 歳で約 7 割と最も高く、次いで男性の 25～29 歳で 6 割台半ばと高くなっている。

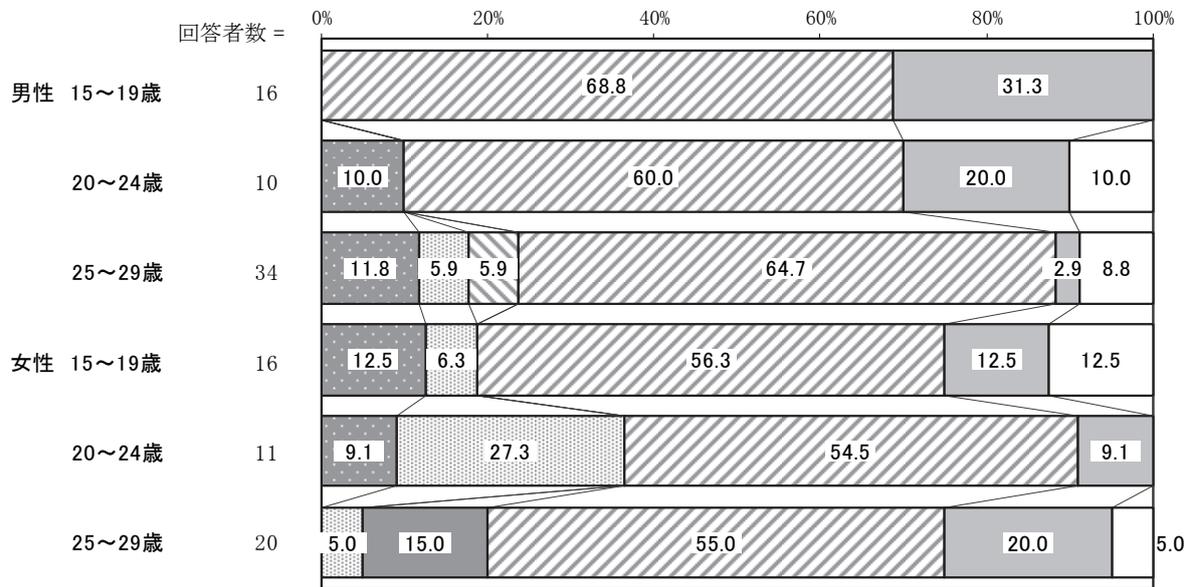
地域別にみると、「相談しても何も変わらないと思うから」は、世田谷地域で 7 割を超えて最も高く、最も低い砧地域と比べると、18.1 ポイントの差がある。

【性別】

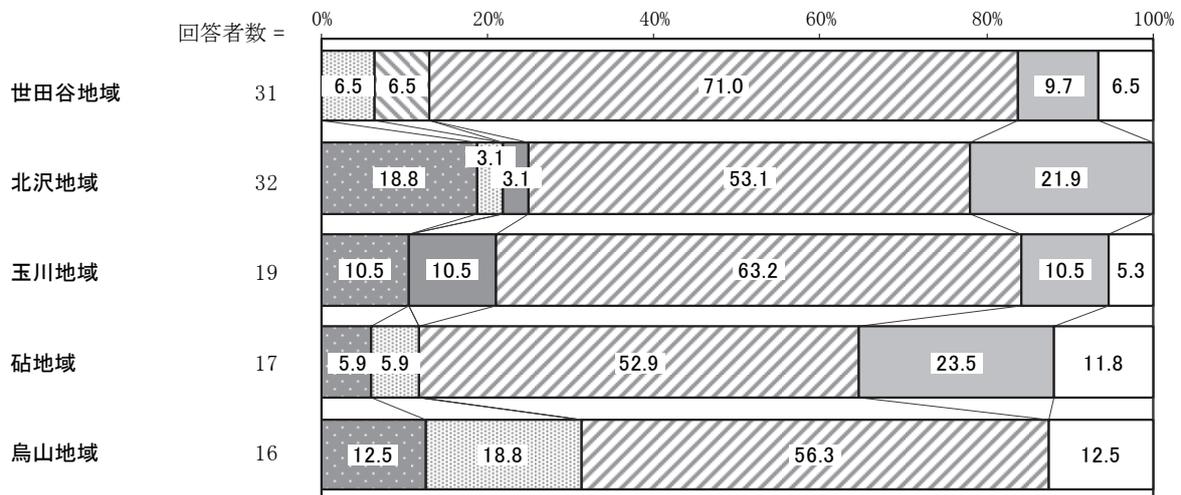


【性・年代別】

- 相談したいが、遠慮してできないから
- 相談したいが、恥ずかしくてできないから
- 相談したいが、相談先がわからないから
- かつて相談したときに不快な思いをしたから
- 相談しても何も変わらないと思うから
- その他
- 無回答

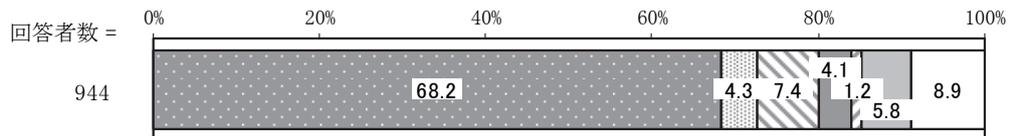


【地域別】



問 18 あなたは、友人に、自分では解決できそうもない問題について相談されたらどうしますか。(1つに○)

- 自分ができる限り聞いてあげる
- 一緒に相談を聞いてくれる大人(先生・専門家)を探す
- その他
- 無回答
- 誰か他の人(友人・知人)を紹介する
- インターネットで相談できる場所を探す
- 相談されたことがない・わからない



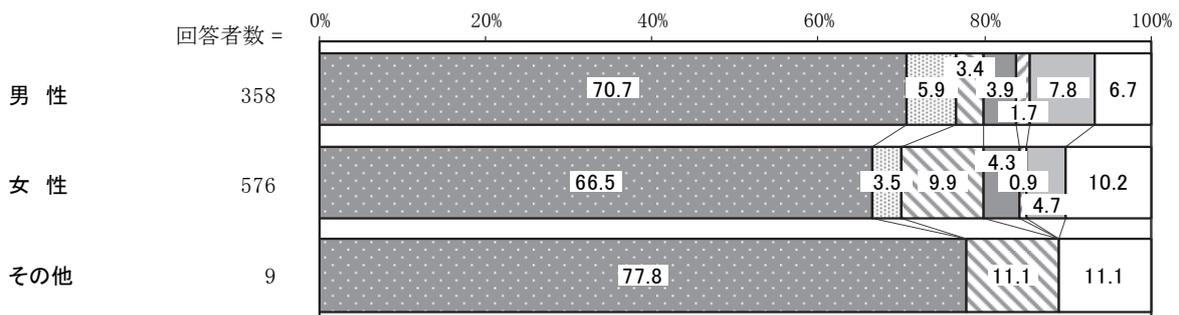
友人に、自分では解決できそうもない問題について相談されたときの対応については、「自分ができる限り聞いてあげる」68.2%が最も高く、次いで「一緒に相談を聞いてくれる大人(先生・専門家)を探す」7.4%、「相談されたことがない・わからない」5.8%となっている。

性別にみると、「一緒に相談を聞いてくれる大人(先生・専門家)を探す」は、女性が男性よりも6.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「自分ができる限り聞いてあげる」は、男性の20～24歳で約8割と最も高く、次いで男性の15～19歳で7割台半ばとなっている。

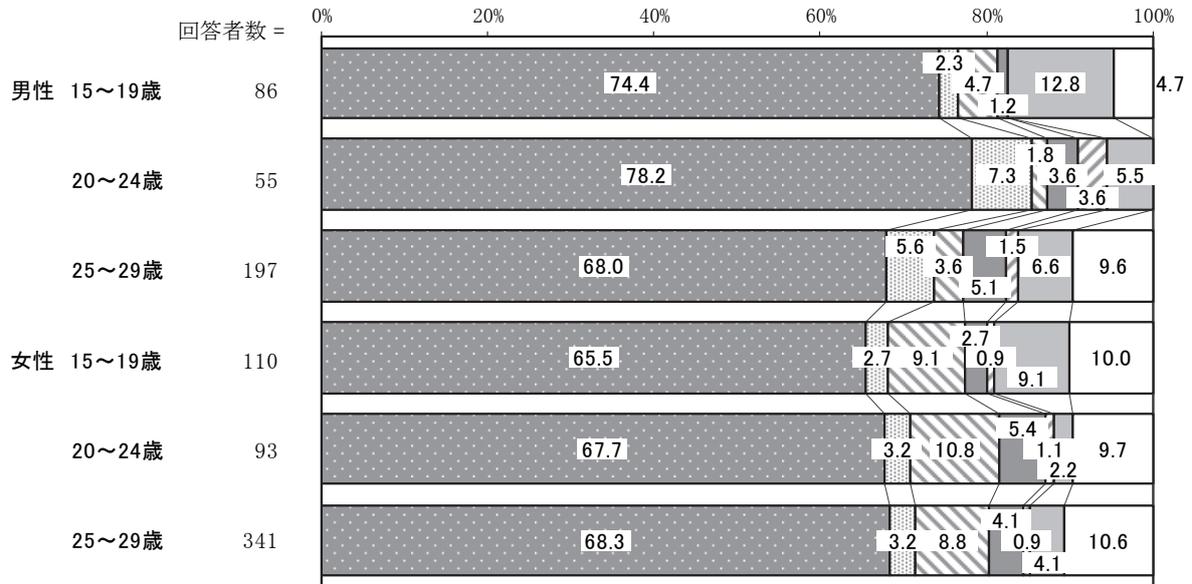
地域別にみると、「自分ができる限り聞いてあげる」は、玉川地域で7割を超えて最も高く、次いで世田谷地域で7割となっている。

【性別】

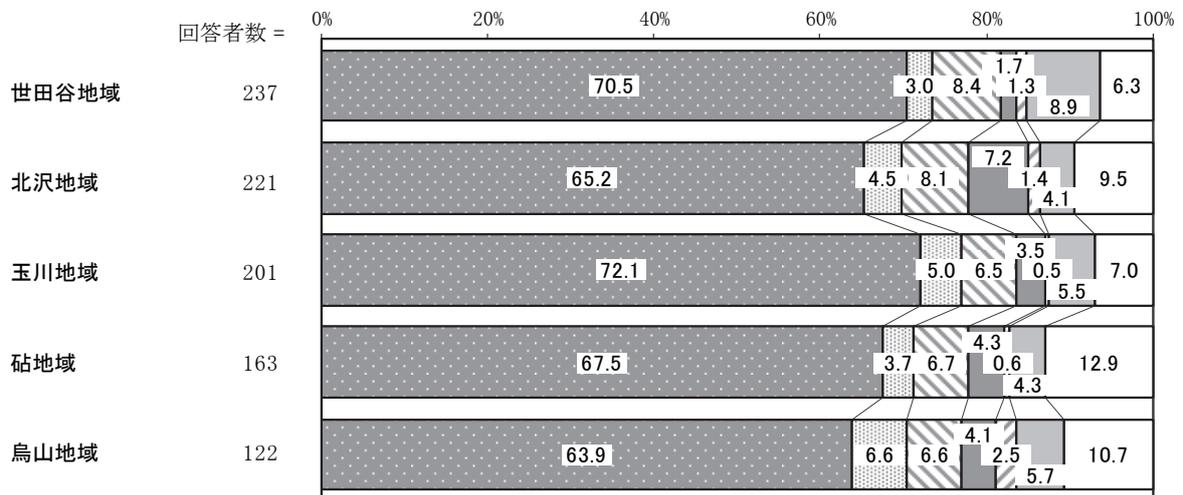


【性・年代別】

- 自分ができる限り聞いてあげる
- 誰か他の人(友人・知人)を紹介する
- 一緒に相談を聞いてくれる大人(先生・専門家)を探す
- インターネットで相談できるところを探す
- その他
- 相談されたことがない・わからない
- 無回答

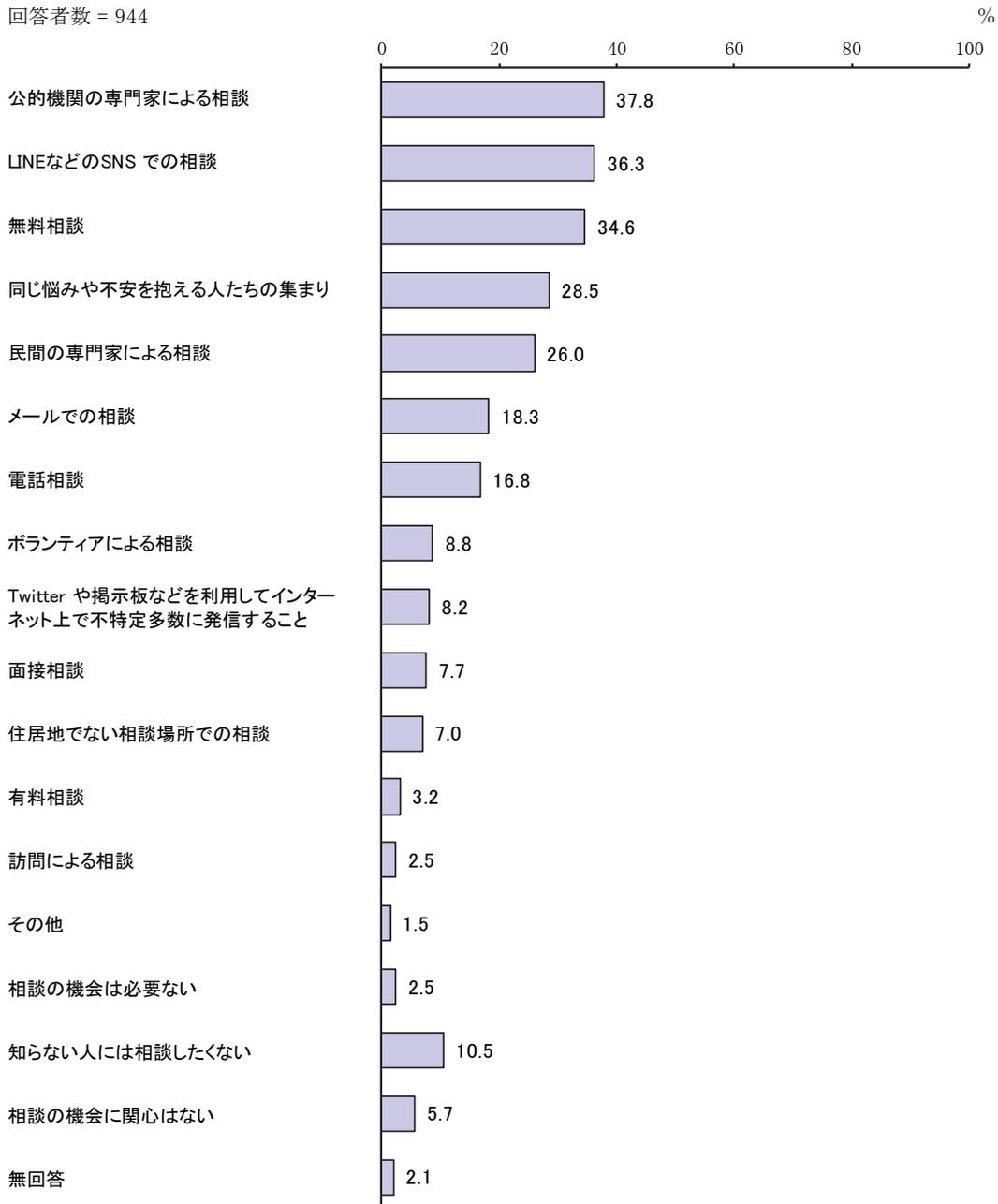


【地域別】



問 19 あなたはどのような相談の機会があればよいと思いますか。
 (あてはまる全ての番号に○)

回答者数 = 944



希望する相談の機会については、「公的機関の専門家による相談」37.8%が最も高く、次いで「LINEなどのSNSでの相談」36.3%、「無料相談」34.6%となっている。

性別にみると、「メールでの相談」は、女性が男性よりも6.8ポイント、「LINEなどのSNSでの相談」は、女性が男性よりも10.4ポイント、「無料相談」は、女性が男性よりも5.3ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「公的機関の専門家による相談」は、女性の25～29歳で4割を超えて最も高く、次いで男性の20～24歳、25～29歳で約4割となっている。「LINEなどのSNSでの相談」は、女性の20～24歳、25～29歳で4割、男性の15～19歳、女性の15～19歳で約4割と高くなっている。

地域別にみると、「民間の専門家による相談」は、世田谷地域で3割を超えて最も高くなっている。「LINEなどのSNSでの相談」は、烏山地域で4割台半ばと最も高く、最も低い砧地域と比べると、12.0ポイントの差がある。

【性別】

単位：%

区分	公的機関の専門家による相談	民間の専門家による相談	ボランティアによる相談	同じ悩みや不安を抱える人たちの集まり	面接相談	電話相談	メールでの相談	LINEなどのSNSでの相談	Twitterや掲示板などを利用してインターネット上で不特定多数に発信すること	訪問による相談
男性	35.5	25.4	10.1	28.8	9.2	15.1	14.2	29.9	8.1	2.2
女性	39.2	26.2	8.2	28.1	6.9	18.1	21.0	40.3	8.2	2.6
その他	33.3	33.3	—	44.4	—	11.1	11.1	33.3	11.1	11.1

区分	無料相談	有料相談	住居地でない相談場所での相談	その他	相談の機会には必要ない	知らない人には相談したくない	相談の機会に関心はない	無回答	回答者数(件)
男性	31.3	4.7	7.0	2.2	3.6	9.5	8.7	2.8	358
女性	36.6	2.1	6.9	1.0	1.9	10.8	4.0	1.7	576
その他	33.3	11.1	11.1	—	—	33.3	—	—	9

【性・年代別】

単位：％

区分		公的機関の専門家による相談	民間の専門家による相談	ボランティアによる相談	同じ悩みや不安を抱える人たちの集まり	面接相談	電話相談	メールでの相談	LINEなどのSNSでの相談	Twitterや掲示板などを利用してインターネット上で不特定多数に発信すること	訪問による相談
男性	15～19歳	29.1	19.8	7.0	26.7	7.0	14.0	11.6	38.4	8.1	2.3
	20～24歳	38.2	23.6	5.5	14.5	3.6	10.9	10.9	16.4	1.8	—
	25～29歳	37.1	27.4	13.2	33.0	10.7	15.7	16.8	28.4	9.6	2.5
女性	15～19歳	28.2	15.5	11.8	30.9	10.0	18.2	25.5	39.1	7.3	3.6
	20～24歳	36.6	25.8	7.5	32.3	3.2	18.3	18.3	40.9	10.8	—
	25～29歳	42.2	29.3	7.3	27.0	7.0	17.6	20.8	40.5	8.5	3.2

区分		無料相談	有料相談	住居地でない相談場所での相談	その他	相談の機会には必要ない	知らない人には相談したくない	相談の機会に関心はない	無回答	回答者数(件)
男性	15～19歳	30.2	3.5	8.1	3.5	8.1	10.5	3.5	3.5	86
	20～24歳	32.7	7.3	3.6	—	3.6	12.7	12.7	1.8	55
	25～29歳	31.0	5.1	7.6	2.5	1.5	8.6	10.2	3.0	197
女性	15～19歳	37.3	1.8	6.4	3.6	4.5	12.7	5.5	2.7	110
	20～24歳	40.9	2.2	8.6	—	2.2	7.5	2.2	2.2	93
	25～29歳	35.5	2.3	7.0	0.6	0.9	10.9	4.4	1.2	341

【地 域 別】

単位：％

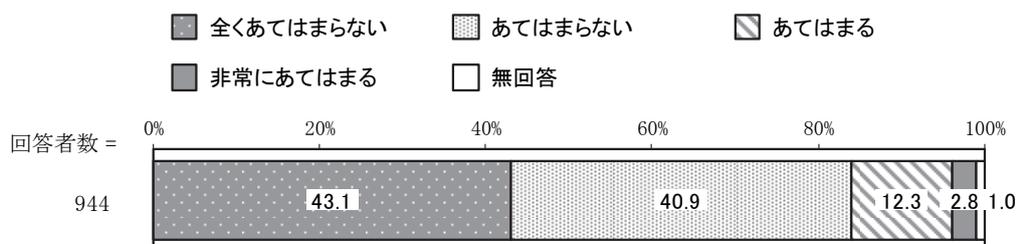
区分	公的機関の専門家による相談	民間の専門家による相談	ボランティアによる相談	同じ悩みや不安を抱える人たちの集まり	面接相談	電話相談	メールでの相談	LINEなどのSNSでの相談	Twitterや掲示板などを利用してインターネット上で不特定多数に発信すること	訪問による相談
世田谷地域	41.8	32.5	7.6	25.7	8.4	14.8	17.3	34.2	6.8	0.8
北沢地域	32.6	23.5	10.4	31.2	7.7	15.8	19.0	35.7	8.6	4.1
玉川地域	38.8	24.4	5.5	27.4	5.5	13.9	13.4	36.8	10.4	2.0
砧地域	38.0	25.8	12.9	28.2	8.6	22.7	21.5	33.1	6.7	3.1
烏山地域	37.7	20.5	8.2	31.1	9.0	19.7	23.0	45.1	8.2	3.3

区分	無料相談	有料相談	住居地でない相談場所での相談	その他	相談の機会には必要ない	知らない人には相談したくない	相談の機会に関心はない	無回答	回答者数(件)
世田谷地域	32.9	1.3	3.8	3.0	2.5	11.4	5.9	0.4	237
北沢地域	36.2	4.1	9.0	0.5	2.3	10.0	5.9	2.7	221
玉川地域	34.3	2.5	6.5	1.0	2.0	11.9	5.5	3.0	201
砧地域	35.6	6.1	11.0	1.8	2.5	8.0	4.9	1.8	163
烏山地域	34.4	2.5	4.9	0.8	4.1	10.7	6.6	3.3	122

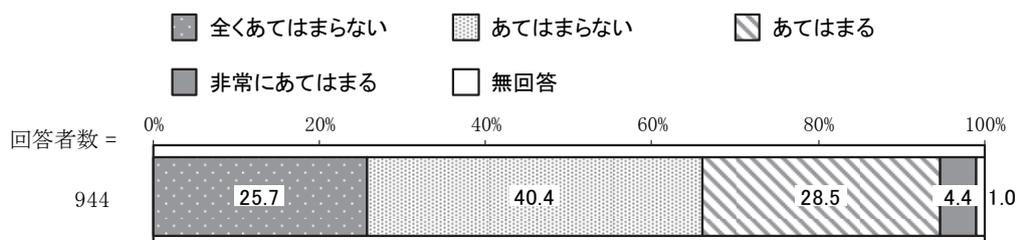
(5) インターネットの利用や新型コロナウイルスについて

問 20 最近、アルコールや薬物などの依存症に加え、様々な依存症が問題視されています。その一つとして、インターネット依存に関する以下の質問にお答えください。
 (この場合、利用する機器は、パソコン、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機などオンラインで使用するすべてを含みます。)
 (それぞれについて、あてはまる番号1つだけに○)

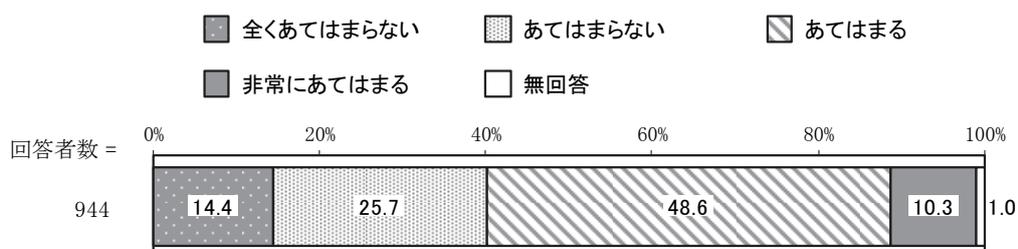
①インターネットの利用で、学校の成績や事業実績が落ちた。



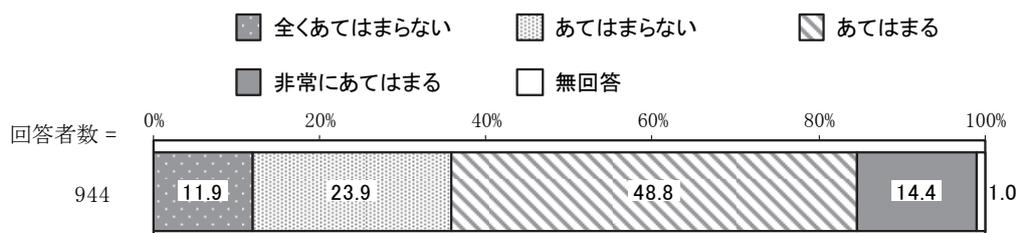
②インターネットができないと、落ち着かなくなり焦ってくる。



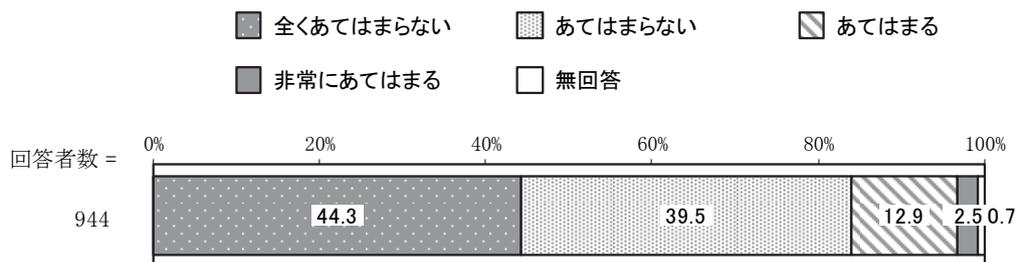
③インターネットをし始めると、なかなか終了できない。



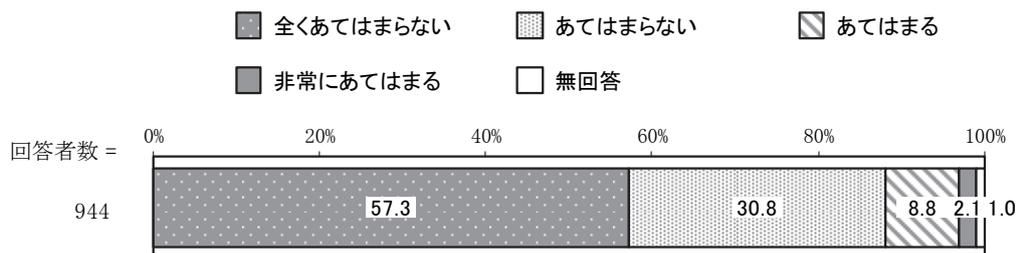
④インターネットをしていないときは、インターネットのことは頭に出てこない。



⑤ 周囲からインターネットをしすぎていと指摘される。



⑥ インターネットのために、お金を多くつかうようになった。



【全 体】

インターネット依存に関する事項については、「インターネットの利用で、学校の成績や事業実績が落ちた。」(設問①)、「周囲からインターネットをしすぎていると指摘される。」(設問⑤)、「インターネットのために、お金を多くつかうようになった。」(設問⑥)は、「全くあてはまらない」と「あてはまらない」をあわせた「あてはまらない」が8割以上となっている。また、「インターネットをしていないときは、インターネットのことは頭に出てこない。」(設問④)で「あてはまる」と「非常にあてはまる」をあわせた「あてはまる」が6割台半ば、「インターネットをし始めると、なかなか終了できない。」(設問③)で「あてはまる」が約6割と高くなっている。

【性 別】

性別にみると、「インターネットができないと、落ち着かなくなり焦ってくる」(設問②)で、「あてはまる」は、女性が男性よりも6.8ポイント高くなっている。「インターネットをし始めると、なかなか終了できない。」(設問③)で、「あてはまる」は、女性が男性よりも9.6ポイント高くなっている。「インターネットをしていないときは、インターネットのことは頭に出てこない。」(設問④)で、「あてはまる」は、女性が男性よりも10.2ポイント高くなっている。「周囲からインターネットをしすぎていると指摘される」(設問⑤)で、「全くあてはまらない」は、男性が女性よりも9.2ポイント高くなっている。

【性・年代別】

性・年代別にみると、「インターネットの利用で、学校の成績や事業実績が落ちた。」(設問①)では、「あてあまる」は、女性の15～19歳で3割と最も高くなっている。また、「インターネットができないと、落ち着かなくなり焦ってくる。」(設問②)で、「あてはまる」は、概ね3割台となっているが、男性の15～19歳で1割台半ばと低くなっている。「インターネットをし始めると、なかなか終了できない。」(設問③)で、「あてはまる」は、女性の20～24歳で7割を超えて最も高くなっている。「周囲からインターネットをしすぎていると指摘される。」(設問⑤)で、「あてはまる」は、女性の15～19歳で約3割と最も高くなっている。

【地 域 別】

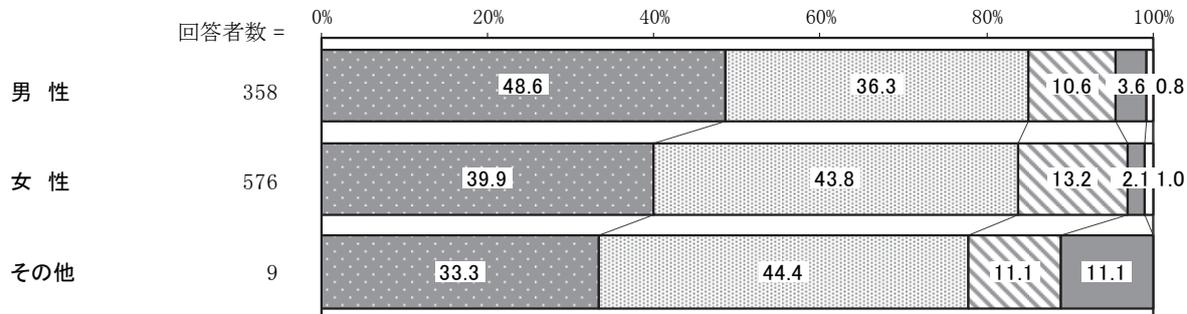
地域別にみると、「インターネットの利用で、学校の成績や事業実績が落ちた。」(設問①)では、「あてはまる」は、北沢地域、砧地域で約2割と最も高くなっている。「インターネットができないと、落ち着かなくなり焦ってくる。」(設問②)で、「あてはまる」は、北沢地域で約4割と最も高く、最も低い烏山地域と比べると、12.7ポイントの差がある。「インターネットをし始めると、なかなか終了できない。」(設問③)で、「あてはまる」は、北沢地域で約7割と最も高く、最も低い世田谷地域と比べると、14.3ポイントの差がある。

【性別】

全くあてはまらない
 あてはまらない
 あてはまる

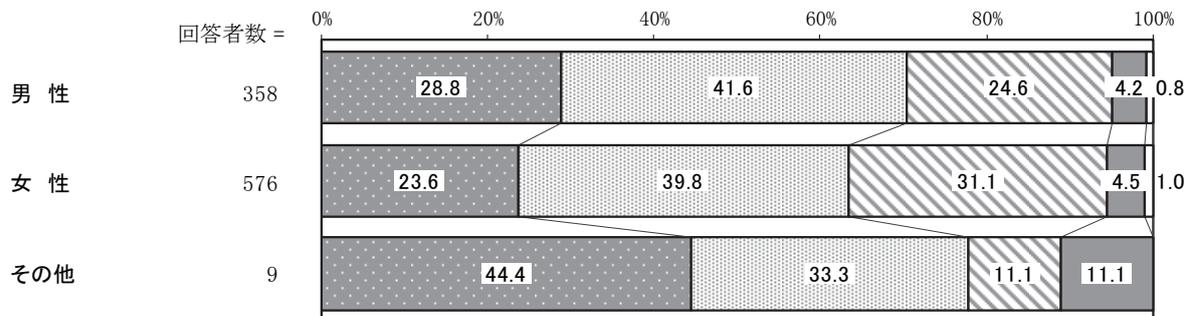
 非常にあてはまる
 無回答

①インターネットの利用で、学校の成績や事業実績が落ちた。

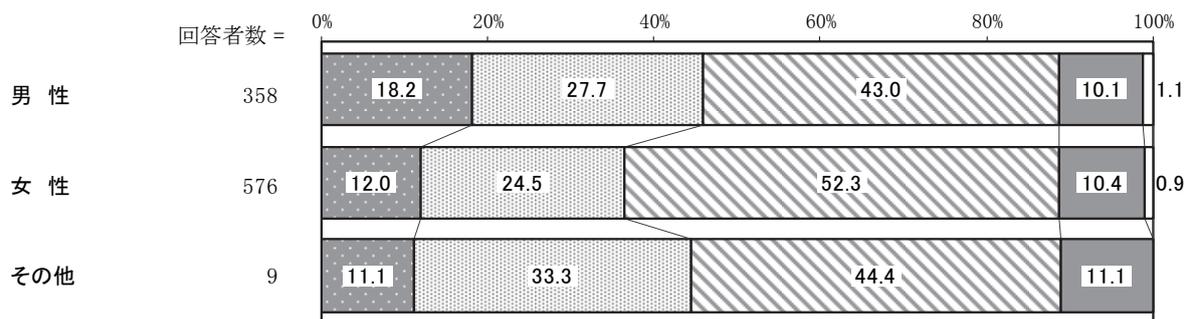


②インターネットができないと、落ち着かなくなり焦ってくる。

【性別】

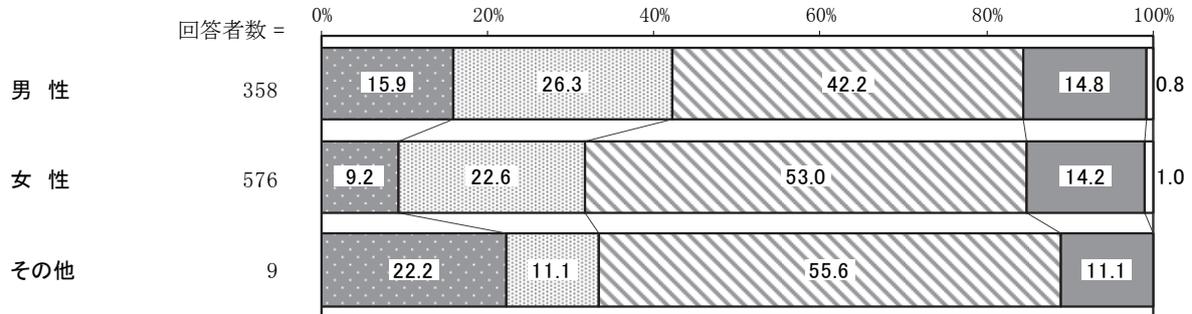


③インターネットをし始めると、なかなか終了できない。

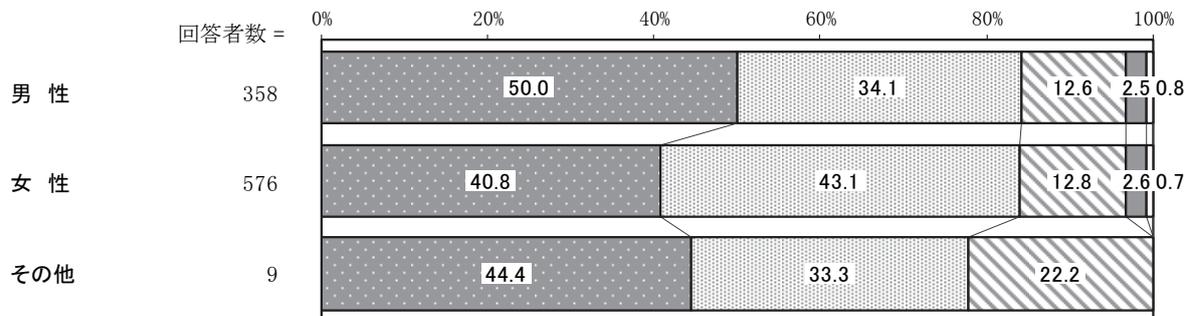




④インターネットをしていないときは、インターネットのことは頭に出てこない。



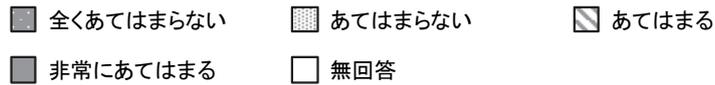
⑤周囲からインターネットをしすぎていと指摘される。



⑥インターネットのために、お金を多くつかうようになった。

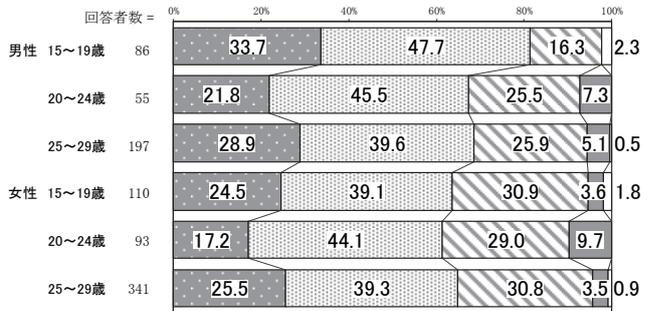
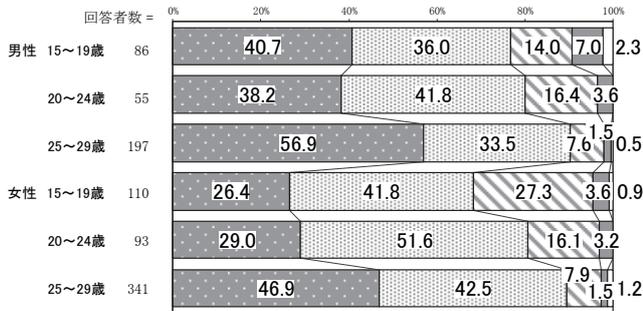


【性・年代別】



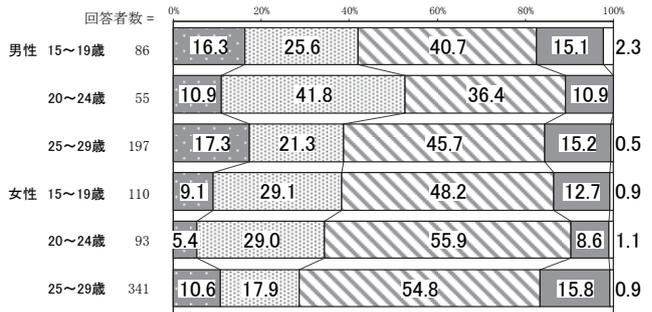
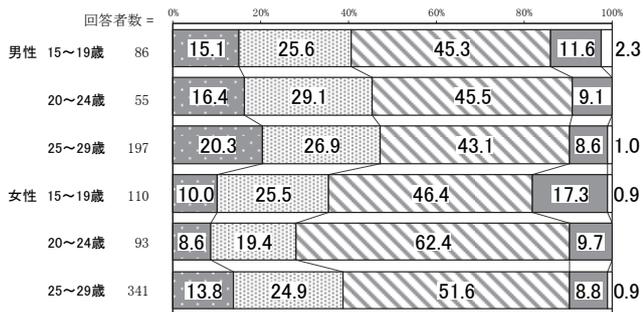
①インターネットの利用で、学校の成績や事業実績が落ちた。

②インターネットができないと、落ち着かなくなり焦ってくる。



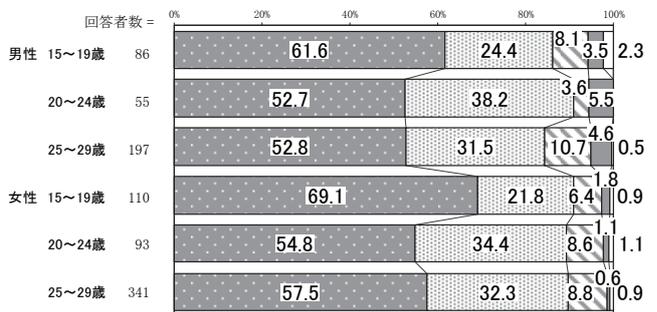
③インターネットをし始めると、なかなか終了できない。

④インターネットをしていないときは、インターネットのことは頭に出てこない。

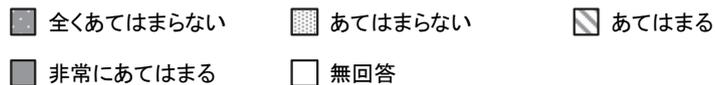


⑤周囲からインターネットをしすぎてしていると指摘される。

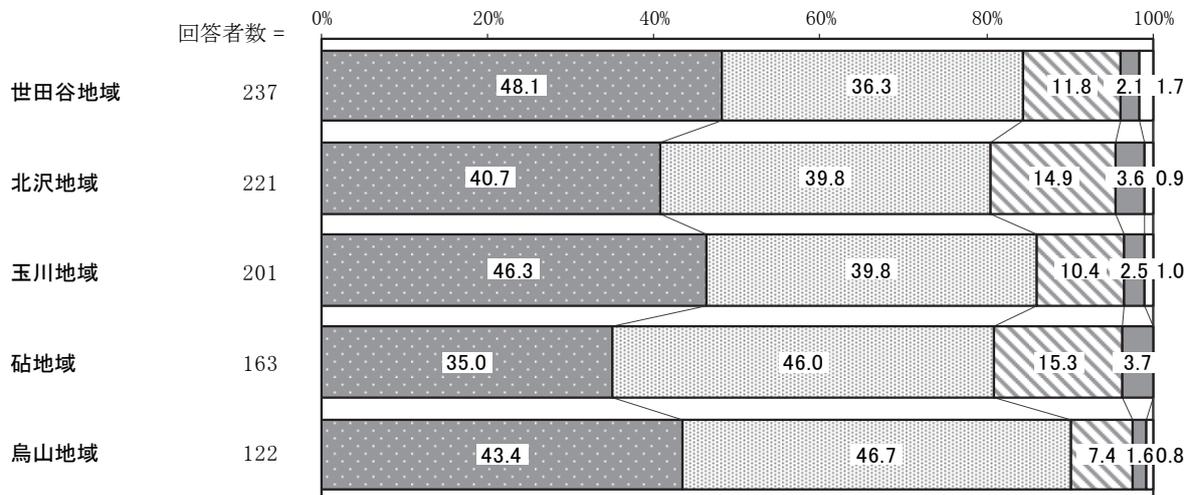
⑥インターネットのために、お金を多くつかうようになった。



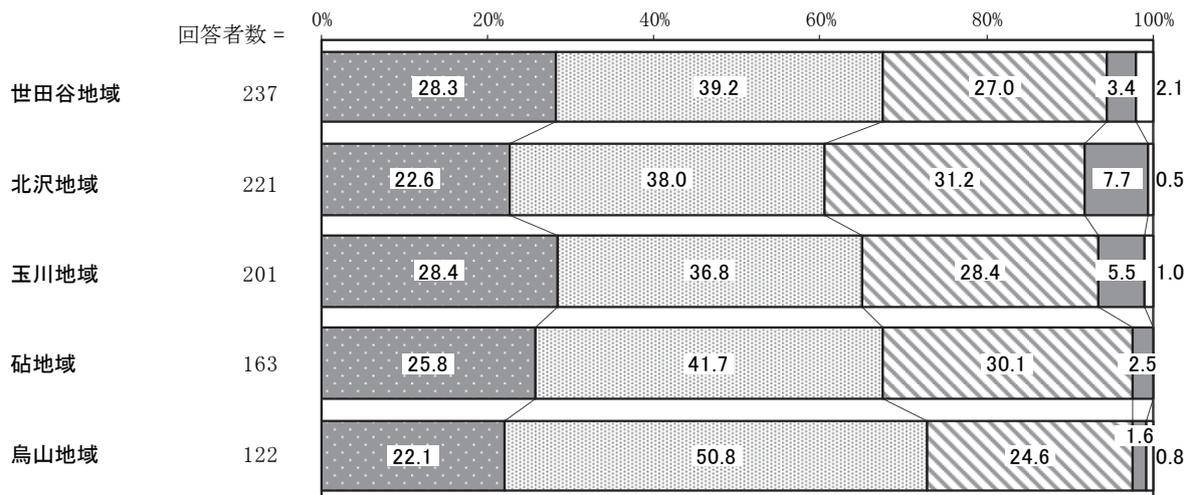
【地域別】



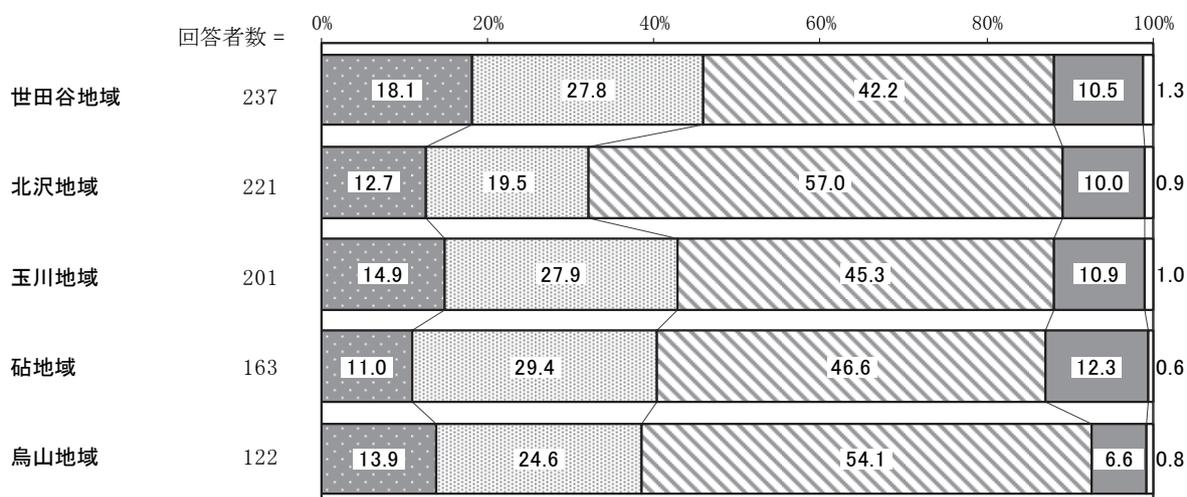
①インターネットの利用で、学校の成績や事業実績が落ちた。

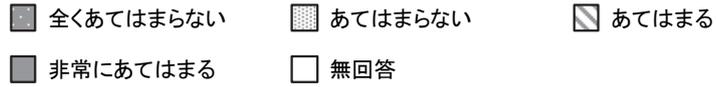


②インターネットができないと、落ち着かなくなり焦ってくる。

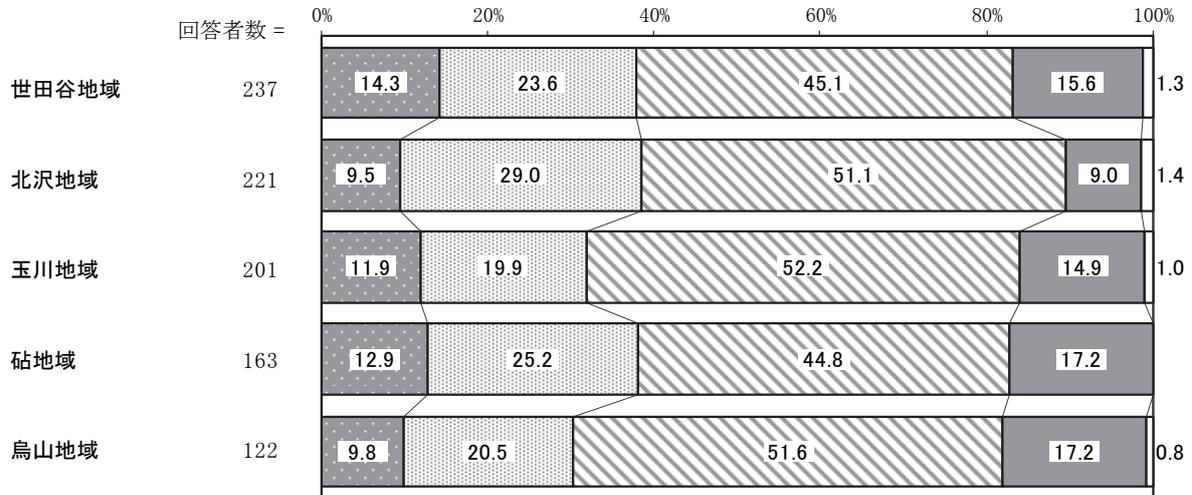


③インターネットをし始めると、なかなか終了できない。

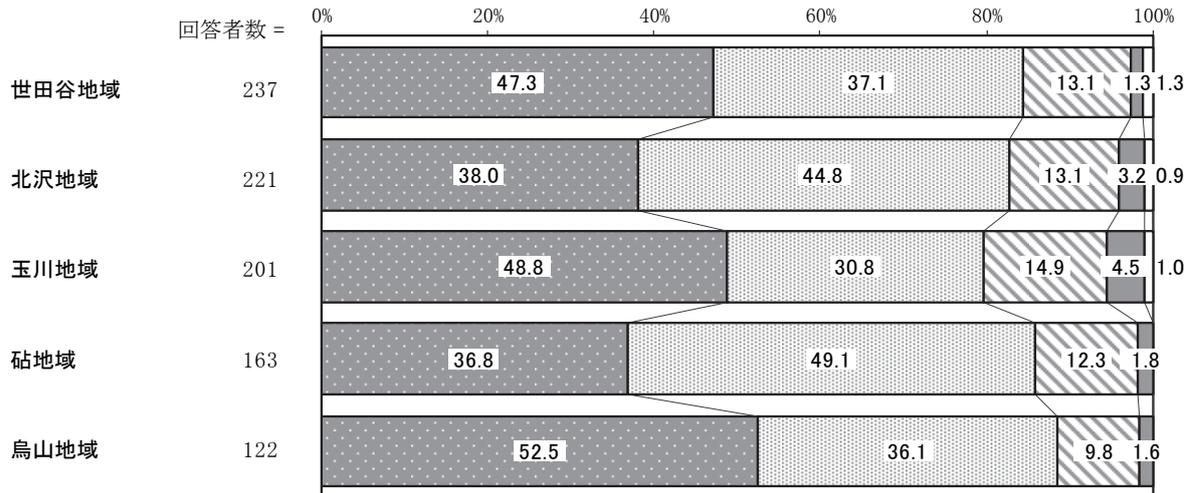




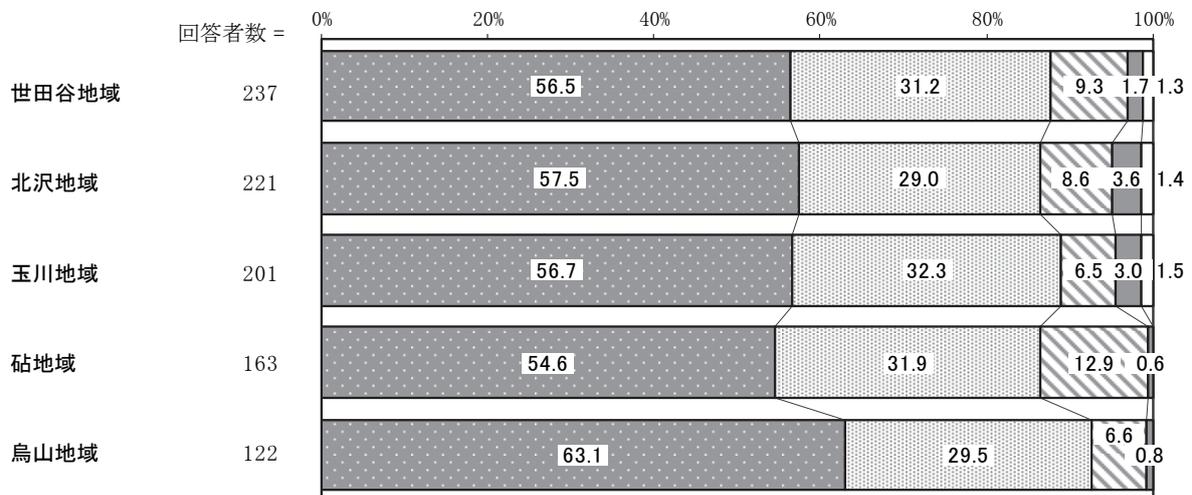
④インターネットをしていないときは、インターネットのことは頭に出てこない。



⑤周囲からインターネットをしすぎていと指摘される。

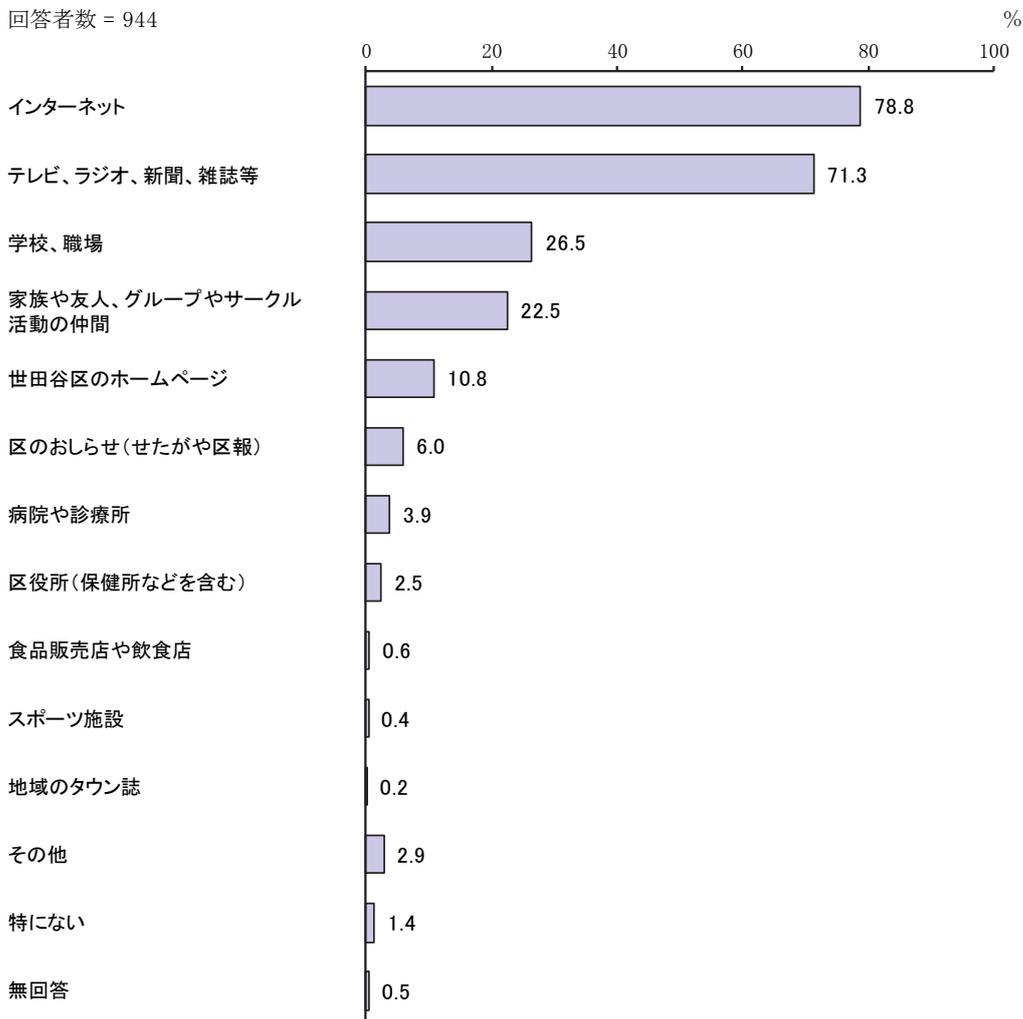


⑥インターネットのために、お金を多くつかうようになった。



問 21 あなたは、新型コロナウイルスについての情報をどのような方法や手段で入手していますか。(あてはまる全ての番号に○)

回答者数 = 944



新型コロナウイルスについての情報の入手方法・手段については、「インターネット」78.8%が最も高く、次いで「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」71.3%、「学校、職場」26.5%となっている。

性別にみると、「家族や友人、グループやサークル活動の仲間」は、女性が男性よりも9.7ポイント、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」は、女性が男性よりも12.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「家族や友人、グループやサークル活動の仲間」は、女性の15～19歳で約4割と最も高く、男性・女性ともに年齢が下がるほど高くなる傾向がある。「インターネット」は、女性の20～24歳で約9割と最も高く、次いで男性の25～29歳、女性の25～29歳で約8割となっている。

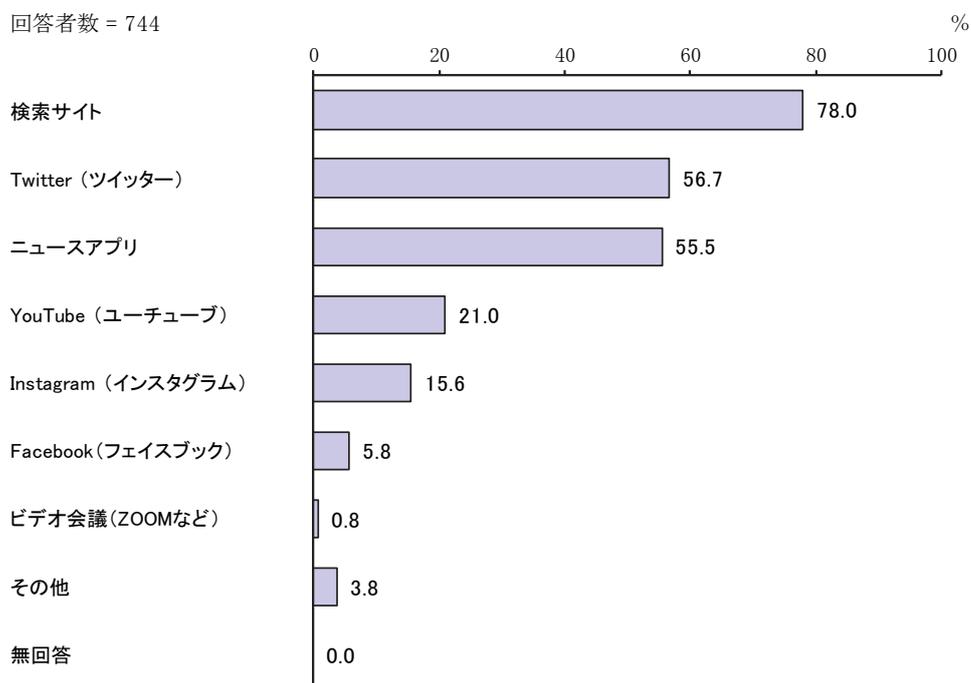
地域別にみると、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」は、砧地域、烏山地域で約8割と最も高く、最も高い砧地域と最も低い北沢地域を比べると、12.4ポイントの差がある。「インターネット」は、北沢地域で8割台半ばと最も高く、最も低い玉川地域と比べると、9.1ポイントの差がある。

【性別】【性・年代別】【地域別】

単位：％

区分	区のおしらせ (せたがや区報)	世田谷区のホームページ	区役所 (保健所などを含む)	学校、 職場	病院や 診療所	食品販売店 や飲食店	スポーツ 施設	家族や友人、 グループやサークル 活動の仲間	地域の タウン誌	テレビ、 ラジオ、新聞、 雑誌等	インターネット	その他	特 に な い	無 回 答	回 答 者 数 (件)	
男 性	8.4	9.2	2.8	25.4	5.0	1.1	0.6	16.5	0.3	64.0	77.7	3.4	2.2	0.8	358	
女 性	4.7	11.8	2.4	27.3	3.3	0.3	0.3	26.2	0.2	76.0	79.2	2.3	0.9	0.3	576	
その他	—	11.1	—	22.2	—	—	—	22.2	—	66.7	100.0	22.2	—	—	9	
男 性	15～19 歳	7.0	2.3	2.3	23.3	2.3	3.5	—	24.4	—	70.9	76.7	5.8	1.2	3.5	86
	20～24 歳	7.3	12.7	1.8	20.0	3.6	—	1.8	14.5	—	70.9	70.9	1.8	3.6	—	55
	25～29 歳	8.6	10.7	2.5	28.9	6.1	0.5	0.5	13.7	0.5	59.9	80.2	2.5	2.0	—	197
女 性	15～19 歳	1.8	4.5	—	26.4	0.9	0.9	—	37.3	—	78.2	65.5	0.9	0.9	0.9	110
	20～24 歳	5.4	6.5	3.2	25.8	1.1	—	—	30.1	1.1	71.0	87.1	1.1	1.1	—	93
	25～29 歳	5.3	16.1	2.6	29.3	5.0	0.3	0.6	21.7	—	76.5	80.9	2.6	0.9	0.3	341
世田谷地域	5.1	12.7	2.1	27.4	3.8	—	0.8	21.9	—	67.9	78.1	3.4	—	1.3	237	
北沢地域	5.9	10.9	2.3	24.0	2.7	—	—	23.1	0.5	67.4	84.2	3.2	2.3	0.5	221	
玉川地域	3.5	8.0	3.5	25.9	4.5	1.0	—	20.9	—	68.7	75.1	1.5	3.0	0.5	201	
砧地域	11.7	14.7	3.1	28.8	5.5	2.5	0.6	20.9	0.6	79.8	79.8	4.3	—	—	163	
烏山地域	4.9	6.6	1.6	27.0	3.3	—	0.8	27.0	—	77.9	75.4	1.6	1.6	—	122	

問 21-1 インターネットでの情報を収集する際に、どのようなツールを使用しますか。
 (あてはまるものすべてに○)



インターネットでの情報を収集する際に使用するツールについては、「検索サイト」78.0%が最も高く、次いで「Twitter (ツイッター)」56.7%、「ニュースアプリ」55.5%となっている。

性別にみると、「検索サイト」は、男性が女性よりも6.3ポイント、「YouTube (ユーチューブ)」は、男性が女性よりも17.7ポイント高くなっている。一方、「Instagram (インスタグラム)」は、女性が男性よりも5.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「YouTube (ユーチューブ)」は、男性の15～19歳、25～29歳で3割台半ばと最も高く、次いで男性の20～24歳で約3割となっている。「Twitter (ツイッター)」は、男性の20～24歳、女性の20～24歳で約7割と最も高く、次いで女性の15～19歳で6割台半ばとなっている。

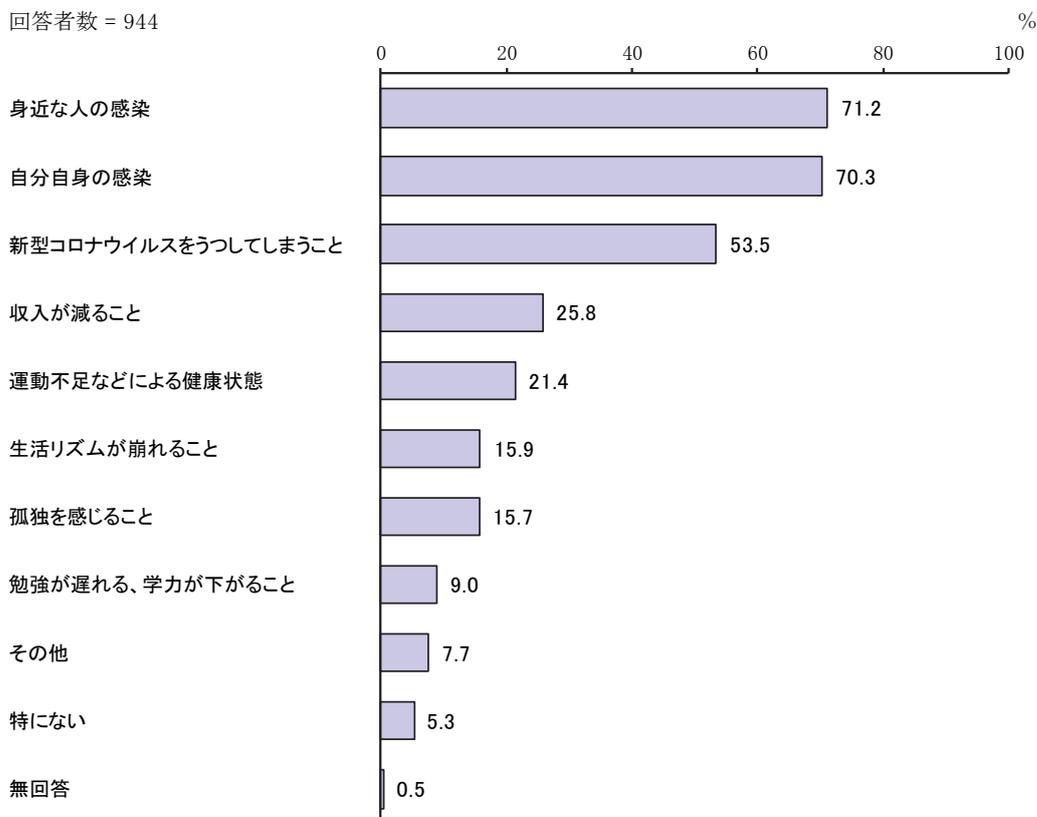
地域別にみると、「検索サイト」は、玉川地域で8割台半ばと最も高く、次いで砧地域、烏山地域で約8割となっている。

【性別】【性・年代別】【地域別】

単位：％

区分		検索サイト	ニュースアプリ	Twitter (ツイッター)	Facebook (フェイスブック)	Instagram (インスタグラム)	YouTube (ユーチューブ)	ビデオ会議 (ZOOMなど)	その他	無回答	回答者数 (件)
男性		82.0	53.6	55.4	6.8	12.2	32.0	1.1	3.2	—	278
女性		75.7	56.6	57.5	4.8	17.3	14.3	0.7	4.2	—	456
その他		66.7	55.6	55.6	22.2	22.2	11.1	—	—	—	9
男性	15～19歳	81.8	50.0	59.1	1.5	12.1	33.3	1.5	4.5	—	66
	20～24歳	82.1	53.8	69.2	5.1	10.3	28.2	—	2.6	—	39
	25～29歳	82.9	54.4	50.6	9.5	13.9	34.2	1.3	3.2	—	158
女性	15～19歳	75.0	54.2	63.9	1.4	16.7	26.4	—	1.4	—	72
	20～24歳	69.1	51.9	69.1	1.2	12.3	8.6	1.2	6.2	—	81
	25～29歳	76.4	59.1	54.0	6.5	19.6	14.1	0.7	4.0	—	276
世田谷地域		76.2	56.2	57.3	6.5	18.4	23.2	1.1	4.3	—	185
北沢地域		74.7	55.4	60.2	4.3	15.6	20.4	0.5	3.8	—	186
玉川地域		84.1	55.6	53.0	6.0	13.9	21.2	—	2.6	—	151
砧地域		78.5	52.3	52.3	6.2	16.2	19.2	1.5	3.1	—	130
烏山地域		77.2	58.7	60.9	6.5	12.0	19.6	1.1	5.4	—	92

問 22 あなたは、新型コロナウイルスについて、不安なことはありますか。
 (あてはまる全ての番号に○)



新型コロナウイルスに関する不安なことについては、「身近な人の感染」71.2%が最も高く、次いで「自分自身の感染」70.3%、「新型コロナウイルスをうつしてしまうこと」53.5%となっている。

性別にみると、「特にない」は、男性が女性よりも5.4ポイント高くなっている。一方、「自分自身の感染」は、女性が男性よりも10.1ポイント、「身近な人の感染」は、女性が男性よりも13.8ポイント、「新型コロナウイルスをうつしてしまうこと」は、女性が男性よりも15.3ポイント、「孤独を感じる」は、女性が男性よりも6.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「勉強が遅れる、学力が下がること」は、女性の15～19歳で約4割と最も高く、次いで男性の15～19歳で2割台半ばとなっている。「収入が減ること」は、女性の20～24歳で3割を超え最も高くなっている。

地域別にみると、「新型コロナウイルスをうつしてしまうこと」は、北沢地域で約6割と最も高く、最も低い世田谷地域と比べると、9.0ポイントの差がある。「生活リズムが崩れること」は、烏山地域で2割を超えて最も高く、最も低い世田谷地域と比べると、9.1ポイントの差がある。

【性別】【性・年代別】【地域別】

単位：％

区分		自分自身の感染	身近な人の感染	新型コロナウイルスをうつしてしまうこと	運動不足などによる健康状態	生活リズムが崩れること	孤独を感じることに	勉強が遅れる、学力が下がること	収入が減ること	その他	特にない	無回答	回答者数(件)
男性		64.2	62.8	44.1	21.8	15.6	11.7	7.3	24.0	8.4	8.7	0.6	358
女性		74.3	76.6	59.4	21.0	15.6	18.1	9.9	26.9	7.3	3.3	0.5	576
その他		55.6	66.7	55.6	33.3	33.3	11.1	11.1	33.3	11.1	—	—	9
男性	15～19歳	58.1	54.7	38.4	25.6	24.4	14.0	25.6	12.8	9.3	10.5	2.3	86
	20～24歳	67.3	65.5	43.6	25.5	9.1	9.1	7.3	25.5	9.1	9.1	—	55
	25～29歳	63.5	63.5	46.7	20.3	13.7	11.2	—	28.4	8.6	8.6	—	197
女性	15～19歳	67.3	70.0	52.7	19.1	27.3	20.0	37.3	9.1	8.2	7.3	0.9	110
	20～24歳	74.2	77.4	57.0	25.8	18.3	15.1	11.8	32.3	6.5	3.2	1.1	93
	25～29歳	76.2	78.3	62.2	19.6	12.0	18.5	1.5	29.6	7.0	2.3	0.3	341
世田谷地域		68.4	70.0	48.5	19.0	12.2	15.2	8.0	25.7	5.5	3.8	1.3	237
北沢地域		71.5	73.3	57.5	19.0	14.0	19.0	10.4	31.7	9.0	4.1	0.5	221
玉川地域		69.7	69.2	54.7	24.9	16.9	12.4	9.0	22.4	7.0	8.0	0.5	201
砧地域		69.9	73.6	54.0	25.8	18.4	16.6	9.8	24.5	8.6	4.3	—	163
烏山地域		73.8	69.7	53.3	18.9	21.3	14.8	7.4	23.0	9.8	7.4	—	122

Ⅲ 調査結果のまとめ

調査結果をより明確にし、区民の健康に関する意識や実態などを的確に把握するため、この報告書では調査項目ごとに「性別」、「性・年代別」、「地域別」の調査結果についても示した。これらの結果をもとに、ここでは区民の健康に関する実態や意識をまとめるとともに、「分野ごとのまとめ」、「性・年代別のまとめ」、「地域別のまとめ」として整理した。

1 思春期調査結果の総括

ここでは、調査分野ごとの結果、性別や年代別、地域別の結果を踏まえ、調査結果全体をとりまとめた。まとめにあたっては、「健康状態や意識」、「性感染症や妊娠等」、「こころの健康」及び「インターネットの利用」の4つの視点で整理した。

なお、調査回答者の主な属性等については次の通り。

- ◆ 有効回答率 31.5%（配布数 3,000 人、有効回答数 944 人）
- ◆ 男女比 男性 37.9% 女性 61.0%
- ◆ 年代比 15～19 歳 21.2%、20～24 歳 15.8%、25～29 歳 57.4%
- ◆ 職業比 正規職員（自営業を含む）55.0%、
学生 29.2%
パート、アルバイト 5.4%
契約社員など非正規職員 3.0%
無業者（求職中の人を含む）3.2%
専業主婦（夫）2.1%
その他（家事手伝い、主に自宅で勉強中の人など）1.9%

全体として、女性が6割を占めているほか、回答者の約6割が25～29歳である。

職業比は、正規職員が最も高く、次いで学生となっている。

そのほかの属性を補足すると、同居家族は「親」と同居している人が約5割、一人暮らしが約3割となっている。

2 分野ごとのまとめ

分野別ごとのまとめとして、各分野における全般的な傾向、性・年代別あるいは地域による特徴などを、「II 調査結果」では言及していないことも含め、以下のとおり整理した。

健康状態や意識

<総括>

- ◆自分の健康観は、「健康である」と「まあ健康である」を合わせた「健康であると思う人」は92.4%と大多数を占めている。しかし、男性の15～19歳、25～29歳は8割台と低くなっている。
- ◆BMIは、「標準」が72.1%が多いが、「やせ」が約2割にのぼっている。特に女性の15～19歳では「やせ」が2割台半ばと多く、女性の25～29歳でも2割を超えるなど、女性での「やせ」が目立っている。
- ◆自身の体型では、「ふとっている」と「やや、ふとっている」を合わせた「ふとっていると思う人」は39.4%となっており、BMIでの「肥満」(8.5%)を大きく上回り、女性では特にその傾向が顕著となっている。
- ◆朝食の摂取状況は、「ほとんど毎日食べる」が55.7%と半数を超えているものの、「ほとんど食べない」「週に2～3日は食べる」「週に4～5日は食べる」をあわせた「朝食を欠食する人」が4割台半ばとなっている、特に男性の25～29歳では、毎日朝食を食べる人(44.2%)より、欠食する人の割合(55.8%)が高くなっている。
- ◆歯や歯ぐきの健康のための取組みは、「該当するものはない」と回答した人は12.1%となっているものの、男性の25～29歳では約2割に上っている。
- ◆喫煙、飲酒の経験について、15～19歳の未成年についてみると、喫煙をしたことがある人は、男性・女性ともに2%程度であるのに対し、飲酒では男性・女性ともに約2割となっている。
- ◆自分の体や健康を大切にす意識では、「そう思う」と「少しそう思う」を合わせた「大切にしたいと思う人」が全体で97.3%と大多数を占め、性別や年齢別にみても多数を占めている。

性感染症や妊娠等

<総括>

- ◆性感染症の認知度は、「知っている」が全体で95.3%と大多数を占めている。しかし、知っている内容は、「病名」が96.2%であるのに対し、「予防方法」が6割台半ば、「症状」は5割台半ばと低くなっている。
- ◆保健所での無料・匿名検査の認知度は、「知らない」(58.8%)が「知っている」(41.0%)よりも高くなっている。特に、女性の20～24歳では「知らない」が7割を超え、高くなっている。
- ◆性・妊娠に関する知識では、概ね正しい知識で回答している人が多いものの、「わからない」の回答も「性感染症を治療しないと、不妊症になることがある。」では約3割、「性感染症にかかると、必ず自覚症状がある。」「卵子や精子も老化していく。」の割合が約2割となっている。
- ◆性に関する意識は、「愛情がなくても、性交する。」で「どちらかといえばかまわない」、「かまわない」の割合が合計で2割台半ばとなっており、特に男性では3割を超えている。

- ◆「リプロダクティブヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康／権利）」の認知度は、「言葉も意味も良く知っていた」、「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」、「言葉は知っていたが、意味はあまり知らなかった」、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」を合わせた「知っていた人」は2割未満にとどまり、男性・女性ともに25～29歳では1割台半ばと低い。
- ◆性感染症や妊娠等について知る方法は、「インターネットで調べる」が89.1%と最も高く、次に多い「友達に聞く」「医師などの専門家に聞く」が2割台であることから、多くの知識がインターネットによるものとも考えられる。
- ◆がんのイメージは、「だれでもかかる可能性がある病気」が93.5%と最も高い。しかし、「早く治療すればほぼ治る病気」は3割を超え、「検査しても見つけるのは難しい病気」は約2割と、認知度が低い面も見受けられる。「がんは定期的に健診を受けて早期に発見すれば、生存率が高まる病気だということの認知度」についても、「知っている」は7割台半ばにとどまっている。

こころの健康

<総括>

- ◆悩みや不安、ストレスが「まったくなかった」と「あまりなかった」を合わせた「なかった人」は23.1%にとどまる一方、「ときどきあった」と「常にあった」を合わせた「あった人」は76.0%にのぼっている。また、「あった人」は、男性・女性ともに年齢が上がるほど高くなっており、女性の20～24歳、25～29歳では8割が「あった」と回答している。
- ◆相談相手は、「友達」が59.3%、「母」が41.8%となっているが、「相談しない」と回答した人も約1割となっており、特に男性では約2割となっている。相談しない理由は、「相談しても何も変わらないと思うから」が6割となっている。
- ◆希望する相談の機会は、「公的機関の専門家による相談」、「LINEなどのSNSでの相談」、「無料相談」がそれぞれ3割以上となっている。

インターネットの利用

<総括>

- ◆インターネット依存に関する事項は、「インターネットをし始めると、なかなか終了できない。」人が58.9%と半数を超え、「インターネットができないと、落ち着かなくなり焦ってくる。」人が約3割となっている。また、女性の15～19歳では「インターネットの利用で、学校の成績や事業実績が落ちた。」が約3割にのぼり、インターネットが思春期世代に影響を多く与えていることがうかがえる。
- ◆性感染症等に関する事項をインターネットで調べる人が使うツールとしては「検索サイト」が98.2%と大多数を占め、また、新型コロナウイルスについて「インターネット」で調べる際にも「検索サイト」を利用する人が78.0%と、検索サイトの利用が多くなっている。また、新型コロナウイルスについては、「Twitter（ツイッター）」の利用が56.7%と半数以上となっている。

3 性・年代別のまとめ

分野別の調査結果から性別、年代別の特徴を浮き彫りにするために、未成年である15～19歳、20～29歳に分けて健康に関する意識等について「Ⅱ 調査結果」では言及していないことも含め、以下のとおり整理した。

15～19歳

<総括>

(1) 健康状態や意識

- ◆「自分の健康観」(問5(1))では、女性の15～19歳では「健康である」と「まあ健康である」を合わせた「健康であると思う人」が9割台半ばであるのに対し、男性の15～19歳では88.4%と9割を下回っている。
- ◆「BMI」(問5(2))は、男性・女性ともに「肥満」は少ないが、「やせ」が女性の15～19歳で25.5%と他に比べて最も高くなっている。にもかかわらず、自分の体型(問5(3))を「ふとっている」もしくは「やや、ふとっている」ととらえている人は、男性・女性ともに15～19歳では3割を超えており、未成年でも痩せ指向が表れている。
- ◆朝食の摂取状況は、「ほとんど毎日食べる」が女性の15～19歳では7割台半ばであるが、男性の15～19歳では61.6%にとどまっている。同時に、男性の15～19歳では「ほとんど食べない」が16.3%にのぼっている。
- ◆薬物への意識(問5(8))で、「規制がなければ使ってもいい」と考える人は男性の15～19歳では14.0%(区全体4.7%)と高くなっている。

(2) 性感染症や妊娠等

- ◆性感染症の認知度(問7)は、男性・女性ともに9割を超えている。知っている内容(問7-1)は、「病名」は男性・女性ともに9割以上となっているものの、「症状」「予防方法」については女性では5割台から6割台と低くなっている。
- ◆保健所での無料・匿名検査の認知度(問8)は、「知っている」が男性の15～19歳では52.3%と半数であるが、女性の15～19歳では約4割にとどまっている。
- ◆性・妊娠に関する知識では、「わからない」の回答が「性感染症を治療しないと、不妊症になることがある。」では男性・女性ともに3割、「性感染症にかかると、必ず自覚症状がある。」では男性・女性ともに約3割と知識不足が目立っている。
- ◆性に関する意識(問10)は、「愛情がなくても、性交する。」「お金やものをもらって(あげて)性交する。」では「どちらかといえばかまわない」、「かまわない」の割合が男性の15～19歳で高くなっている。

(3) こころの健康

- ◆ストレスの原因(問15-1)は、15～19歳では男性・女性ともに「学校のこと」が最も高いが、次いで男性では「感染症(新型コロナウイルス感染症など)に関すること」が高くなっている。

- ◆ ストレスを感じたときの行動（問 16）で、「我慢して通り過ぎるのを待つ」が女性の 15～19 歳では 3 割を超えており、他の年代に比べ最も高くなっている。また、「誰かに相談する」は、男性の 15～19 歳で 24.4%と、他の年代に比べ最も低くなっている。
- ◆ 相談しない理由（問 17-1）について、「相談しても何も変わらないと思うから」は男性の 15～19 歳で最も高く、約 7 割となっている。

（４）インターネットの利用

- ◆ インターネット依存に関する事項（問 20）は、「インターネットの利用で、学校の成績や事業実績が落ちた。」が「あてあまる」または「非常にあてはまる」と回答した人が女性の 15～19 歳では 30.9%にのぼり、他の年代に比べ最も高い。「インターネットをしていないときは、インターネットのことは頭に出てこない。」でも、「あてはまる」「非常にあてはまる」の割合が高く、女性では約 7 割となっている。また、女性の 15～19 歳では「インターネットをし始めると、なかなか終了できない。」でも「あてはまる」または「非常にあてはまる」が 6 割台半ばに上っており、未成年にはインターネットが生活習慣に大きく影響しているといえる。

20～29 歳

<総括>

（１）健康状態や意識

- ◆ 「自分の健康観」（問 5（1））では、「健康である」と「まあ健康である」を合わせた「健康であると思う人」が概ね 9 割台であるのに対し、男性の 25～29 歳では 88.8%と 9 割を下回っている。
- ◆ 「BMI」（問 5（2））は、男性・女性ともに「標準」が約 7 割から 7 割台半ばと最も高い。「肥満」が男性で年代が上がるにつれ高くなっており、男性の 20～24 歳、25～29 歳で 1 割台半ばとなっている。一方、「やせ」は、女性の 20～24 歳、25～29 歳では 2 割程度となっている。しかし、自身の体型（問 5（3））では、「ふとっている」または「やや、ふとっている」と回答した人が女性の 20～24 歳、25～29 歳で 4 割台半ばと、痩せ指向が強くなっている。
- ◆ 朝食の摂取状況は、「ほとんど食べない」が男性の 25～29 歳で 29.4%にのぼり、他の年代に比べ最も高い。
- ◆ 歯や歯ぐきの健康のためにしていること（問 5（5））は、「該当するものはない」は男性の 25～29 歳で約 2 割と、他の年代に比べ最も高くなっている。

（２）性感染症や妊娠等

- ◆ 性感染症の認知度（問 7）は、男性・女性ともに 9 割を超えている。知っている内容（問 7-1）は、「病名」は男性・女性ともに 9 割以上となっているものの、「症状」「予防方法」については女性では 5 割台から 6 割台と低くなっている。
- ◆ 保健所での無料・匿名検査の認知度（問 8）は、「知っている」が概ね 4 割から 5 割となっているが、女性の 20～24 歳で 2 割台半ばと、他の年代に比べ最も低くなっている。

- ◆性・妊娠に関する知識では、「わからない」の回答が「性感染症を治療しないと、不妊症になることがある。」では男性の25～29歳で3割台半ばと高くなっている。
- ◆性に関する意識（問10）は、「愛情がなくても、性交する。」、「お金やものをもらって（あげて）性交する。」では「どちらかといえばかまわない」、「かまわない」の割合が男性の25～29歳で高くなっている。
- ◆「リプロダクティブヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康／権利）」の認知度（問11）は、「言葉も意味も良く知っていた」、「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」、「言葉は知っていたが、意味はあまり知らなかった」、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」をあわせた「知っていた」が、男性・女性ともに25～29歳で1割台と、他の年代に比べ低くなっている。

（3）こころの健康

- ◆悩みや不安、ストレスの有無（問15）では、「ときどきあった」と「常にあった」を合わせた「あった人」が女性で8割と高く、男性に比べても、他の年代と比べても高くなっている。
- ◆ストレスの原因（問15-1）は、男性・女性ともに「勤務に関すること」が最も高いが、女性の25～29歳で「恋愛（男女）関係のこと」が3割台半ばとなっている。

（4）インターネットの利用

- ◆インターネット依存に関する事項（問20）は、「インターネットができないと、落ち着かなくなり焦ってくる。」「インターネットをし始めると、なかなか終了できない。」では、「あてはまる」または「非常に当てはまる」は女性の20～24歳で他の年代に比べ最も高くなっている。また、「インターネットのために、お金を多くつかうようになった。」では、「あてはまる」または「非常に当てはまる」人は男性の25～29歳で15.3%と、他の年代に比べ最も高い。

4 地域別のまとめ

地域別の調査結果では、多くの設問で回答に大きな地域差はみられなかった。各地域の回答者の属性などにはばらつきがあり、必ずしも地域の特徴を表すものではないが、ここでは、区全体との比較あるいは地域間で差異のあった回答の一部を、地域の傾向として、「Ⅱ 調査結果」では言及していないことも含め、以下のとおり整理した。

世田谷地域

<総括>

【有効回答率】 29.6% (配布数 801 人、有効回収数 237 人)

- ◆ 「BMI」(問5(2))では、「標準」が他地域と並んで他の地域に比べ高く、「やせ」は、他の地域に比べ最も低くなっている。
- ◆ 「朝食の摂取状況」(問5(4))では、「ほとんど食べない」が23.2%と、他の地域に比べて最も高い。
- ◆ 「飲酒の経験」(問5(7))では、飲んだことが「ある」が48.5%と、北沢地域と並んで高くなっている。
- ◆ 「性感染症の知識」(問7-1)で「症状」を知っている人は49.6%と、他の地域に比べ最も低い。
- ◆ 「悩みや不安、ストレスの有無」(問15)では、「ときどきあった」と「常にあった」を合わせた「あった人」が80.1%(区全体76.0%)で、他の地域に比べ最も高くなっている。また、「ストレスを感じたときに取る行動」(問16)では、「我慢して通り過ぎるのを待つ」が33.8%と、他の地域に比べ最も高く、唯一3割を超えている。

北沢地域

<総括>

【有効回答率】 30.2% (配布数 733 人、有効回収数 221 人)

- ◆ 「自分の健康観」(問5(1))では、「健康である」と「まあ健康である」を合わせた「健康であると思う人」が95.0%と、他の地域に比べ最も高くなっている。
- ◆ 「BMI」(問5(2))では、他の地域と同様「標準」が最も高くなっているものの、「やせ」が21.3%と、烏山地域と並んで高くなっている。
- ◆ 「飲酒の経験」(問5(7))では、飲んだことが「ある」が48.9%と、世田谷地域と並んで高くなっている。
- ◆ 「がんのイメージ」(問13)では、「早く治療すればほぼ治る病気」との回答が28.5%と、他の地域に比べ最も低い。また、「がんは定期的に健診を受けて早期に発見すれば、生存率が高まる病気だ」ということの認知度(問14)でも、「知っている」が71.5%と、ここでも他の地域に比べ最も低くなっている。
- ◆ 「悩みや不安、ストレスの相談相手」(問17)では、「母」が35.3、「父」が6.8%と他の地域に比べ最も低い一方、「相談しない」が14.5%と他の地域に比べ最も高い。

- ◆インターネット依存に関する事項（問 20）は、「インターネットができないと、落ち着かなくなり焦ってくる。」「インターネットをし始めると、なかなか終了できない。」で「あてはまる」と「非常に当てはまる」を合わせた割合が他の地域に比べ最も高くなっており、インターネットの影響が強くなっている。

玉川地域

<総括>

【有効回答率】 32.4%（配布数 621 人、有効回収数 201 人）

- ◆「飲酒の経験」（問 5（7））では、飲んだことが「ある」が 38.8%と、他の地域に比べ最も低い。
- ◆「悩みや不安、ストレスの有無」（問 15）では、「ときどきあった」と「常にあった」を合わせた「あった人」が 73.6%（区全体 76.0%）で、砧地域と並んで最も低くなっている。
- ◆「悩みや不安、ストレスの相談相手」（問 17）では、「母」が 47.8%と約半数であり、また、「相談しない」が 9.5%（区全体 12.2%）と他の地域に比べ最も低くなっている。

砧地域

<総括>

【有効回答率】 34.9%（配布数 467 人、有効回収数 163 人）

- ◆「喫煙の経験」（問 5（6））では、「ある」が 8.6%（区全体 11.1%）で、他の地域に比べ最も低い。
- ◆「性感染症の知識」（問 7－1）では、「症状」が 62.3%（区全体 54.1%）、「予防方法」が 74.8%（区全体 64.6%）と、他の地域に比べ最も認知度が高くなっている。
- ◆「保健所での無料・匿名検査の認知度」（問 8）では、「知っている」が 44.2%と、他の地域に比べ最も高い。
- ◆「性に関する意識」（問 10）では、「愛情がなくても、性交する。」について「どちらかといえどかまわない」と「かまわない」を合わせた割合が 28.3%と、他の地域に比べ最も高い。
- ◆「がんのイメージ」（問 13）では、「早く治療すればほぼ治る病気」が 40.5%と、他の地域に比べ最も高く、唯一 4 割以上となっている。加えて、「がんは定期的に健診を受けて早期に発見すれば、生存率が高まる病気だ」ということの認知度（問 14）でも、「知っている」が 80.4%と他の地域に比べ最も高く、がんの早期治療についての認知度が高くなっている。
- ◆「悩みや不安、ストレスの有無」（問 15）では、「ときどきあった」と「常にあった」を合わせた「あった人」が 73.6%（区全体 76.0%）で、玉川地域と並んで最も低くなっている。
- ◆インターネット依存に関する事項（問 20）は、「インターネットの利用で、学校の成績や事業実績が落ちた。」で「あてはまる」と「非常に当てはまる」を合わせた割合が、北沢地域と並んで他の地域に比べ高い。

【有効回答率】 32.3% (配布数 378 人、有効回収数 122 人)

- ◆「自分の健康観」(問 5 (1)) では、「健康である」と「まあ健康である」を合わせた「健康であると思う人」が 89.4%と、他の地域に比べ最も低くなっている。
- ◆「BMI」(問 5 (2)) では、他の地域と同様「標準」が最も高くなっているものの、「やせ」が 21.3%と、北沢地域と並んで高くなっている。
- ◆「朝食の摂取状況」(問 5 (4)) では、「ほとんど毎日食べる」が 60.7%と、他の地域に比べて最も高く、唯一 6 割台となっている。
- ◆「喫煙の経験」(問 5 (6)) では、「ある」が 14.8% (区全体 11.1%) で、他の地域に比べ最も高い。
- ◆「性感染症の知識」(問 7 - 1) で「症状」を知っている人は 49.6%と、世田谷地域と並んで他の地域に比べ最も低い。また、「予防方法」についても、知っている人は 59.3%と、他の地域に比べ最も低く、唯一 6 割未満となっている。
- ◆「保健所での無料・匿名検査の認知度」(問 8) では、「知っている」が 43.4%と、砧地域と並んで他の地域に比べ高い。
- ◆インターネット依存に関する事項 (問 20) は、「インターネットの利用で、学校の成績や事業実績が落ちた。」「インターネットができないと、落ち着かなくなり焦ってくる。」「周囲からインターネットをしすぎていると指摘される」「インターネットのために、お金を多くつかうようになった」で「あてはまる」と「非常に当てはまる」を合わせた割合が、他の地域に比べ最も低く、他の地域に比べインターネットの影響が少ないと考えられる。

IV 資料

思春期世代等に対するこころとからだのアンケート調査 調査票



思春期世代等に対する こころとからだのアンケート調査のお願い



区では、『健康せたがやプラン（第二次）後期』（平成 29 年度～33 年度）のもとで、様々な健康づくり施策を展開しており、思春期の健康づくりでは、性感染症や望まない妊娠の予防、こころの健康などが大きな課題となっております。

区のおしらせ「せたがや」9月 15 日号や区のホームページ等でもご協力をお願いしたところですが、このたび、現在のプランの計画期間が令和 3 年度に終了することに伴い、次期プランの策定に向けた基礎資料とするために、世田谷区にお住まいの 15 歳（思春期世代）から 29 歳（青年期世代）までの方を対象に、3,000 名を無作為に選ばせていただき、お考えやご意見等をお伺いすることにいたしました。

この調査は、平成 22 年度から 5 年ごとに実施しており、ご回答は無記名で、調査結果は全て統計的な数値として処理するため、回答者が特定されたり、回答内容が他の目的に使用されたりすることは一切ございません。

つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、あなたの率直なお考えをお聞かせください。よろしくお願いいたします。

令和 2 年 9 月

世田谷区長 保坂 展人



【記入にあたってのお願い】

- 1 この調査は封筒の宛名のご本人様にお答えいただくものです。お名前を記入いただく必要はありません。なお、心身の状況などにより、ご本人様が回答をお書きになれない場合には、ご家族の方などがご本人様の 意見等をお聞きしながらご記入し、ご提出をお願いします。
- 2 ご回答につきましては、令和 2 年 9 月 1 日現在の状況でご記入ください。
- 3 ご回答は「郵送」または「インターネット」から行うことができます。インターネットによる回答をされる方は下記アドレスにアクセスし、ID 番号を入力して回答をお願いします。

インターネットによる回答

URL : https://hst.netr.jp/setagaya_2020/

あなたの ID 番号 : bf4fx4N73EW8

入力期限 : 令和 2 年 10 月 5 日 (月)



- 4 郵送による回答の場合は、ご記入された調査票を、令和 2 年 10 月 5 日 (月) までに、同封の返信用封筒（切手不要）に入れてポストへ投函してください。
- 5 設問に、ことわり書きや矢印がある場合は、それに従いご回答ください。
- 6 ご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。（匿名での問い合わせも承ります。）

世田谷区 世田谷保健所 健康企画課 計画担当



〒154-8504 世田谷区世田谷 4-22-35

電話 : 03-5432-2354 FAX : 03-5432-3022



健康状態や意識についてお聞きします

問1 あなたの性別に○をしてください。(1つに○)

1. 男 2. 女 3. その他(お答えいただくことに抵抗がある方も含む)

問2 あなたの年齢を書いてください。(令和2年9月1日現在)

() 歳

問3 あなたの現在の状況をお答えください。ただし、複数に該当する場合は、主なものをお答えください。(1つに○) ※1の場合は、該当する教育機関に○をつけてください。

1. 学生
 ⇒ア. 高等学校・高専 イ. 専門学校・各種学校 ウ. 短期大学 エ. 大学 オ. 大学院
 2. 正規職員(自営業を含む) 3. 契約社員など非正規職員 4. パート、アルバイト
 5. 専業主婦(夫) 6. 無業者(求職中の人を含む)
 7. その他(家事手伝い、主に自宅で勉強中の人など)

問4 現在、あなたが一緒に暮らしている人はどなたですか。(あてはまる全ての番号に○)

1. 親 2. きょうだい 3. 祖父母 4. 恋人 5. 配偶者
 6. 子ども 7. 友達 8. 一人暮らし 9. その他()

問5 あなたの健康状態や生活についてお聞きします。

(1) 自分のことを健康だと思えますか。(1つに○)

1. 健康である 2. まあ健康である 3. あまり健康でない 4. 健康ではない

(2) あなたの身長と体重をお答えください。

身長	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	cm	体重	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	kg
(例)	1	6	5	cm	(例)	5	5	kg	

(3) あなたご自身の体型についてどのように思われますか。(1つに○)

1. ふとっている 2. やや、ふとっている 3. ちょうどよい
 4. やや、やせている 5. やせている

(4) 毎日、朝食を食べますか。(1つに○)

1. ほとんど毎日食べる 2. 週に4~5日は食べる 3. 週に2~3日は食べる
 4. ほとんど食べない

(5) あなたは、ふだん、歯や歯ぐきの健康のために、次のようなことをしていますか。(あてはまる全ての番号に○)

1. 定期的に歯科医院で歯科健診を受ける
 2. 歯と歯の間を清掃するための器具(デンタルフロス、歯間ブラシ)を使う
 3. フッ素入りの歯磨き剤を使っている
 4. 歯みがきした後、水かお茶以外の飲み物や食べ物を飲食しない
 5. 該当するものはない

(6) タバコを吸ったことがありますか(未成年の時に)。(1つに○)

1. ある 2. ない

(7) お酒を飲んだことがありますか(未成年の時に)。(1つに○)

1. ある 2. ない

問8 シンナーや覚せい剤・危険ドラッグなどの薬物について、どう思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 絶対に使ってはいけない | 2. 規制がなければ使ってもいい |
| 3. 一回くらいなら使ってもいい | 4. わからない |

問9 シンナーや覚せい剤・危険ドラッグなどの薬物を使ったり、使用を誘われたりしたことはありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|------------------------|
| 1. 使ったことはない | 2. 使ったことはないが、誘われたことはある |
| 3. 使ったことがある | |

問6 あなたは、自分の体や健康を大切にしたいと思いますか。(1つに○)

- | | | | |
|---------|-----------|------------|---------|
| 1. そう思う | 2. 少しそう思う | 3. あまり思わない | 4. 思わない |
|---------|-----------|------------|---------|

性感染症や妊娠等についてお聞きします

問7 あなたは、性行為で感染する病気(性感染症*)を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

*性感染症とは、性行為で感染するいろいろな病気のことです。性感染症には、クラミジア・梅毒・HIV感染症/エイズなどの病気があります。感染しても無症状の病気が多く、若者世代に感染が拡大しています。

問7で「1. 知っている」を選ばれた方にうかがいます。

問7-1 あなたは、性感染症のどんなことを知っていますか。(あてはまる全ての番号に○)

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 病名 | 2. 症状 |
| 3. 予防方法 | 4. その他() |

問8 保健所では、エイズなどの性感染症の検査を、無料・匿名^{とくめい}で受けられることを知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問9 性・妊娠に関する知識をお聞きします。(1つに○)

	正しい	間違い	わからない	質問の意味がわからない
1. 性感染症は、性交のときコンドームを正しく使用することで、予防できる。	1	2	3	4
2. 性感染症にかかると、必ず自覚症状がある。	1	2	3	4
3. 性感染症を治療しないと、不妊症になることがある。	1	2	3	4
4. 避妊しなければ確実に妊娠する。	1	2	3	4
5. 卵子や精子も老化していく。	1	2	3	4

問10 あなたは、次のようなことについてどう思いますか。(1つに○)

	よくない	どちらかといえばよくない	どちらかといえばかまわない	かまわない	わからない
1. 感染症予防に注意せずに、性交する。	1	2	3	4	5
2. 愛情がなくても、性交する。	1	2	3	4	5
3. お金やものをもらって(あげて)性交する。	1	2	3	4	5
4. 相手の意思を無視して性交する。	1	2	3	4	5

問11 あなたは、「リプロダクティブヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康/権利）」※を知っていますか。（1つに○）

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 言葉も意味も良く知っていた | 2. 言葉も知っていたし、意味も大体知っていた |
| 3. 言葉は知っていたが、意味はあまり知らなかった | |
| 4. 言葉は知っていたが、意味は知らなかった | |
| 5. 言葉も意味も知らなかった | |

※「リプロダクティブヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康/権利）」とは、いつ何人子どもを産むか産まないかを選ぶ自由、安全で満足のいく性生活、安全な妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つことなどが含まれる概念です。

問12 あなたは、性感染症や妊娠等について知りたいと思ったとき、どうしますか。（あてはまる全ての番号に○）

- | | | |
|-----------------|-------------------|---------------|
| 1. 友達に聞く | 2. 母に聞く | 3. 父に聞く |
| 4. きょうだいに聞く | 5. 先輩や年上の人に聞く | 6. 先生に聞く |
| 7. 医師などの専門家に聞く | 8. テレビを見る | 9. 雑誌や本を見る |
| 10. インターネットで調べる | 11. その他（ ） | |
| 12. 何もしない | 13. 知りたくても知る方法がない | 14. 知りたいと思わない |

問12で「10. インターネットで調べる」を選ばれた方にうかがいます。

問12-1 インターネットでの情報を収集する際に、どのようなツールを使用しますか。（あてはまる全ての番号に○）

- | | | |
|----------------------|-----------------------|-------------------|
| 1. 検索サイト | 2. ニュースアプリ | 3. Twitter（ツイッター） |
| 4. Facebook（フェイスブック） | 5. Instagram（インスタグラム） | |
| 6. YouTube（ユーチューブ） | 7. ビデオ会議（ZOOMなど） | |
| 8. その他（ ） | | |

問13 あなたは、がんについてどのようなイメージを持っていますか。（あてはまる全ての番号に○）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. だれでもかかる可能性がある病気 | 2. 特定の人しかかからない病気 |
| 3. 早く治療すればほぼ治る病気 | 4. 治療してもほとんど治らない病気 |
| 5. 治療しなくても自然に治る病気 | 6. 検査しても見つけるのは難しい病気 |
| 7. その他（ ） | 8. イメージはない・わからない |

問14 あなたは、がんは定期的に健診を受けて早期に発見すれば、生存率が高まる病気だということを知っていますか。（1つに○）

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない |
| 3. まったく知らない | 4. 興味がない |

こころの健康についてお聞きします

問15 最近1か月間に、悩みや不安、ストレス等を感じたことはありますか。（1つに○）

- | | |
|-------------|------------|
| 1. まったくなかった | 2. あまりなかった |
| 3. ときどきあった | 4. 常にあった |

問 15-1 へ

問15で「3. ときどきあった」「4. 常にあった」を選ばれた方にうかがいます。

問15-1 それは、どのような事柄が原因ですか。(あてはまる全ての番号に○)

1. 家庭の状況(親との関係・きょうだいの不仲・両親の不仲、家族の介護・看病 等)
2. からだのこと(自分の病気の悩み、身体の変化の悩み 等)
3. こころのこと(自分のこころの問題、家族のこころの問題)
4. 経済的なこと(家族の負債・借金、自分のお小遣い、バイト先を失う、失業、倒産、事業不振 等)
5. 勤務に関すること(転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働 等)
6. 恋愛(男女)関係のこと(交際や失恋、結婚をめぐる悩みなど)
7. 学校のこと(交友関係・いじめ、学業不振、部活、教師との人間関係 等)
8. 趣味のこと
9. こころとからだの性の不一致(周囲の理解不足など)
10. 感染症(新型コロナウイルス感染症など)に関すること(感染への不安、学校・勉強、収入等)
11. LINEやFacebook、TwitterなどのSNS上でのこと
12. その他()

問16 あなたがストレスを感じる時にとる行動について教えてください。(あてはまる全ての番号に○)

- | | | |
|------------------|------------|--------------|
| 1. 誰かに相談する | 2. 気分転換をする | 3. 考えないようにする |
| 4. 寝て忘れる | 5. 趣味に没頭する | 6. 投げやりになる |
| 7. 我慢して通り過ぎるのを待つ | 8. その他 | |

問17 あなたは、悩みやストレスを抱えたとき、だれに相談しますか。(あてはまる全ての番号に○)

- | | | |
|---|----------------|---------|
| 1. 配偶者 | 2. 母 | 3. 父 |
| 4. きょうだい | 5. 友達 | 6. 恋人 |
| 7. 先輩や年上の人 | 8. 先生(学校や大学) | 9. 職場の人 |
| 10. 近所の人 | 11. 区役所・保健所の窓口 | |
| 12. インターネットやLINEやFacebook、TwitterなどのSNS上だけのつながりの人 | | |
| 13. その他() | | |
| 14. 相談したくても相談できる人がいない | | |
| 15. 相談しない | | |

問17で「15. 相談しない」を選ばれた方にうかがいます。

問17-1 「相談しない」主な理由で最も当てはまるものを選んでください。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 相談したいが、遠慮してできないから | 2. 相談したいが、恥ずかしくてできないから |
| 3. 相談したいが、相談先がわからないから | 4. かつて相談したときに不快な思いをしたから |
| 5. 相談しても何も変わらないと思うから | 6. その他() |

問18 あなたは、友人に、自分では解決できそうもない問題について相談されたらどうしますか。(1つに○)

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 自分ができる限り聞いてあげる | 2. 誰か他の人(友人・知人)を紹介する |
| 3. 一緒に相談を聞いてくれる大人(先生・専門家)を探す | |
| 4. インターネットで相談できるところを探す | 5. その他 |
| 6. 相談されたことがない・わからない | |

問19 あなたはどのような相談の機会があればよいと思いますか。(あてはまる全ての番号に○)

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. 公的機関の専門家による相談 | 2. 民間の専門家による相談 |
| 3. ボランティアによる相談 | 4. 同じ悩みや不安を抱える人たちの集まり |
| 5. 面接相談 | 6. 電話相談 |
| 7. メールでの相談 | 8. LINEなどのSNSでの相談 |
| 9. Twitterや掲示板などを利用してインターネット上で不特定多数に発信すること | |
| 10. 訪問による相談 | 11. 無料相談 |
| 12. 有料相談 | 13. 住居地でない相談場所での相談 |
| 14. その他() | 15. 相談の機会はいらない |
| 16. 知らない人には相談したくない | 17. 相談の機会に関心はない |

インターネットの利用や新型コロナウイルスについてお聞きします

問20 最近、アルコールや薬物などの依存症に加え、様々な依存症が問題視されています。その一つとして、インターネット依存に関する以下の質問にお答えください。

(この場合、利用する機器は、パソコン、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機などオンラインで使用するすべてを含みます。)

(それぞれについて、あてはまる番号1つだけに○)

※インターネットを利用していない方は、すべての回答を「全くあてはまらない」に○をしてください。

項 目	ま ら な い	全 く あ て は ま ら な い	あ て は ま ら な い	あ て は ま る	非 常 に あ て は ま る
① インターネットの利用で、学校の成績や事業実績が落ちた。	1	2	3	4	5
② インターネットができないと、落ち着かなくなり焦ってくる。	1	2	3	4	5
③ インターネットをし始めると、なかなか終了できない。	1	2	3	4	5
④ インターネットをしていないときは、インターネットのことは頭に出てこない。	1	2	3	4	5
⑤ 周囲からインターネットをしすぎていると指摘される。	1	2	3	4	5
⑥ インターネットのために、お金を多くつかうようになった。	1	2	3	4	5

問21 あなたは、新型コロナウイルスについての情報をどのような方法や手段で入手していますか。
(あてはまる全ての番号に○)

1. 区のおしらせ(せたがや区報) 3. 区役所(保健所などを含む) 5. 病院や診療所 7. スポーツ施設 9. 地域のタウン誌 11. インターネット 13. 特にない	2. 世田谷区のホームページ 4. 学校、職場 6. 食品販売店や飲食店 8. 家族や友人、グループやサークル活動の仲間 10. テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等 12. その他()
--	---

問21で「11. インターネット」を選ばれた方におうかがいします。

問21-1 インターネットでの情報を収集する際に、どのようなツールを使用しますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 検索サイト 3. Twitter(ツイッター) 5. Instagram(インスタグラム) 7. ビデオ会議(ZOOMなど)	2. ニュースアプリ 4. Facebook(フェイスブック) 6. YouTube(ユーチューブ) 8. その他()
--	---

問22 あなたは、新型コロナウイルスについて、不安なことはありますか。
(あてはまる全ての番号に○)

1. 自分自身の感染 3. 新型コロナウイルスをうつしてしまうこと 5. 生活リズムが崩れること 7. 勉強が遅れる、学力が下がること 9. その他()	2. 身近な人の感染 4. 運動不足などによる健康状態 6. 孤独を感じる 8. 収入が減ること 10. 特にない
---	---

これで終了です。ご協力ありがとうございました。

令和2年度
世田谷保健所

世田谷区における思春期世代等に対するこころとからだのアンケート調査報告書

令和3年3月発行

発行：世田谷区

編集：世田谷保健所健康企画課

〒154-8504 東京都世田谷区世田谷4-22-35

T E L 03 (5432) 2432

F A X 03 (5432) 3022

広報印刷物登録番号：No. 1930